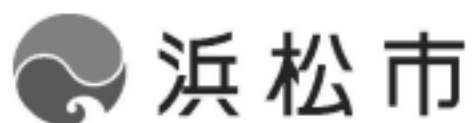


(平成22年6月実施)

第37回

市民アンケート調査報告書

— あなたと市政を結ぶ —



目 次

I 調査概要

1	調査目的	1
2	調査事項	1
3	調査実施概要	1
4	回収状況	1
5	報告書内のデータ記述について	1
6	回答者の属性	2

II 調査結果

1	あなたをご存知ですか？	5
2	運動・スポーツについて	9
3	ユニバーサルデザインについて	13
4	人権について	21
5	中心市街地について	27
6	家庭の情報化について	34
7	健康はままつ21について	41
8	地球温暖化防止について	45
9	子育て支援について	55
10	市政の満足度評価について	64
11	市政への要望について	69

付録 調査票

I 調查概要

1 調査目的

本調査は、昭和 45 年度から始まり、48 年度、50 年度と行った後、52 年度以降は毎年実施し、本年度で 37 回目になる。社会情勢の変化に伴う市民の生活意識や市政に対する関心やニーズなどを把握するため、毎年各部署から提出された希望調査項目を精査した後、調査項目を決定し、属性などにより集計した調査結果を詳細に分析し、今後の施策の方向性や事業展開など行政のさまざまな施策の基礎資料として活用しているものである。

2 調査事項

- あなたはご存知ですか？
- ユニバーサルデザインについて
- 中心市街地について
- 健康はままつ 21 について
- 子育て支援について
- 市政への要望について
- 運動・スポーツについて
- 人権について
- 家庭の情報化について
- 地球温暖化防止について
- 市政の満足度評価について

3 調査実施概要

- (1) 調査地域 浜松市全域
- (2) 調査対象 満 20 歳以上の男女 3,000 人
- (3) 抽出方法 住民基本台帳から無作為抽出
- (4) 調査方法 質問紙郵送法
- (5) 調査期間 平成 22 年 6 月 15 日～30 日
- (6) 調査機関 株式会社 浜名湖国際頭脳センター

4 回収状況

発送数	有効回収数	有効回収率
3,000 件	1,520 件	50.7%

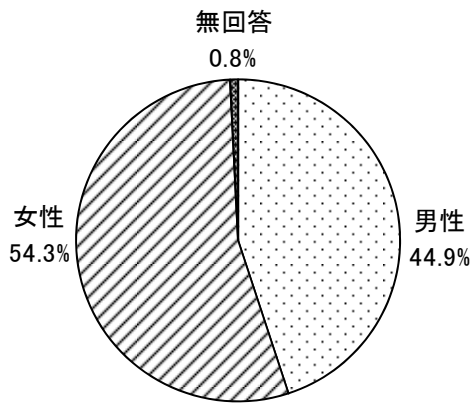
5 報告書内のデータ記述について

- (1) 比率はすべて百分率で表し、小数点以下第 2 位を四捨五入して算出した。そのために、比率の合計が 100%にならないことがある。
- (2) 基数とすべき実数は、図表中に「N」として記載した。比率はこの基数を 100%として算出している。
- (3) 質問の選択肢から複数回答を認めている場合、比率の合計は通常 100%を超える。
- (4) 図表中の回答選択肢が長文の場合、コンピューター処理の都合上、省略している箇所がある。

6 回答者の属性

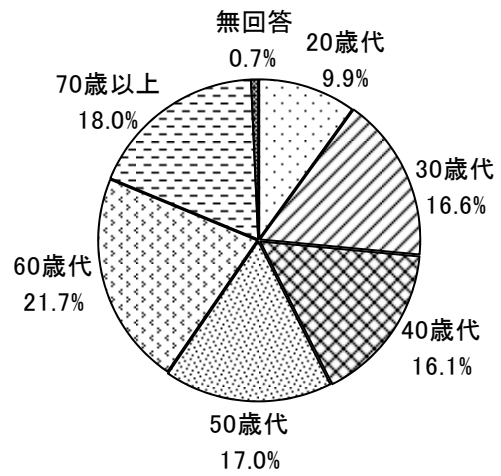
(1) 性別

N=1,520



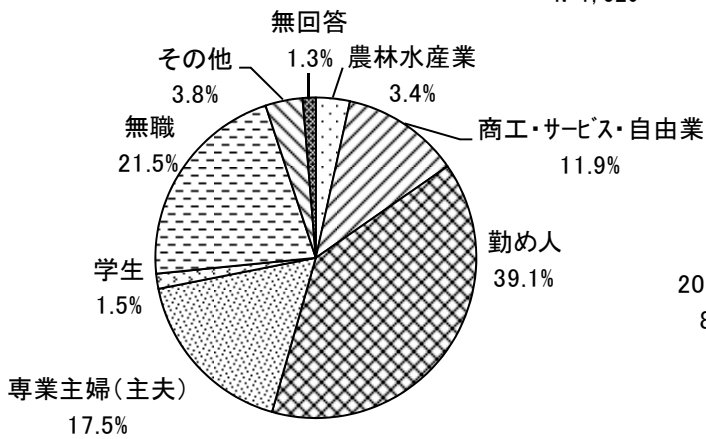
(2) 年代

N=1,520



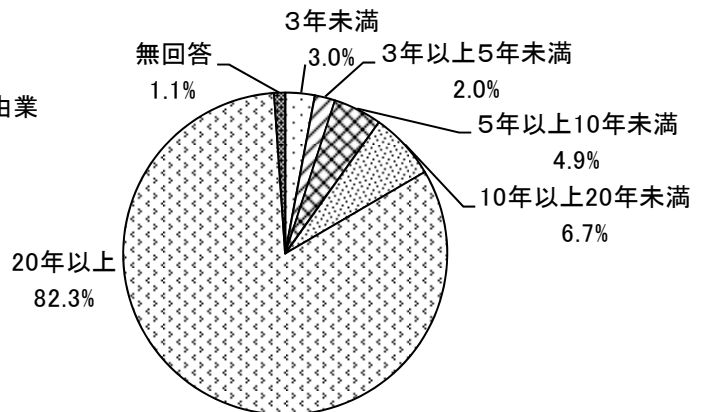
(3) 職業

N=1,520



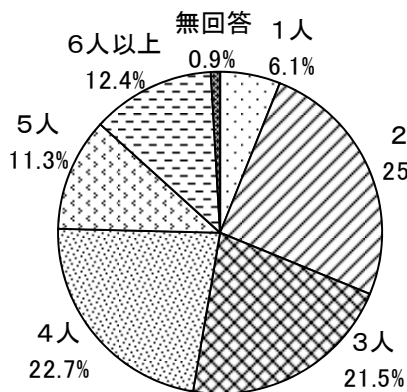
(4) 居住年数

N=1,520



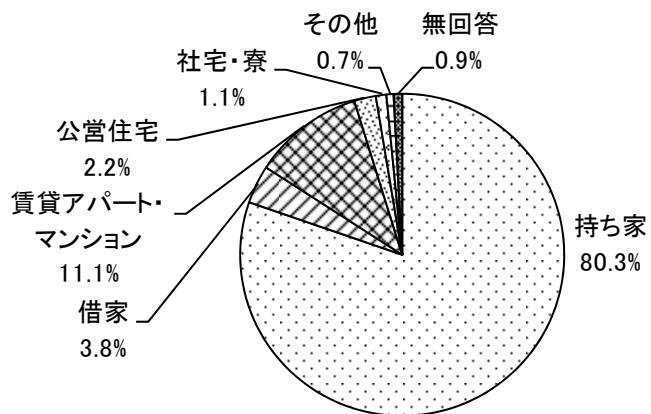
(5) 家族数

N=1,520



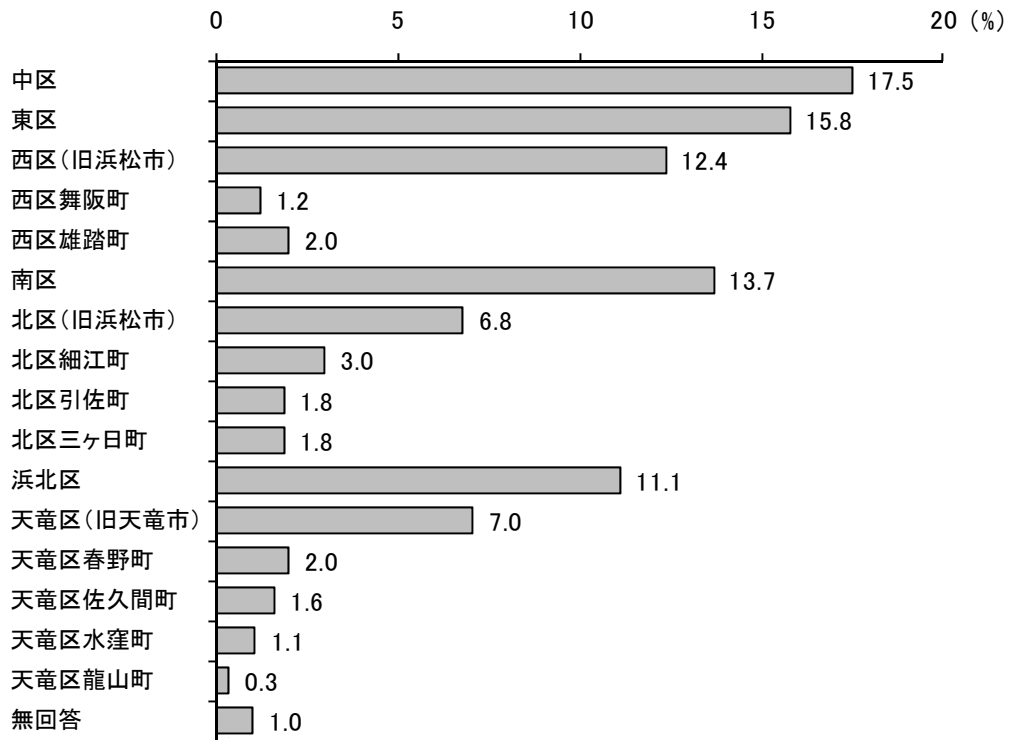
(6) 居住形態

N=1,520



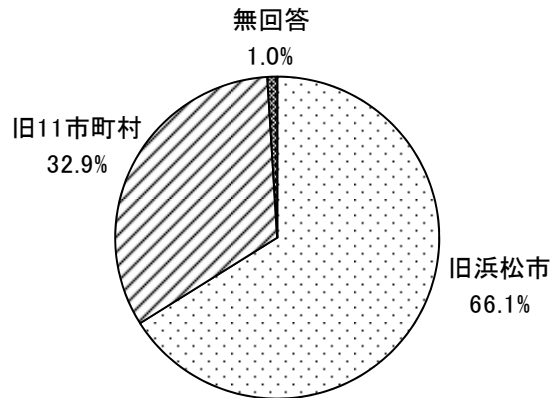
(7) 居住地区

N=1,520



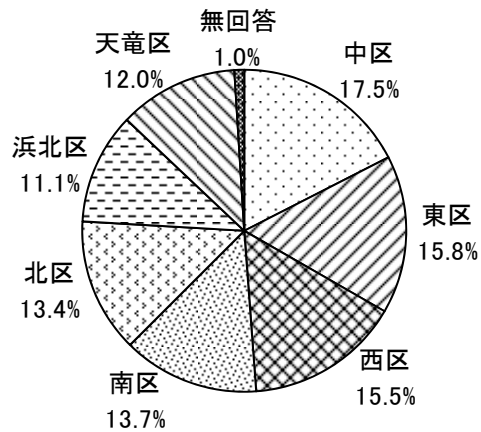
(8) 旧浜松市と旧11市町村

N=1,520

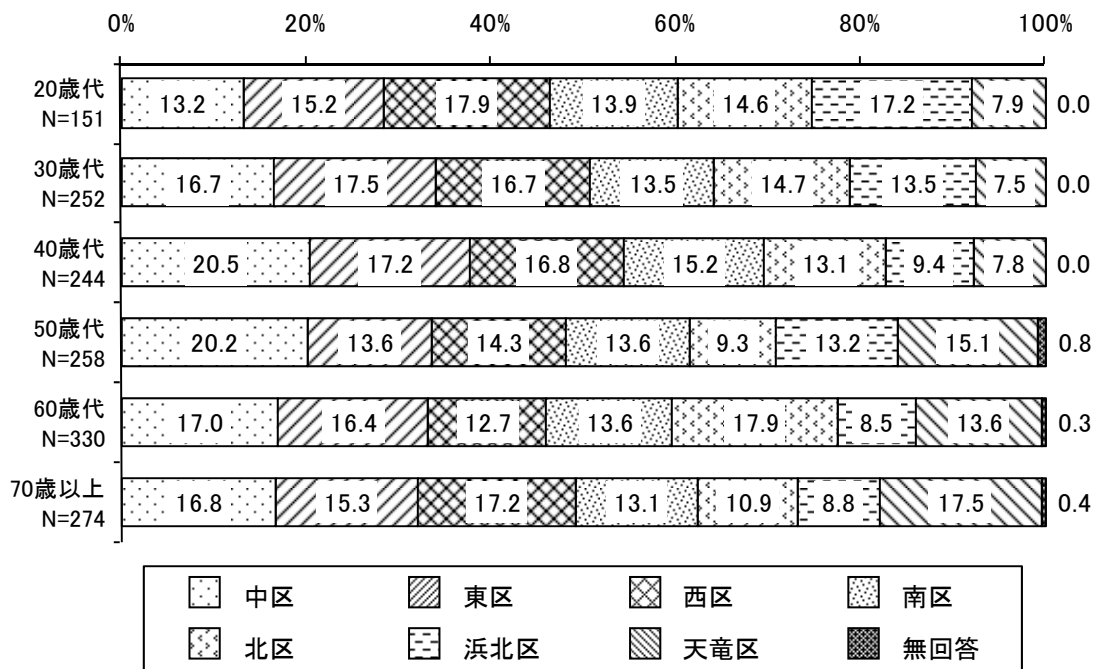


(9) 行政区

N=1,520



(10) 年代別行政区



II 調査結果

1 あなたはご存知ですか？

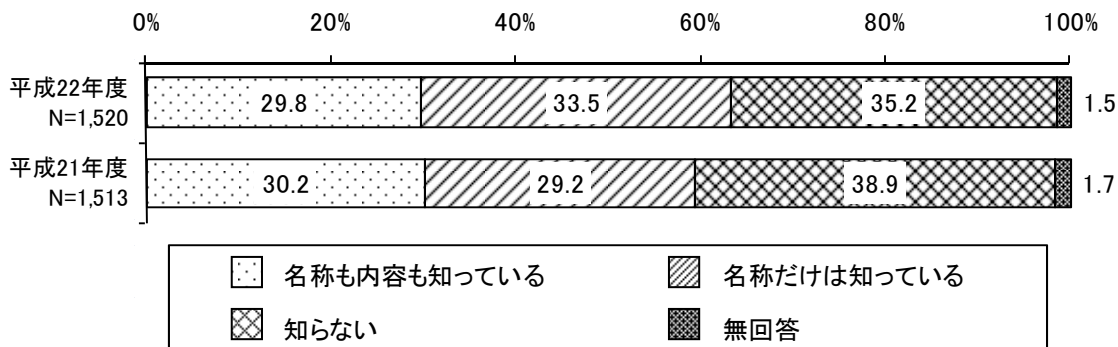
(1) 市の条例や施策などの認知度

問1 次の項目について、あなたをご存知ですか。

1～3のうちから1つ選んで○を付けてください。

① 浜松市快適で良好な生活環境を確保する条例（通称：市民マナー条例）

※ 歩きタバコ・ごみのポイ捨て・落書きの禁止や、飼い犬・ねこのふんの適正な処理、身体障害者用駐車場の適正な利用を定めた条例。

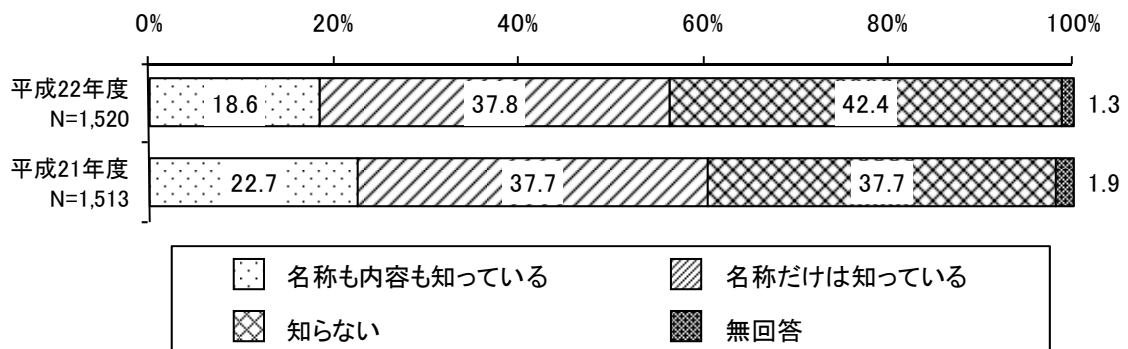


「名称も内容も知っている」が 29.8%、「名称だけは知っている」が 33.5%、「知らない」が 35.2%となっている。「名称も内容も知っている」と「名称だけは知っている」を合わせた『認知度』は 63.3%と 6 割を超え、その半数程度は内容も認知している。

前年度調査と比較すると、『認知度』は 59.4%から 63.3%と 3.9 ポイント増加している。この増加は、昨年度の、新デザインの路面告知シートの設置やごみ収集車による P R 等、新規の啓発事業に取り組んだ効果といえる。

② 浜松市川や湖を守る条例

※ 市内にある天竜川や浜名湖など、美しく豊かな川や湖を次世代に継承するために、市民や事業者が守るべきこと、しなければならないことを定めた条例。

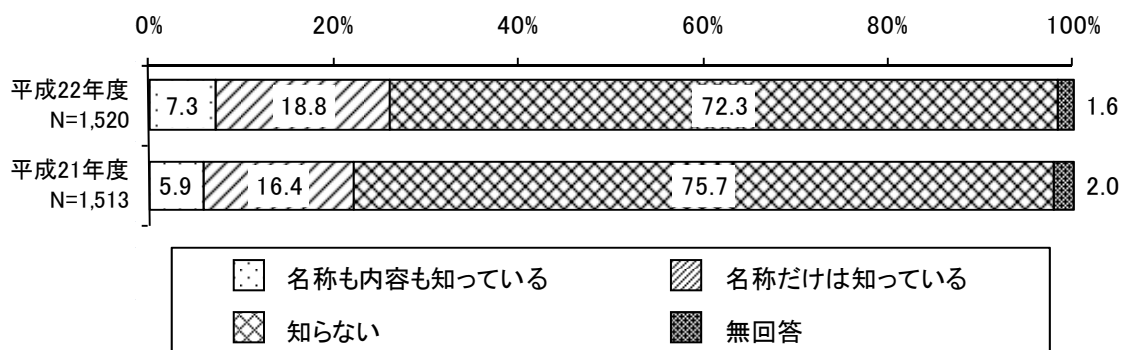


「名称も内容も知っている」が 18.6%、「名称だけは知っている」が 37.8%、「知らない」が 42.4%となっている。「名称も内容も知っている」と「名称だけは知っている」を合わせた『認知度』は、56.4%と5割以上に認知されている。

前年度調査と比較すると、『認知度』は 60.4%から 56.4%と 4.0 ポイント減少している。今後は、観光協会や漁業組合の関連施設、ショッピングセンターなどを利用して、レジャー利用者に対するさらなる広報に努める必要があるといえる。

③ 浜松市音・かおり・光環境創造条例

※ 人に潤いや安らぎを与えてくれる音・かおり・光資源を保全するとともに、自らも人に不快感や嫌悪感を与える騒音、悪臭および光害の防止に取り組み、快適な生活環境創造のための条例。



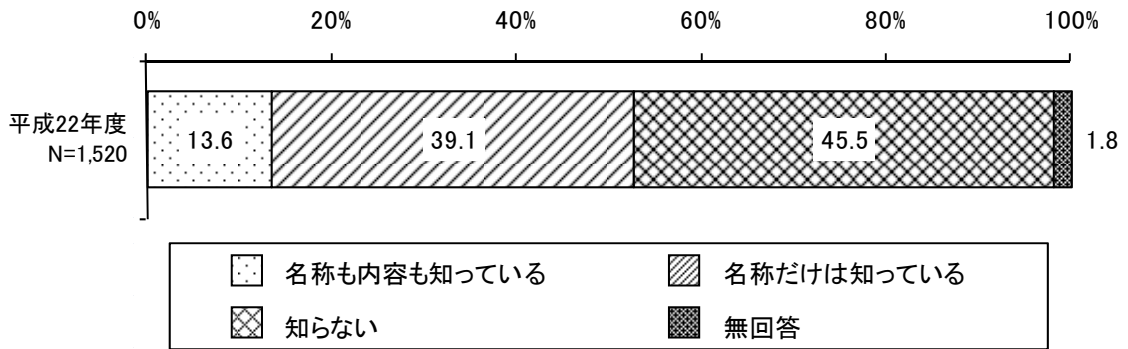
「名称も内容も知っている」が 7.3%、「名称だけは知っている」が 18.8%、「知らない」が 72.3%となっている。「名称も内容も知っている」と「名称だけは知っている」を合わせた『認知度』は 26.1%と3割弱であった。

前年度調査と比較すると、『認知度』は 22.3%から 26.1%と 3.8 ポイント増加した。また、「知らない」は 75.7%から 72.3%と 3.4 ポイント減少した。

各種啓発活動や資源案内板設置などの取り組みにより、認知度がやや上昇したと思われるが、依然として認知度は低いことから、より一層の周知に努める必要があるといえる。

④ 浜松市子ども育成条例

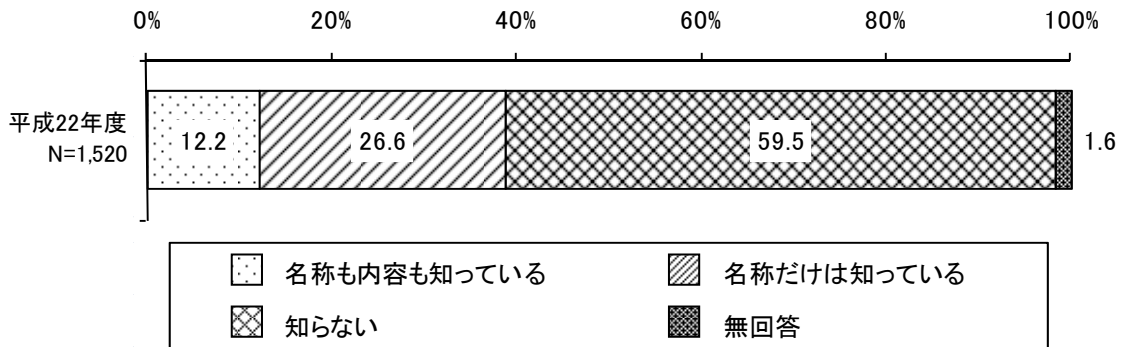
※ 未来を担う子どもを社会全体で健全に育成し、支えていくための基本理念や、市、保護者、学校等、事業主、子ども育成団体及び市民の役割を明らかにするとともに、市の基本的施策を定めた条例。



「名称も内容も知っている」が 13.6%、「名称だけは知っている」が 39.1%、「知らない」が 45.5%となっている。「名称も内容も知っている」と「名称だけは知っている」を合わせた『認知度』は 52.7%と半数を超えている。今後は、さらに『認知度』を上げていくとともに、内容を認知している割合を上げていくことが必要といえる。

⑤ いのちをつなぐ手紙

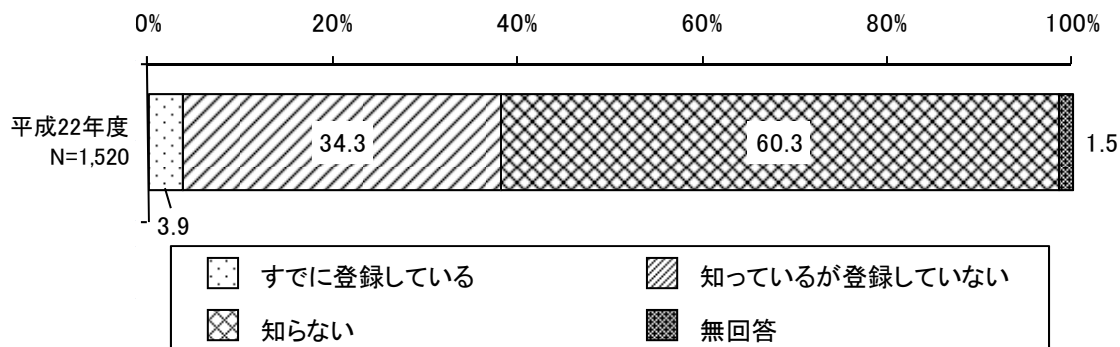
※ 自殺対策事業として「いのちをつなぐ手紙」を実施。ひとりで抱えきれない悩みを手紙に書いて相談したり、悩みを抱えた人の支えとなる言葉を伝えるためのもの。



「名称も内容も知っている」が 12.2%、「名称だけは知っている」が 26.6%、「知らない」が 59.5%となっている。「名称も内容も知っている」と「名称だけは知っている」を合わせた『認知度』は 38.8%と、約4割であった。事業開始時にメディアに取り上げられたことや、継続的なラジオ放送、寄せられた手紙等をまとめた小冊子の作成などが認知度に寄与しているといえるが、今後は、さらなる認知度向上のための取り組みが必要といえる。

⑥ 防災ホットメール

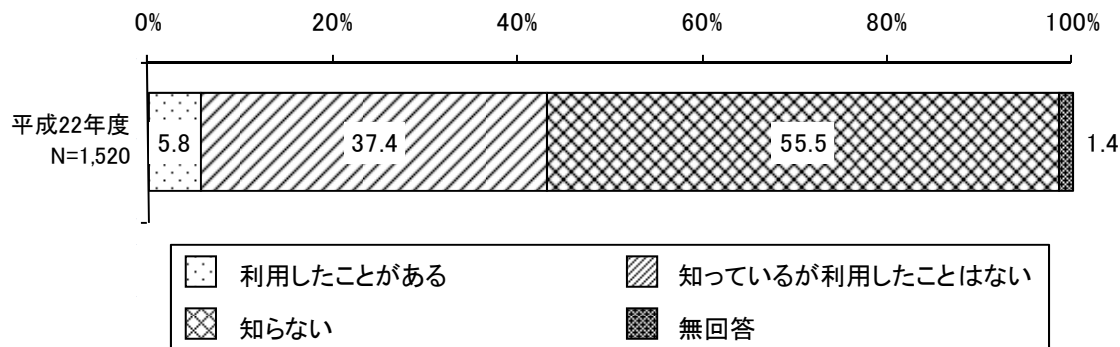
※ 平成22年3月1日から、災害発生時の緊急情報、地震情報、気象情報、火災情報などを携帯電話などに電子メールで配信している。



「登録している」が3.9%、「知っているが登録していない」が34.3%である。「登録している」と「知っているが登録していない」を合わせた『認知度』は38.2%と約4割であるが、登録には至っていない状況にある。『認知度』が40%近くに達していることは、広報紙への掲載や関係団体へのチラシ配布の取り組みによる効果といえる。今後は、さらなる認知度の向上とともに、登録の割合を上げていくことが必要といえる。

⑦ 県救急医療情報センター

※ 県救急医療情報センターでは、休日当番医の情報を24時間、電話（0800-222-1199）で案内している



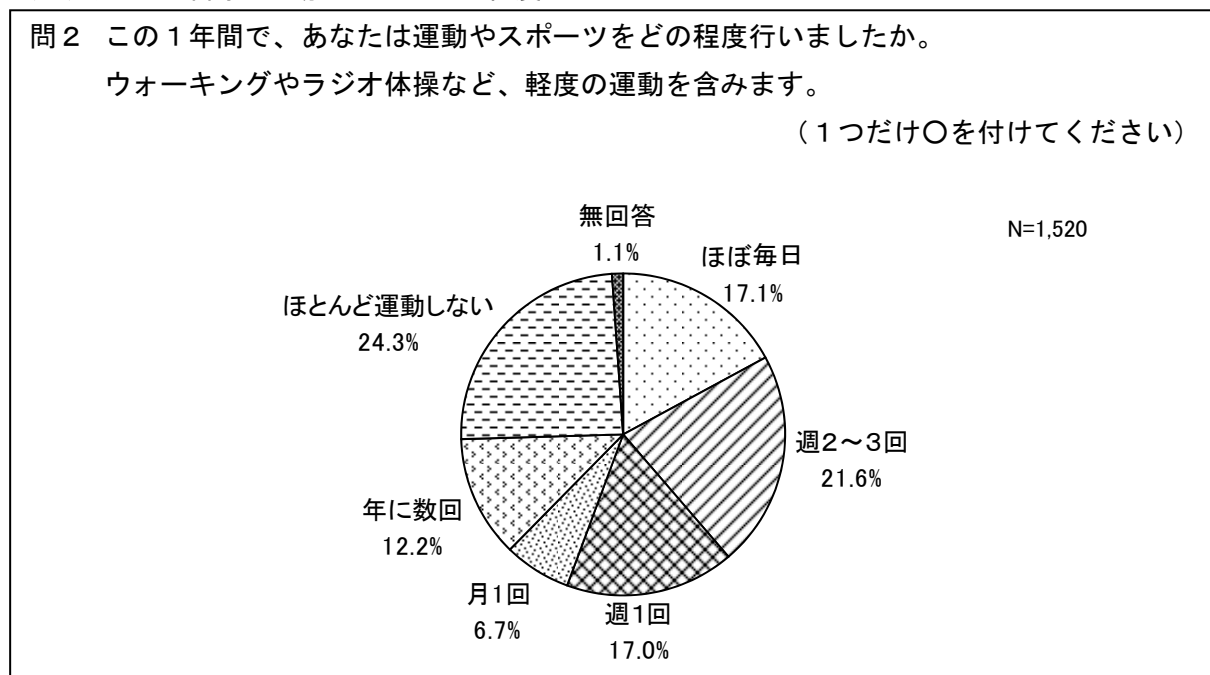
「利用したことがある」が5.8%、「知っているが利用したことはない」37.4%、「知らない」が55.5%であり、「利用したことがある」と「知っているが利用したことはない」を合わせた『認知度』は43.2%と4割強であった。

救急講習や消防署の見学等において啓発活動を行ってきたが、今後はさらに、保育園、幼稚園、学校等を通しての働きかけをするなど、子育て世代に対する浸透を図ることが必要といえる。

2 運動・スポーツについて

(1) 過去1年間の運動やスポーツの程度

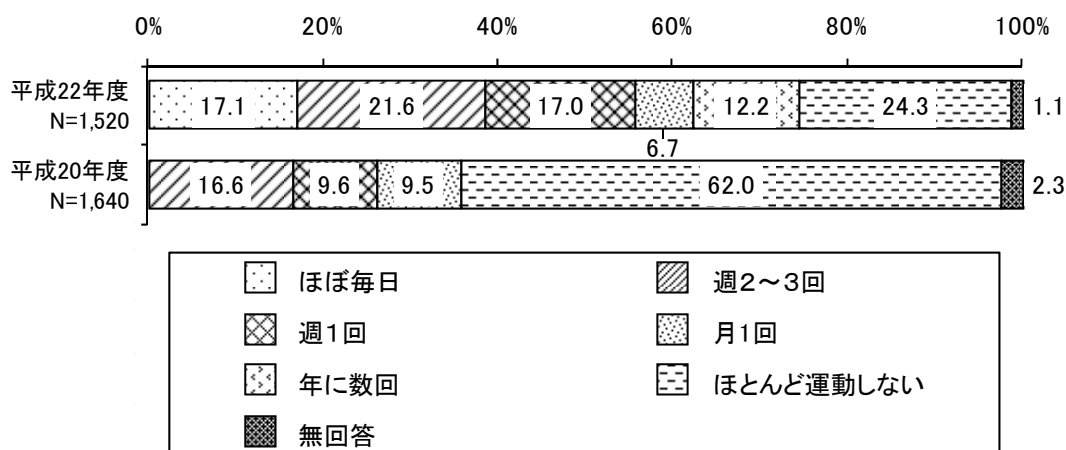
問2 この1年間で、あなたは運動やスポーツをどの程度行いましたか。
ウォーキングやラジオ体操など、軽度の運動を含みます。
(1つだけ○を付けてください)



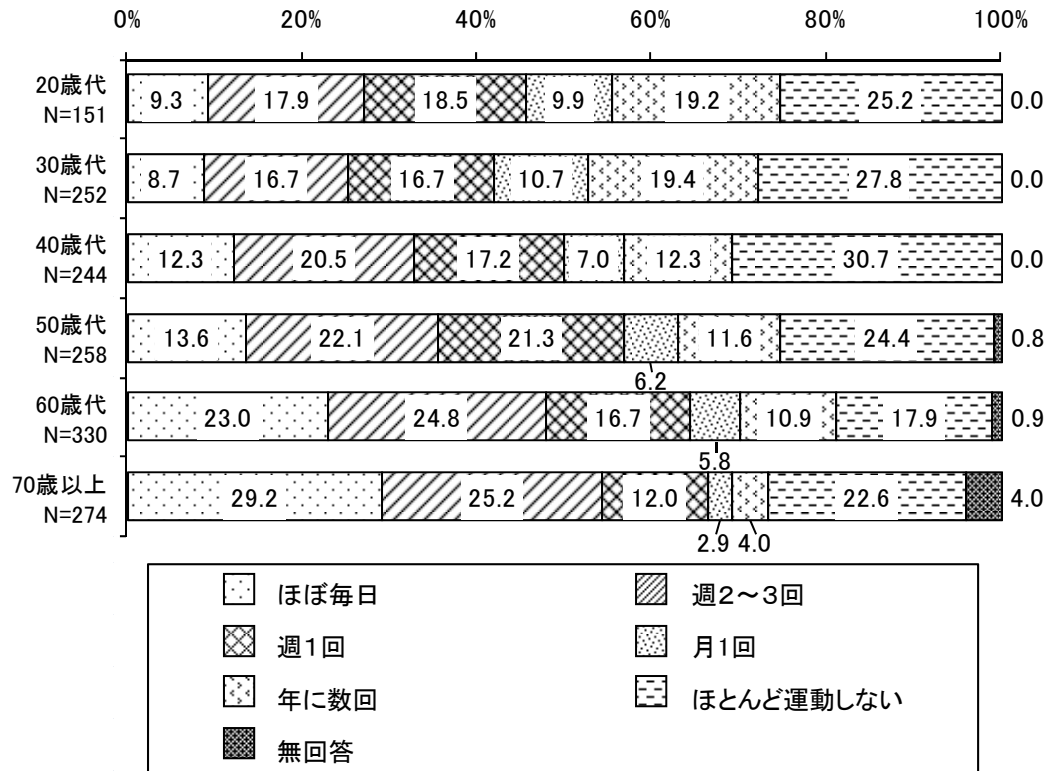
「ほぼ毎日」、「週2~3回」、「週1回」を合わせた、週1回以上のスポーツ実施率は55.7%であった。この数値は、国の指針である「成人週1回以上のスポーツ実施率50%」を上回り、浜松市が目標に掲げている「成人週1回以上のスポーツ実施率60%以上」に近づいている。また、平成20年度実施の市民アンケート調査での26.2%と比較しても、大きく伸びる結果となった。

年代別でみると、週1回以上の実施は年代が上がるほど実施される傾向にある。とくに、「ほぼ毎日」では、20歳代、30歳代がそれぞれ1割未満であるのに対し、60歳代、70歳以上ではそれぞれ2割を超えており、実施状況に差がみられた。この結果は、「子育て」「仕事」に関連すると推測され、子どもが小さい年代や働き盛りの年代ではスポーツを実施する時間がとりにくく、一方で、子育てが終わり、仕事も終えた年代では、ゆとりある時間の中で、自身の健康を考慮して運動をしていると考えられる。今後は、それぞれの年代に合った実施率向上のための施策が必要になるといえる。

【経年比較】

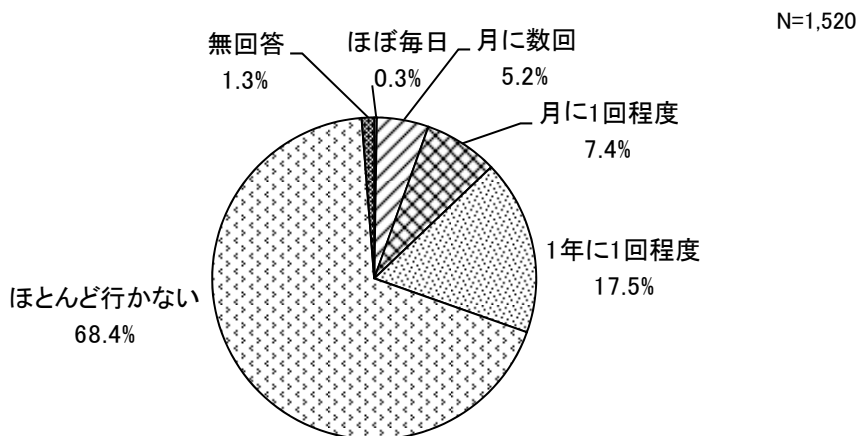


【年代別】



(2) 過去1年間のスポーツ観戦や応援の程度

問3 あなたは、過去1年間に、実際に会場でスポーツ観戦や応援をどの程度しましたか。(プロスポーツだけではなく、浜松シティマラソンなどの各種スポーツ大会やイベント、少年団や部活動の応援なども含みます。) (1つだけ○を付けてください)



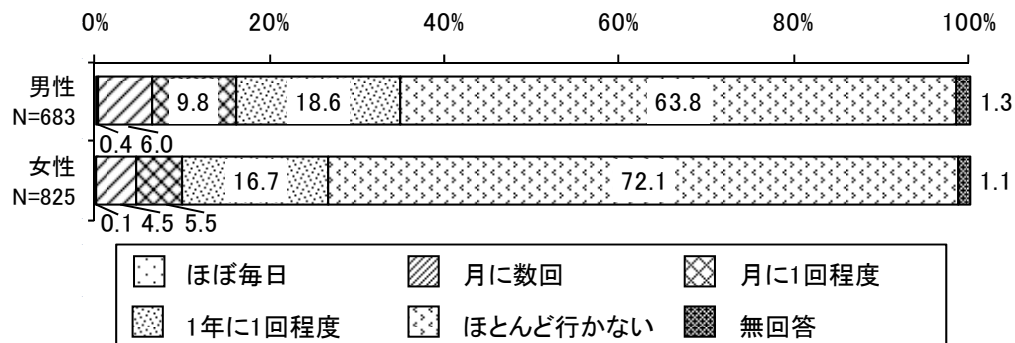
「ほぼ毎日」、「月に数回」、「月に1回程度」、「1年に1回程度」を合わせた、年1回以上のスポーツ観戦・応援実施率は30.4%であった。これは、浜松市が数値目標として掲げている「成人年1回以上のスポーツ観戦・応援実施率50%以上」と比較すると20ポイント近い差がみられた。

性別で見ると、年1回以上のスポーツ観戦・応援実施率は男性が34.8%、女性が26.8%と、女性より男性の方が観戦や応援に行く機会が多い。

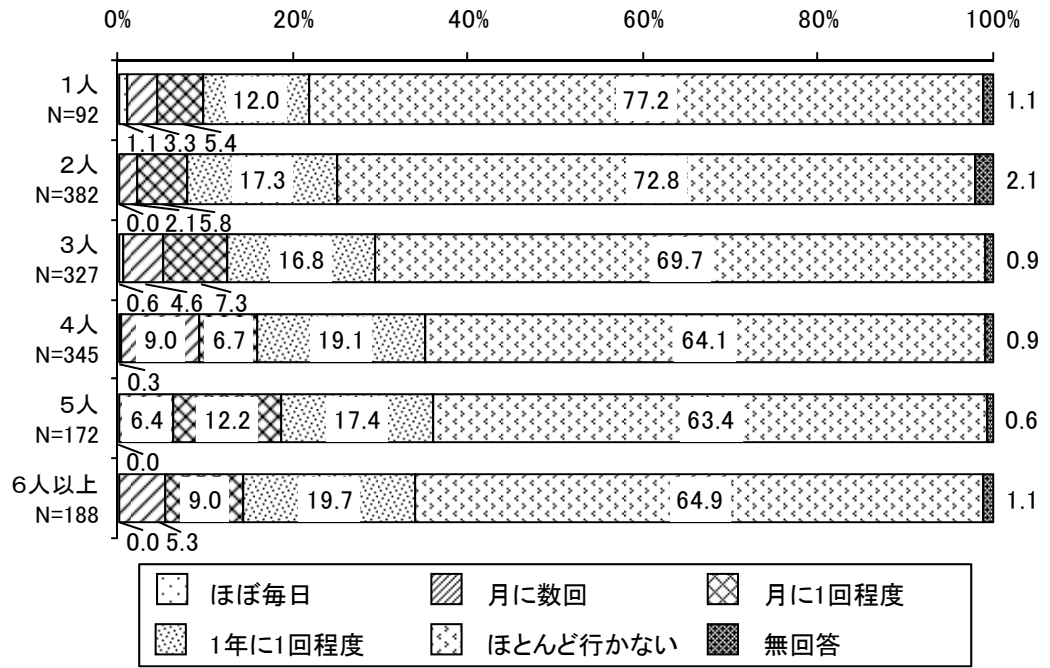
家族数別で見ると、年1回以上のスポーツ観戦・応援実施率は、家族数が多いほど観戦や応援の機会が多い結果となった。これは、子どもが部活動やスポーツ少年団などに所属し、その応援に家族が足を運んでいることなどが影響していると考えられる。

今後、さまざまなスポーツ大会がどのように行われているかを広く市民に広報し、観戦の機会を広めていく必要がある。

【性別】



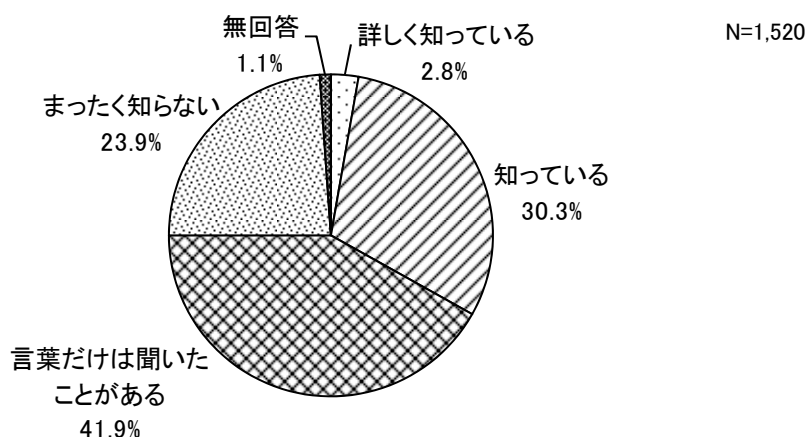
【家族数別】



3 ユニバーサルデザインについて

(1)「ユニバーサルデザイン」の認知度

問4 市では、ユニバーサルデザインの考え方を市政に取り入れています。ユニバーサルデザインとは、身体能力、年齢、国籍、性別などに関係なく、誰もが安全で安心な暮らしができるように環境づくりやまちづくりなどを行っていきこうとする考え方です。あなたは、ご存知でしたか。
(1つだけ○を付けてください)



「詳しく知っている」が2.8%、「知っている」が30.3%、「言葉だけは聞いたことがある」が41.9%、「まったく知らない」が23.9%となっている。「詳しく知っている」と「知っている」を合わせた『理解度』は33.1%、また、それに「言葉だけは聞いたことがある」を合わせた『認知度』は75.0%となっている。

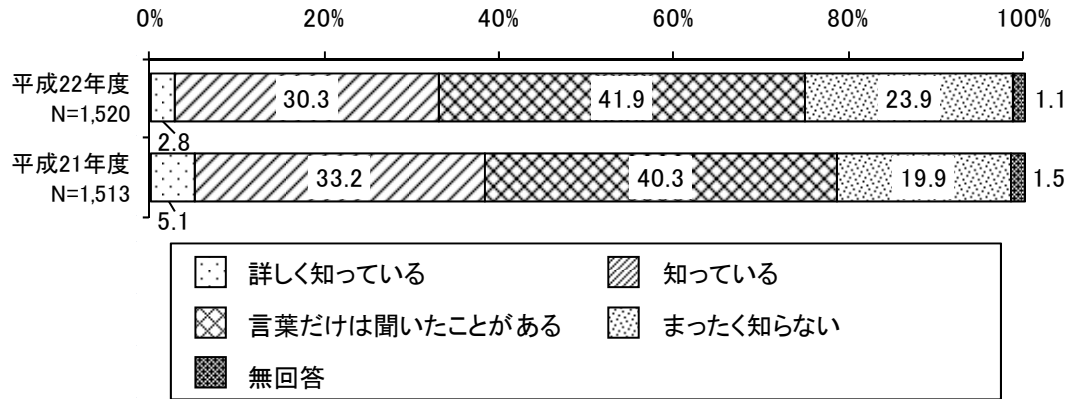
前年度調査と比較すると、『理解度』(平成21年度：38.3%、平成22年度：33.1%)、『認知度』(平成21年度：78.6%、平成22年度：75.0%)の両方とも減少している。

年代別でみると40歳代で『理解度』が53.3%、『認知度』が82.8%と、他の年代と比較して高い傾向にある。また、『認知度』は30歳代でも割合が高い。これは、小中学校で取り組んでいるユニバーサルデザインの学習が、親の世代への認知にもつながっている可能性があるといえる。一方で、60歳代、70歳以上での『知っている』の割合が他の年代よりも低い結果となった。

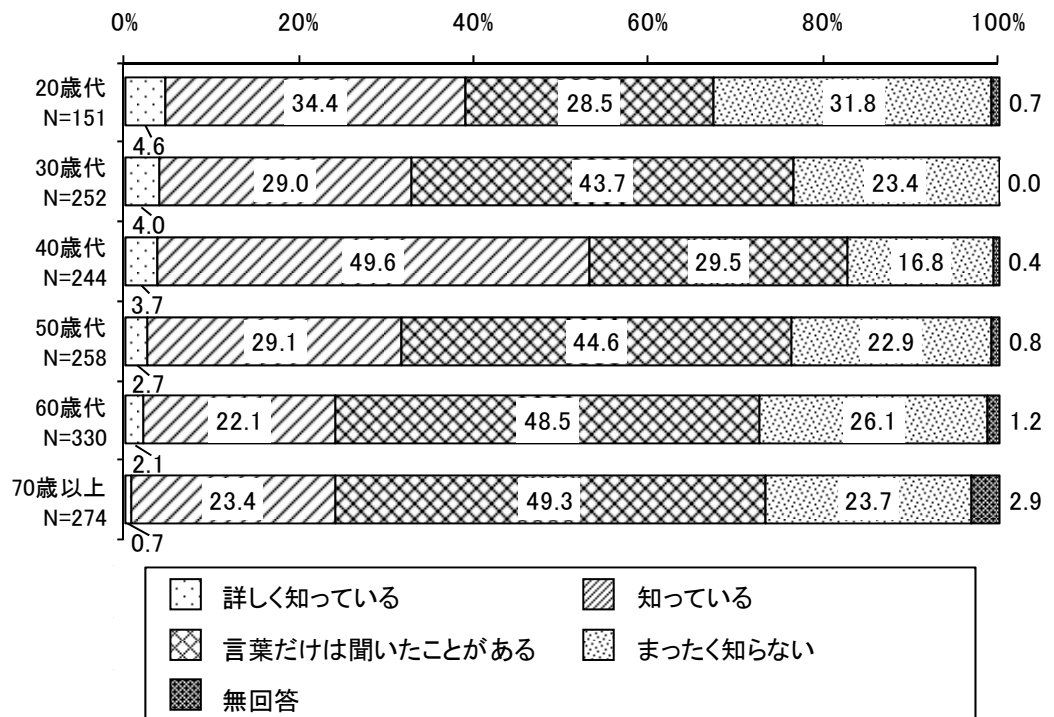
行政区別でみると、『理解度』、『認知度』のいずれも南区が最も多い(39.4%、79.8%)一方、北区では、『理解度』、『認知度』のいずれも少なく(30.4%、67.7%)、『理解度』で9.0ポイント、『認知度』で12.1ポイントの差がみられた。

ユニバーサルデザインという言葉の認知度は、前年度よりも下がっているものの7割を超えており、一般的に定着しているといえる。

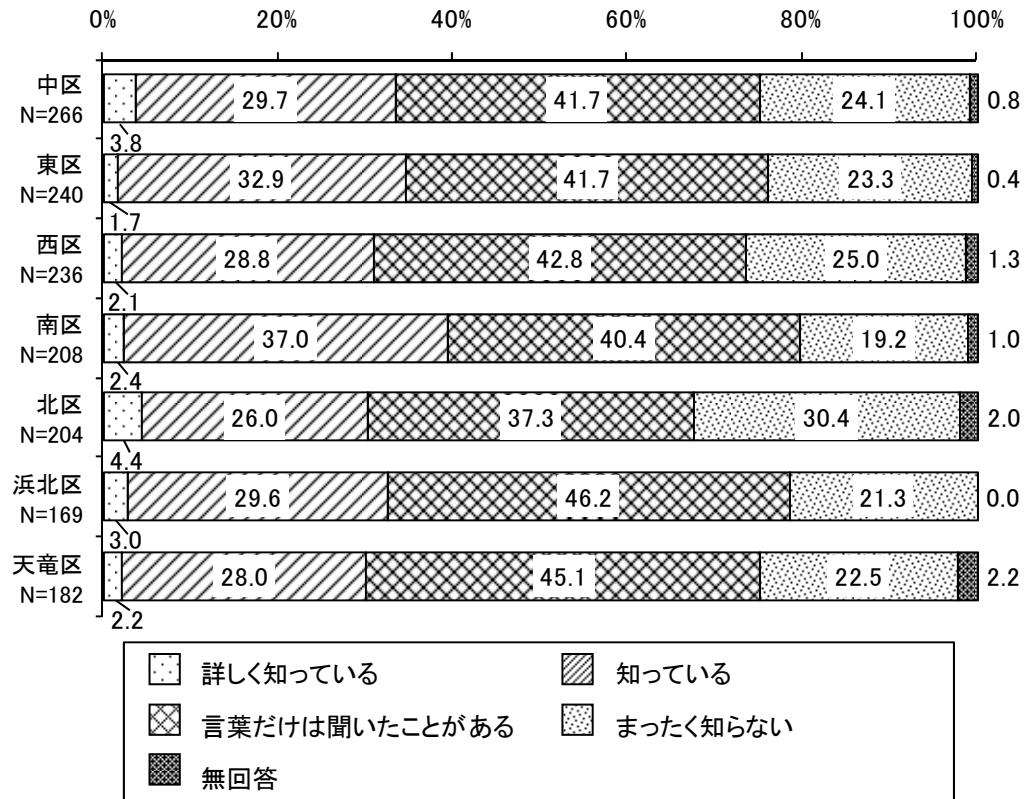
【経年比較】



【年代別】



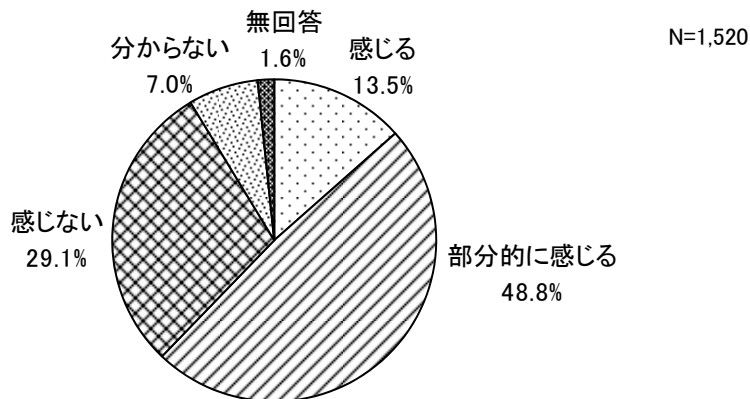
【行政区別】



(2) 地域の安全

問5 あなたのお住まいの地域は、歩道整備や交通機関など移動の面や、防災・防犯などの面から安全・安心に暮らすことのできる地域と感じますか。

(1つだけ○を付けてください)

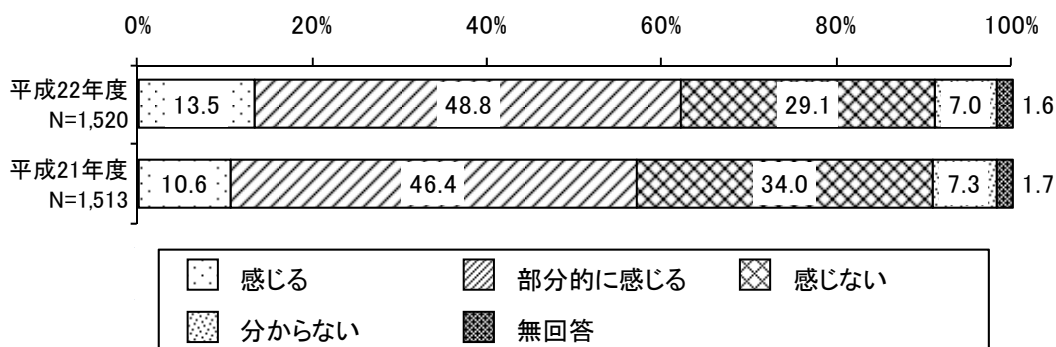


「感じる」が13.5%、「部分的に感じる」が48.8%、「感じない」が29.1%、「分からない」が7.0%となっている。「感じる」と「部分的に感じる」を合わせた『感じる』は62.3%であり、「感じない」を大きく上回っている。

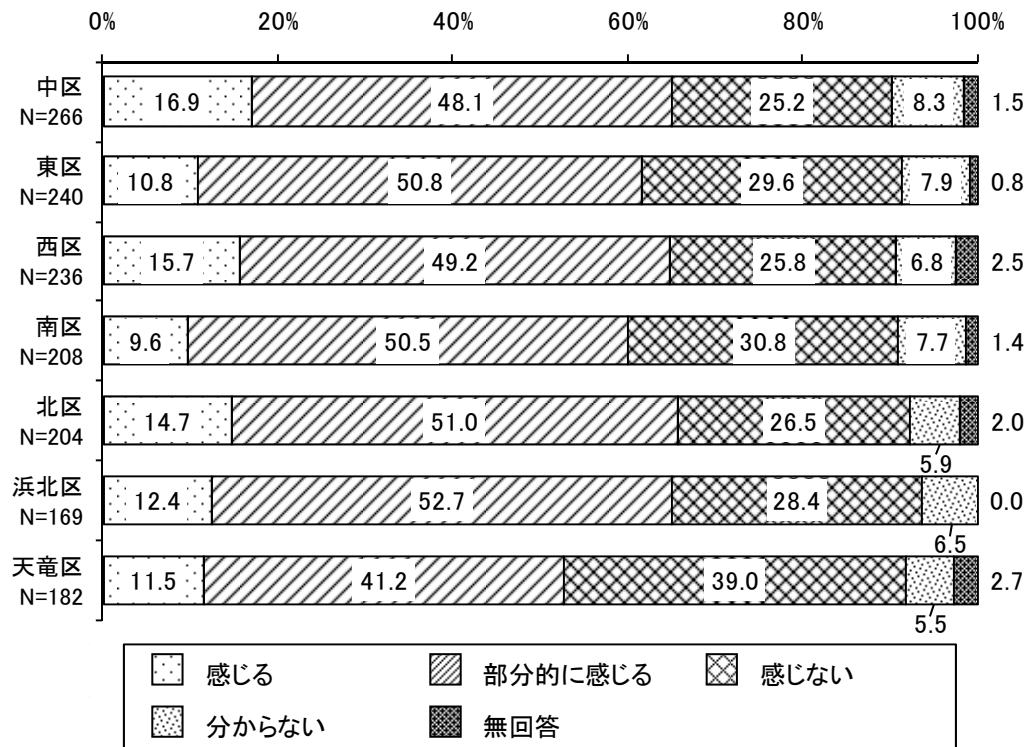
前年度調査と比較すると、『感じる』(平成21年度：57.0%、平成22年度：62.3%)は5.3ポイント増加し、「感じない」(平成21年度：34.0%、平成22年度：29.1%)が4.9ポイント減少するなど、安全・安心に暮らすことのできる地域と感じる傾向にあるといえる。

行政区別でみると、「感じる」は中区で16.9%と最も多くなっている。一方、「感じない」は天竜区で39.0%と最も多く、天竜区の次に多い南区と8.2ポイント、最も少ない中区とは13.8ポイントもの差がみられた。

【経年比較】

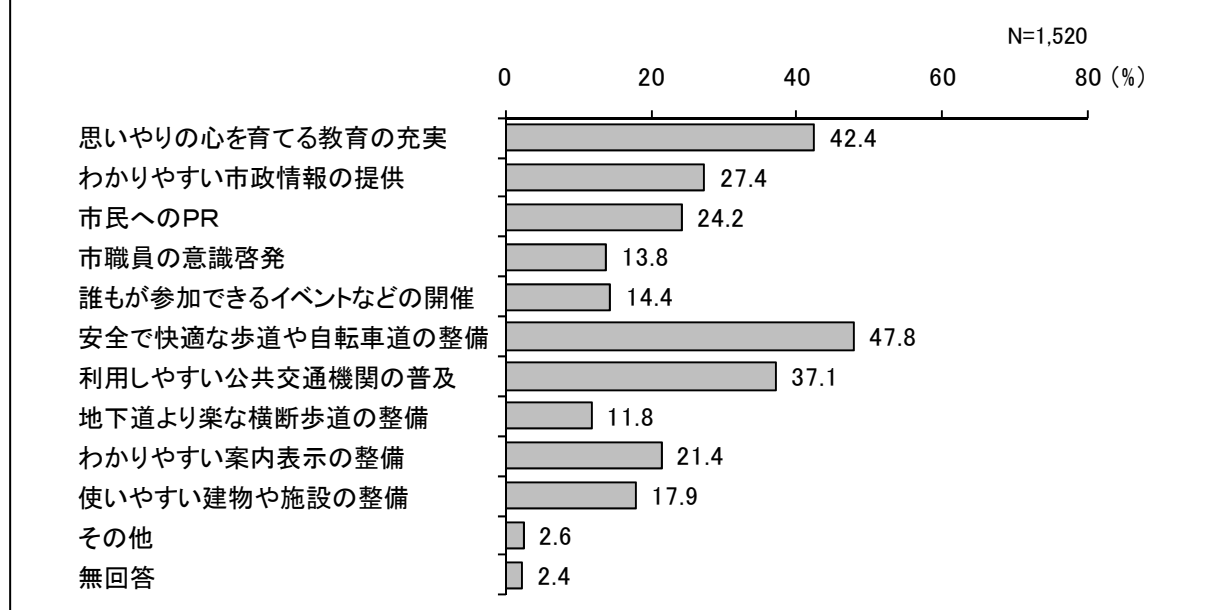


【行政区別】



(3) ユニバーサルデザインで取り組むべきこと

問6 あなたは、ユニバーサルデザインのまちづくりのために、どのようなことから取り組むべきだと思いますか。
(あてはまるもの3つまで○を付けてください)

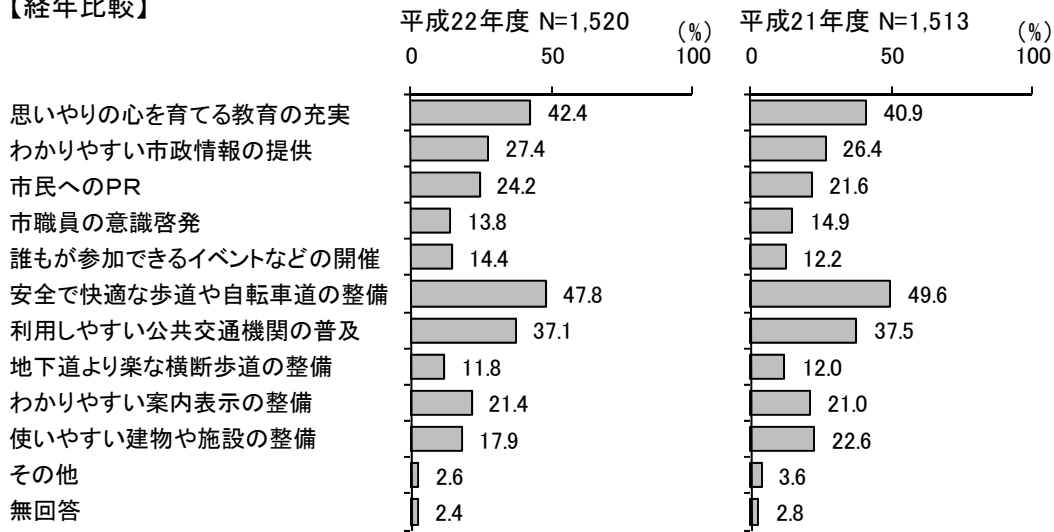


「安全で快適な歩道や自転車道の整備」が47.8%と最も多く、次いで「思いやりの心を育てる教育の充実」が42.4%、「利用しやすい公共交通機関の普及」が37.1%といずれも3割以上となっている。

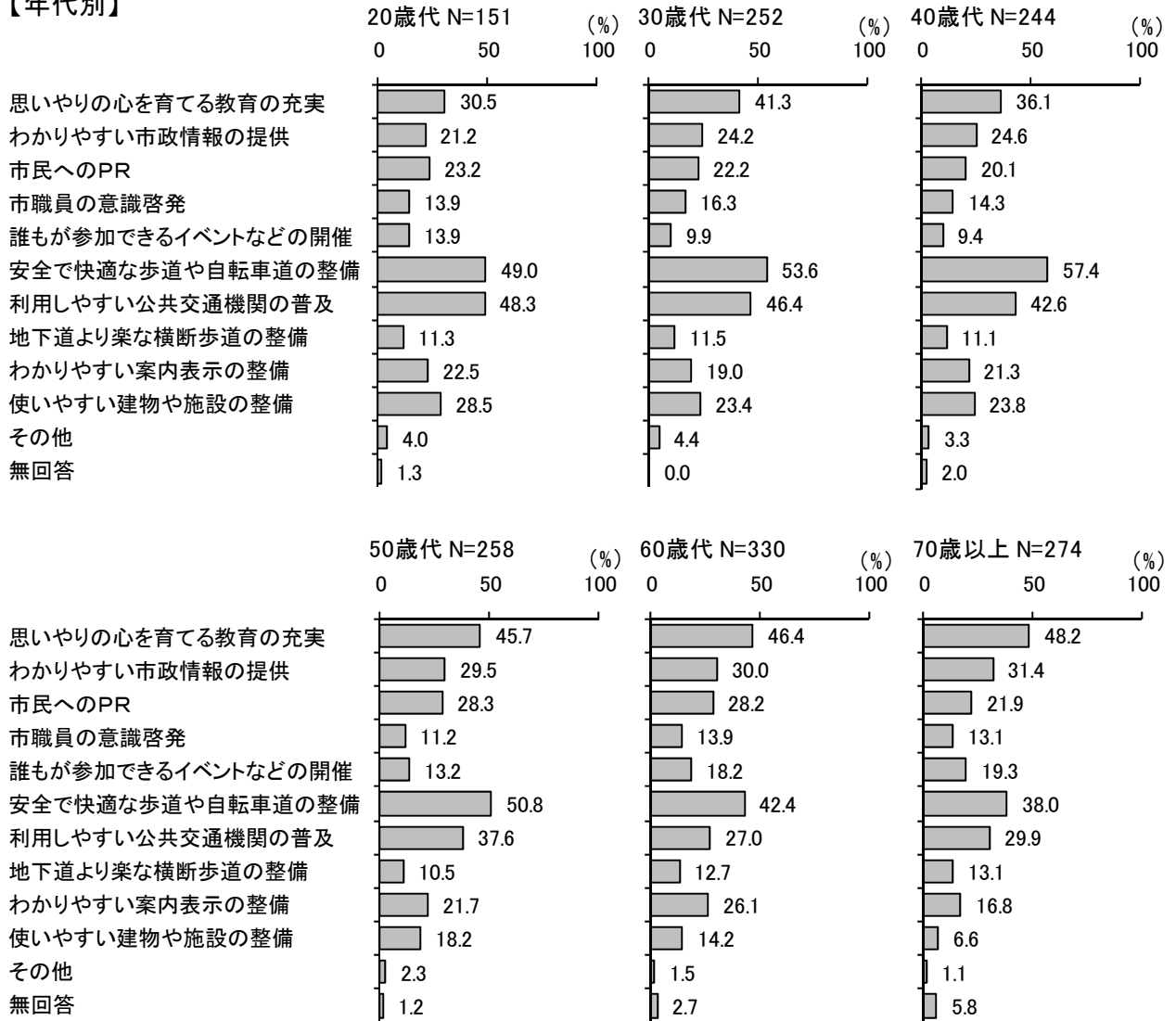
前年度調査と比較すると、前年度も「安全で快適な歩道や自転車道の整備」(平成21年度：49.6%)、「思いやりの心を育てる教育の充実」(平成21年度：40.9%)、「利用しやすい公共交通機関の普及」(平成21年度：37.5%)が3割を超えており、思いやりの心の教育といったソフト面と、生活で日常的に使う都市基盤の充実といったハード面の両面を望む傾向は変わっていない。

年代別でみると、全体で最も回答が多かった「安全で快適な歩道や自転車道の整備」は、30～50歳代で5割を超えており、60歳代、70歳以上では、それぞれ42.4%、38.0%と割合が低かった。次いで多かった「思いやりの心を育てる教育の充実」は、50歳代以上で45%を超えており、年代が高い方が関心は高い傾向にある。「利用しやすい公共交通機関の普及」は、概ね年代が下がるほど回答が多かった。以上のことから、市民がユニバーサルデザインのまちづくりとして取り組むべき内容は、高い年代では教育の充実などソフト面を、低い年代では歩道や自転車道の整備、公共交通機関の普及などハード面を必要と感じる傾向にあるといえる。

【経年比較】



【年代別】



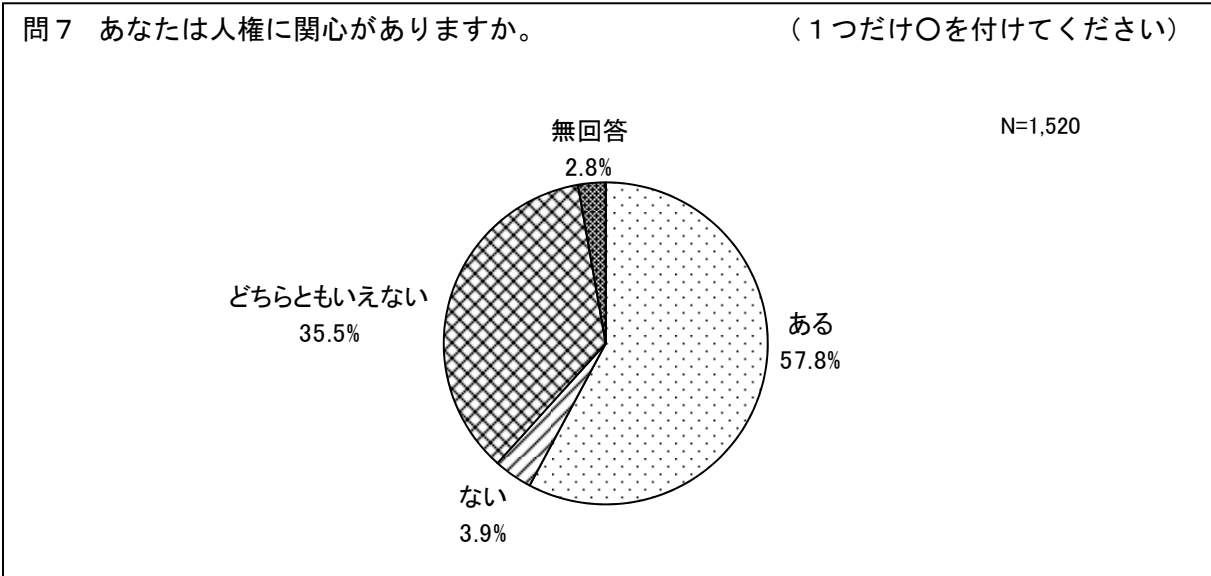
◆ 公共交通機関や、徒歩または自転車による移動のしやすさなど、「交通のユニバーサルデザイン化」の推進について、あなたの意見をご自由にお書きください。

※ひとつの回答に複数の項目についてのご意見が含まれるため、全体の件数は回答数を上回る。

➤ 道路の整備（歩道・横断歩道）	170 件
➤ バスの利便性向上	88 件
➤ 自転車で移動しやすい街の整備	80 件
➤ 自転車専用レーン（専用道）の整備・設置	76 件
➤ 公共交通機関の利便性向上	73 件
➤ 段差のない街の整備（バリアフリー）	56 件
➤ マナーやモラルの啓発	47 件
➤ 道路の整備（車道）	46 件
➤ 標識・信号などの設置・整備	18 件
➤ 駐輪場の整備・増設	17 件
➤ 街灯の増設	16 件
➤ ユニバーサルデザインの周知・教育	10 件
➤ 地域格差のないユニバーサルデザインの整備	8 件
➤ 通学路の安全性確保	3 件
➤ 外国語案内の整備	2 件
➤ その他	81 件

4 人権について

(1) 人権への関心度

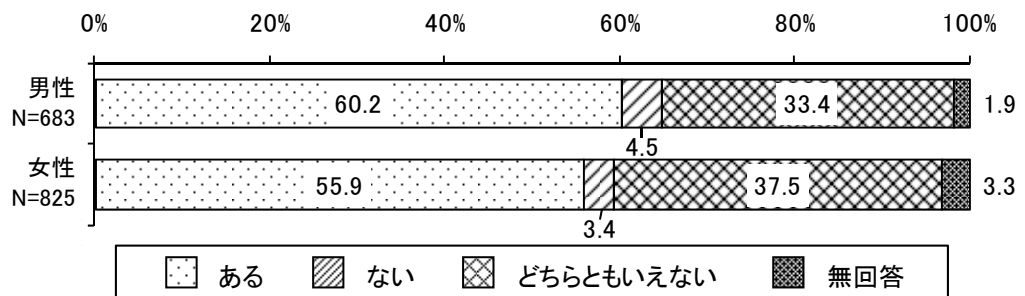


「ある」は57.8%と6割近くが回答した。「ない」は3.9%と非常に少なく、「どちらともいえない」が35.5%であった。

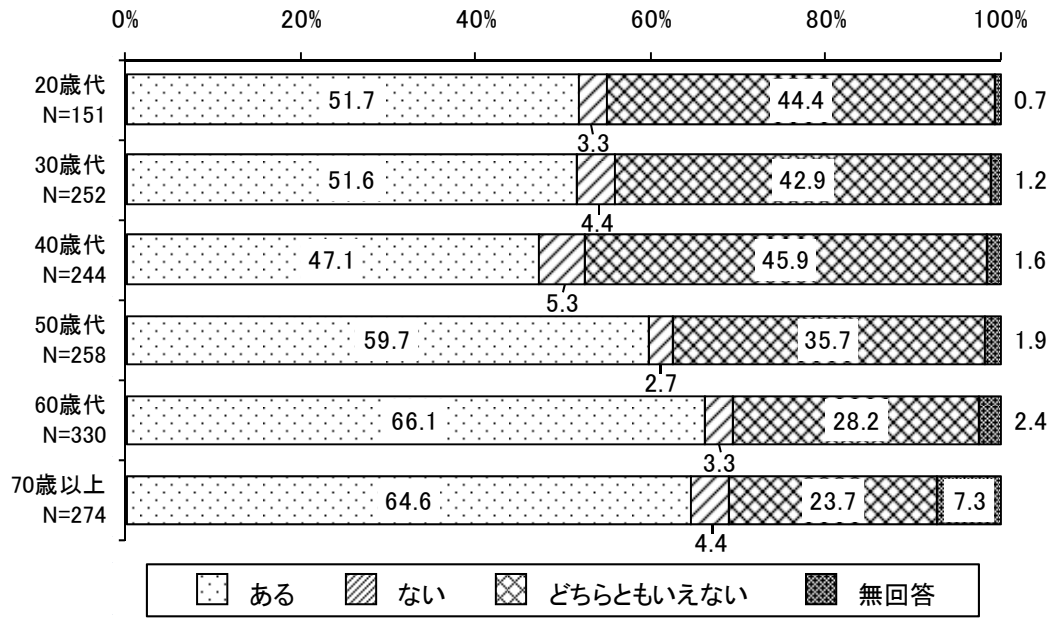
性別でみると、「ある」は男性が60.2%、女性が55.9%で、女性より男性の方が4.3ポイント高くなっている。

年代別でみると、「ある」は年代が上がるほど関心も高くなる傾向にあり、とくに60歳以上の関心が高い(60歳代:66.1%、70歳以上:64.6%)。一方、40歳代では47.1%で、年代別では最も少ない結果となった。

【性別】

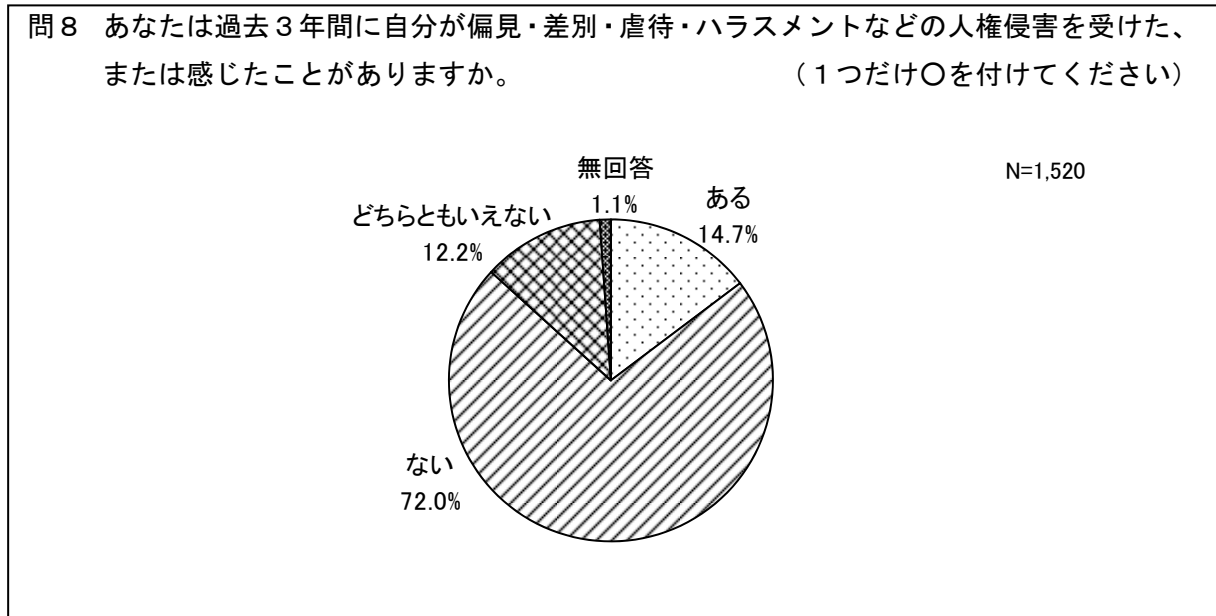


【年代別】



(2) 人権侵害を受けた経験

問8 あなたは過去3年間に自分が偏見・差別・虐待・ハラスメントなどの人権侵害を受けた、または感じたことがありますか。(1つだけ○を付けてください)

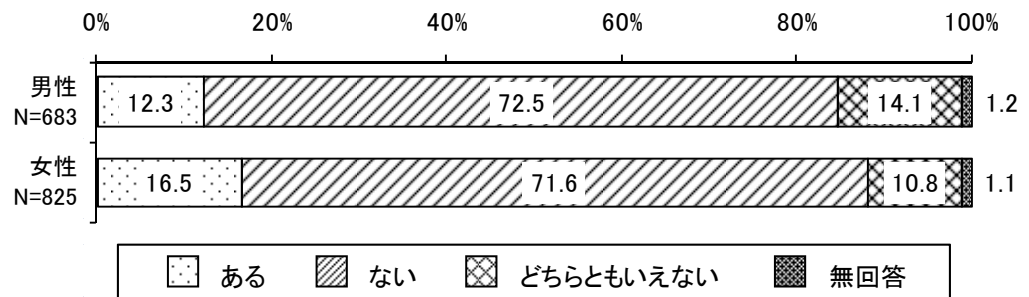


「ある」は14.7%と1割強の人が回答している。「どちらともいえない」も12.2%で、同じく1割強が、人権侵害を受けた、または感じた可能性があり、これらを合わせると3割弱(26.9%)におよぶ。

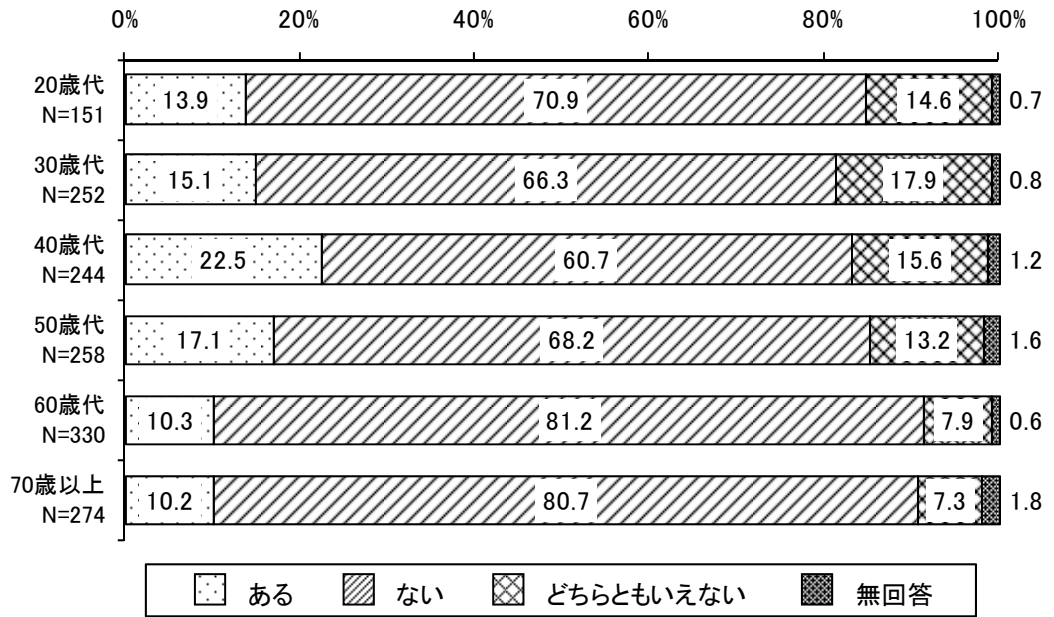
性別でみると、「ある」は男性が12.3%、女性が16.5%で、男性より女性の方が4.2ポイント高くなっている。「どちらともいえない」では、男性が14.1%、女性が10.8%で、女性より男性の方が3.3ポイント高くなっており、人権侵害を受けた、または感じた可能性としては、性別で大きな差はみられない。

年代別でみると、「ある」では40歳代が22.5%で最も多く、唯一2割を超えている。比較的小さいのは、60歳代以上の人たちであった(60歳代:10.3%、70歳以上10.2%)。「ない」では、60歳以上のみが8割を超えているなど、人権侵害を受けた、または感じた可能性があるのは比較的50歳代以下に多い傾向がみられた。

【性別】



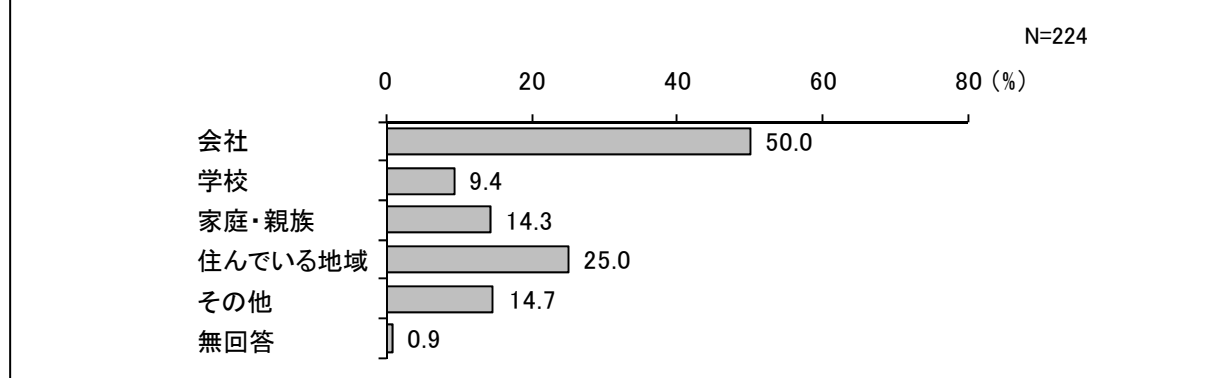
【年代別】



(3) 人権侵害を受けた場面

問9 設問8で「ある」に○を付けた方にお伺いします。

それはどんな場面でしたか。 (あてはまるものすべてに○を付けてください)

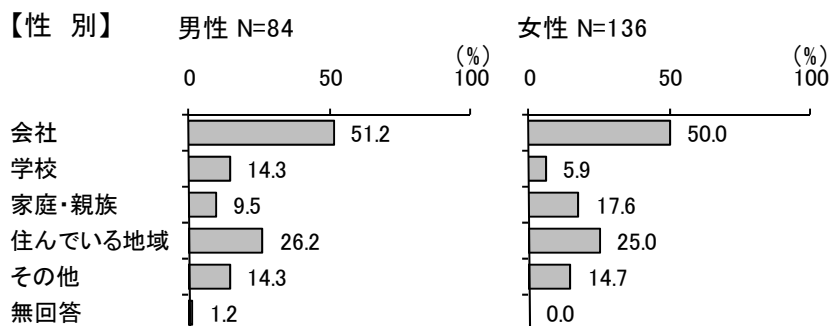


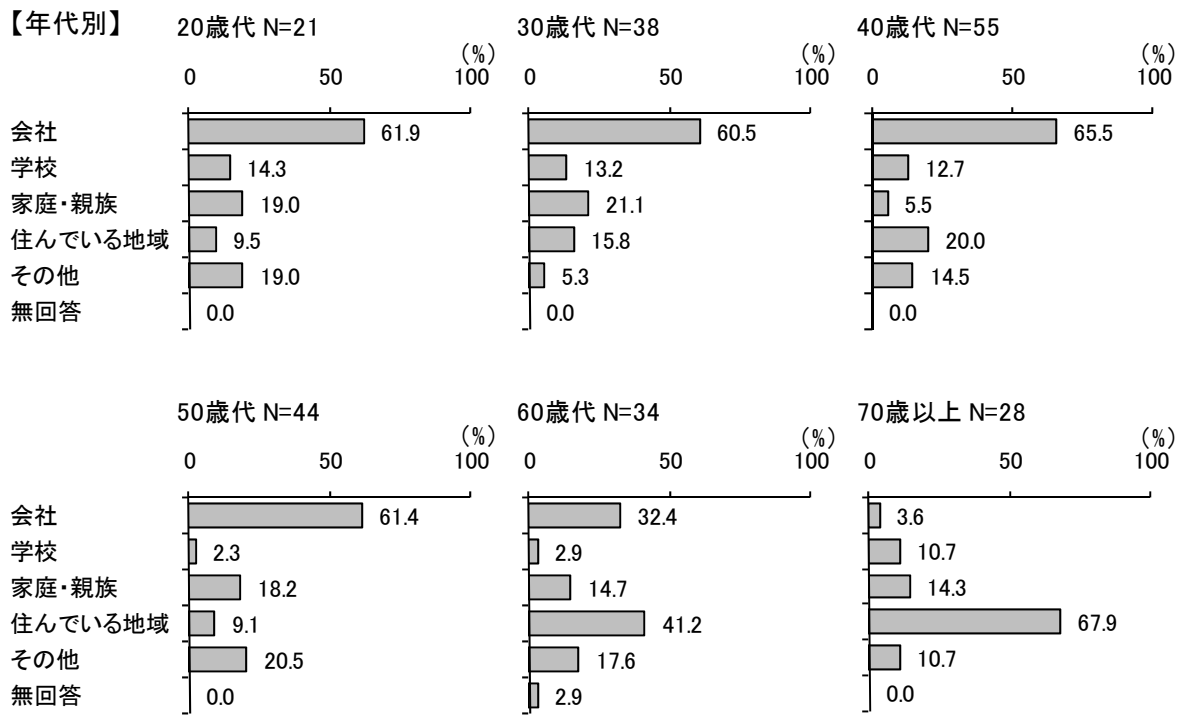
人権侵害を受けた、または感じた人の、その場面では、「会社」が50.0%と半数が回答し、「住んでいる地域」が25.0%と4分の1が回答している。

性別でみると、男女とも「会社」(男性：51.2%、女性：50.0%)、「住んでいる地域」(男性：26.2%、女性25.0%)への回答が多かった。一方、「学校」では男性が多く、「家庭・親族」では女性が多い結果となった。

年代別でみると、「会社」との回答は、会社に勤務している年代の20歳代～50歳代での割合が高い(20歳代：61.9%、30歳代：60.5%、40歳代：65.5%、50歳代：61.4%)。一方、60歳代以上では、「住んでいる地域」との回答が多くなる傾向にある(60歳代：41.2%、70歳以上：67.9%)。

人権の侵害というのは、人と人との交流の中で発生してしまうものであり、そのために、その人のライフスタイルや生活の中心がどこにあるかによって、人権侵害を感じる場面も変わってくる。浜松市の政策目標である「偏見と差別のない明るい社会の実現」を目指していくためには、人権侵害を受けた、または感じた場面として半数が『会社』と回答したことから、各企業へ重点的に働きかけるとともに、教育の場面などを通じて地道に浸透させていくことが必要になるといえる。



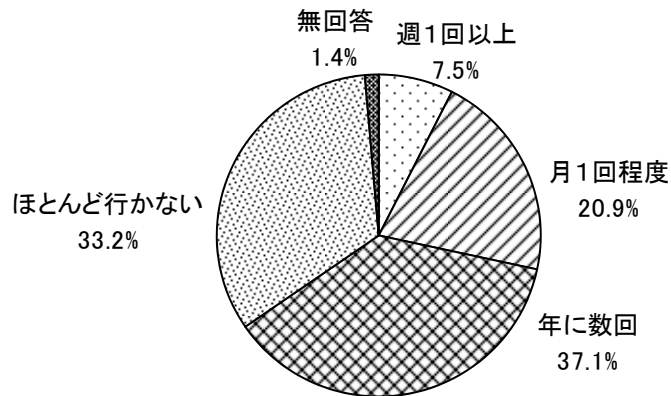


5 中心市街地について

(1) 中心市街地を訪れる頻度

問 10 あなたが、買い物などで中心市街地（浜松駅周辺エリア）を訪れる頻度はどの程度ですか。（1つだけ○を付けてください）

N=1,520



「年に数回」が37.1%と最も多く、「ほとんど行かない」が33.2%、「月に1回程度」が20.9%、「週1回以上」が7.5%となっている。

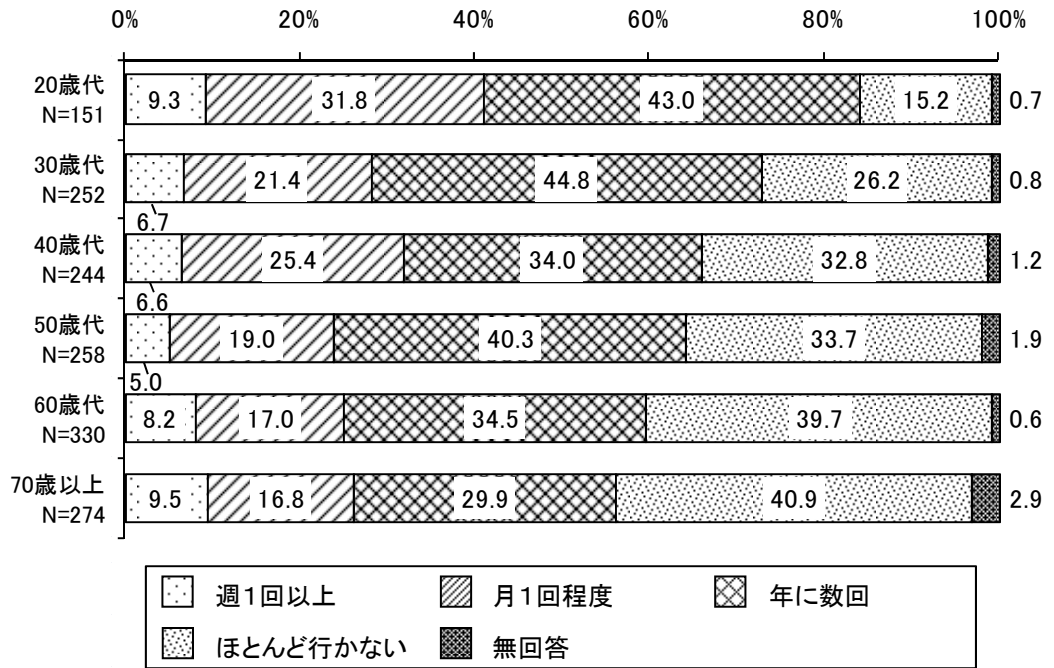
年代別でみると、「週1回以上」と「月1回程度」を合わせた『来街比率』は、20歳代が41.1%と最も多い。また、「年に数回」まで含めると、年代が上がるほど訪れる割合が低くなる傾向にある。

居住年数別でみると、3年未満では「週1回以上」が13.3%、「月1回程度」が42.2%であり、他の居住年数と比較して『来街比率』が高い。また、「年に数回」まで含めると、浜松市内に居住している年数が長くなるほど、中心市街地を訪れなくなる傾向にある。

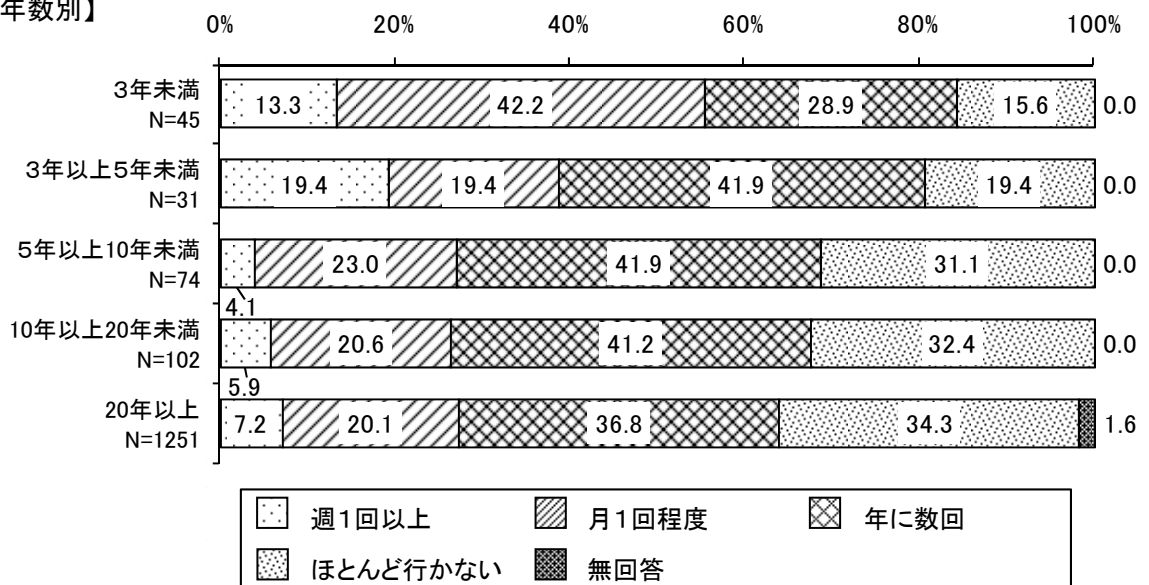
行政区別でみると、『来街比率』は中区で45.9%、南区39.4%、東区25.4%となっており、旧浜松市の方が中心市街地を訪れている傾向にある。一方で、北区や天竜区は「ほとんど行かない」が4割を超えている（北区：43.1%、天竜区：45.1%）。これは中心市街地から距離があることや、公共交通機関、とくに鉄道の利便性の違いなどが影響していると推測される。

中心市街地への訪問頻度は、20歳代や居住年数3年未満で高いが、時間が経過するほど訪問しなくなる傾向がみられた。中心市街地への訪問機会を増やしていくには、20歳代や居住年数3年未満の人たちの、その後の来街リピート率を上げるとともに、『来街比率』の低い人たちのニーズを掘り起こし、来街機会を増やす取り組みが必要といえる。

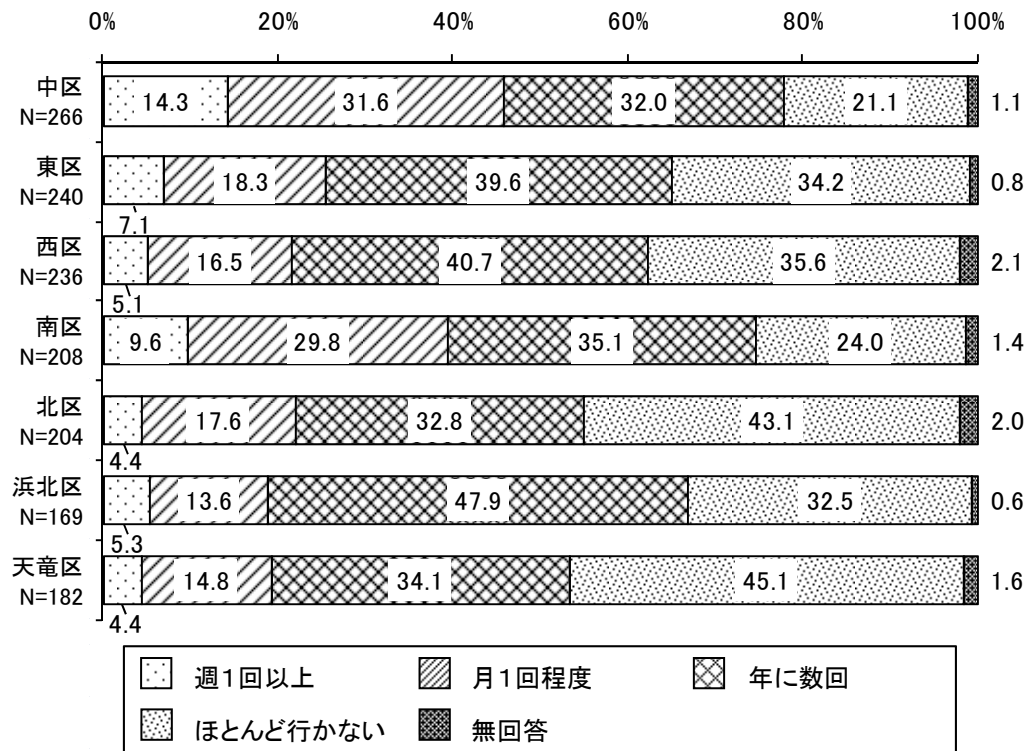
【年代別】



【居住年数別】

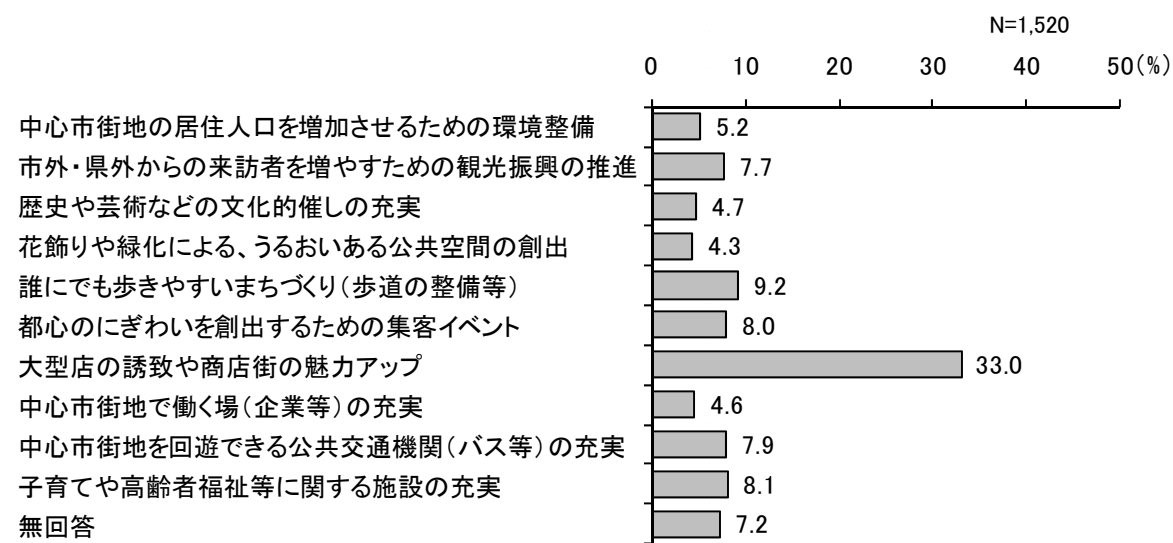


【行政区別】



(2) 中心市街地活性化のために取り組むべきこと

問 11 多くの人が訪れる魅力ある中心市街地にするために、あなたが重点的に進めるべきだと考える取り組みは何ですか。(1つだけ○を付けてください)



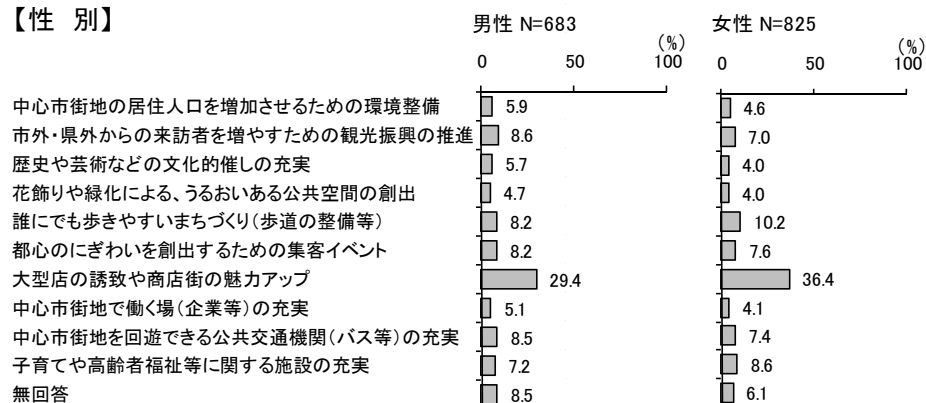
「大型店の誘致や商店街の魅力アップ」が33.0%と最も多く、他の項目を大きく引き離している。これに続くのが、「誰にでも歩きやすいまちづくり(歩道の整備等)」で9.2%、「子育てや高齢者福祉等に関する施設の充実」で8.1%、「都心のにぎわいを創出するための集客イベント」で8.0%であるが、いずれも1割以下である。

性別でみると、男女いずれも「大型店の誘致や商店街の魅力アップ」が最も多かったが、とくに女性の方が、その傾向は強い(男性29.4%、女性36.4%)。

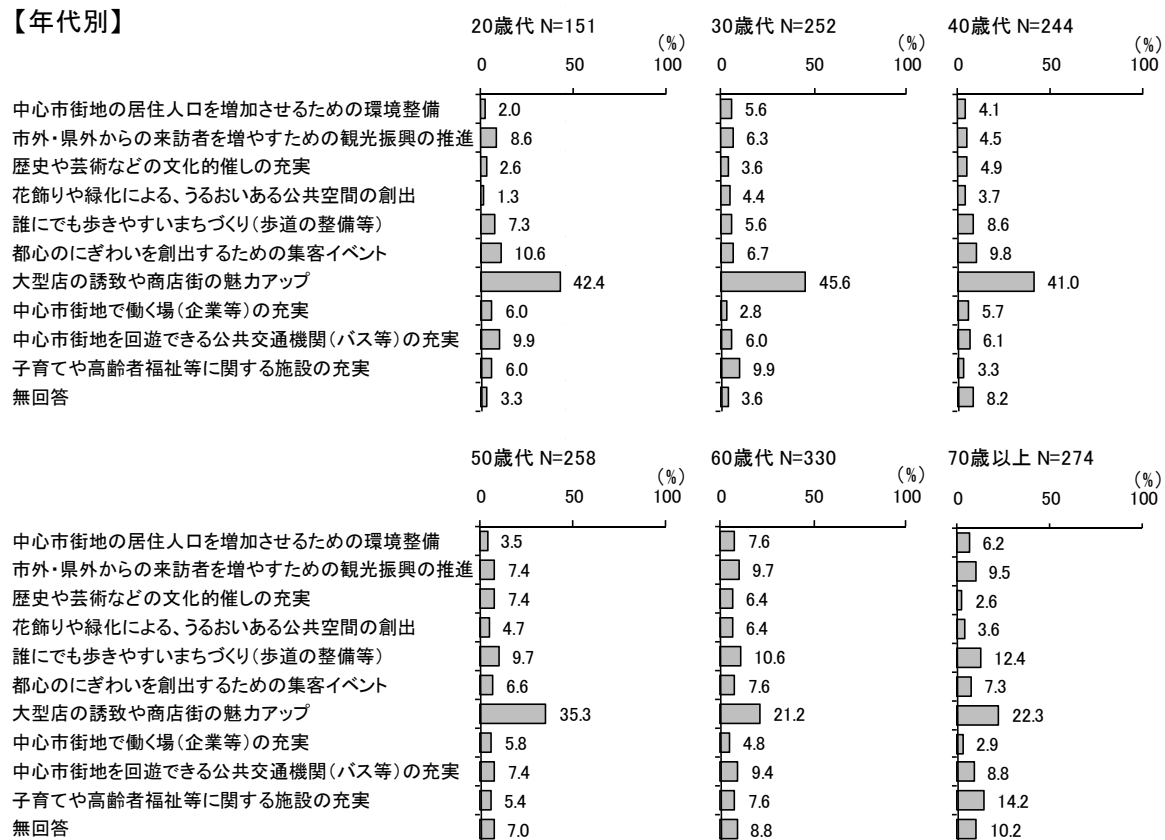
年代別でみると、「大型店の誘致や商店街の魅力アップ」は20歳代～40歳代では4割台(20歳代:42.4%、30歳代:45.6%、40歳代:41.0%)であるのに対し、50歳代では35.3%と3割台に、60歳代以上では2割台(60歳代:21.2%、70歳以上:22.3%)となるなど、年代が上がるほど少なくなる傾向にある。一方、60歳代以上では、「誰にでも歩きやすいまちづくり(歩道の整備等)」(60歳代:10.6%、70歳以上:12.4%)や「子育てや高齢者福祉等に関する施設の充実」(70歳以上:14.2%)への回答が、他の年代と比較して多かった。

行政区別でみると、「大型店の誘致や商店街の魅力アップ」は南区が44.7%で最も多かった。旧浜松市でも西区・東区では、それぞれ「イオンモール浜松志都呂」「イオン浜松市野ショッピングセンター」などがあるのに対して、南区には同様の施設は見当たらず、そのようなことが影響しているかもしれない。前述の中心市街地の訪問頻度で、「ほとんど行かない」が多かった北区と天竜区では、それぞれ27.5%、22.0%と他の行政区よりも低い結果となった。「大型店の誘致や商店街の魅力アップ」以外で1割を超えたのは、「誰にでも歩きやすいまちづくり(歩道の整備等)」で、中区が12.0%、北区が11.3%、「子育てや高齢者福祉等に関する施設の充実」で、天竜区が14.3%、「中心市街地を回遊できる公共交通機関(バス等)の充実」で、浜北区が10.7%、北区が10.3%、および「市外・県外からの来訪者を増やすための観光振興の推進」で、浜北区が12.4%、天竜区が11.5%であった。これらから、重点的に進めるべき取り組みは、旧浜松市と旧浜松市以外とで違いがあるといえる。

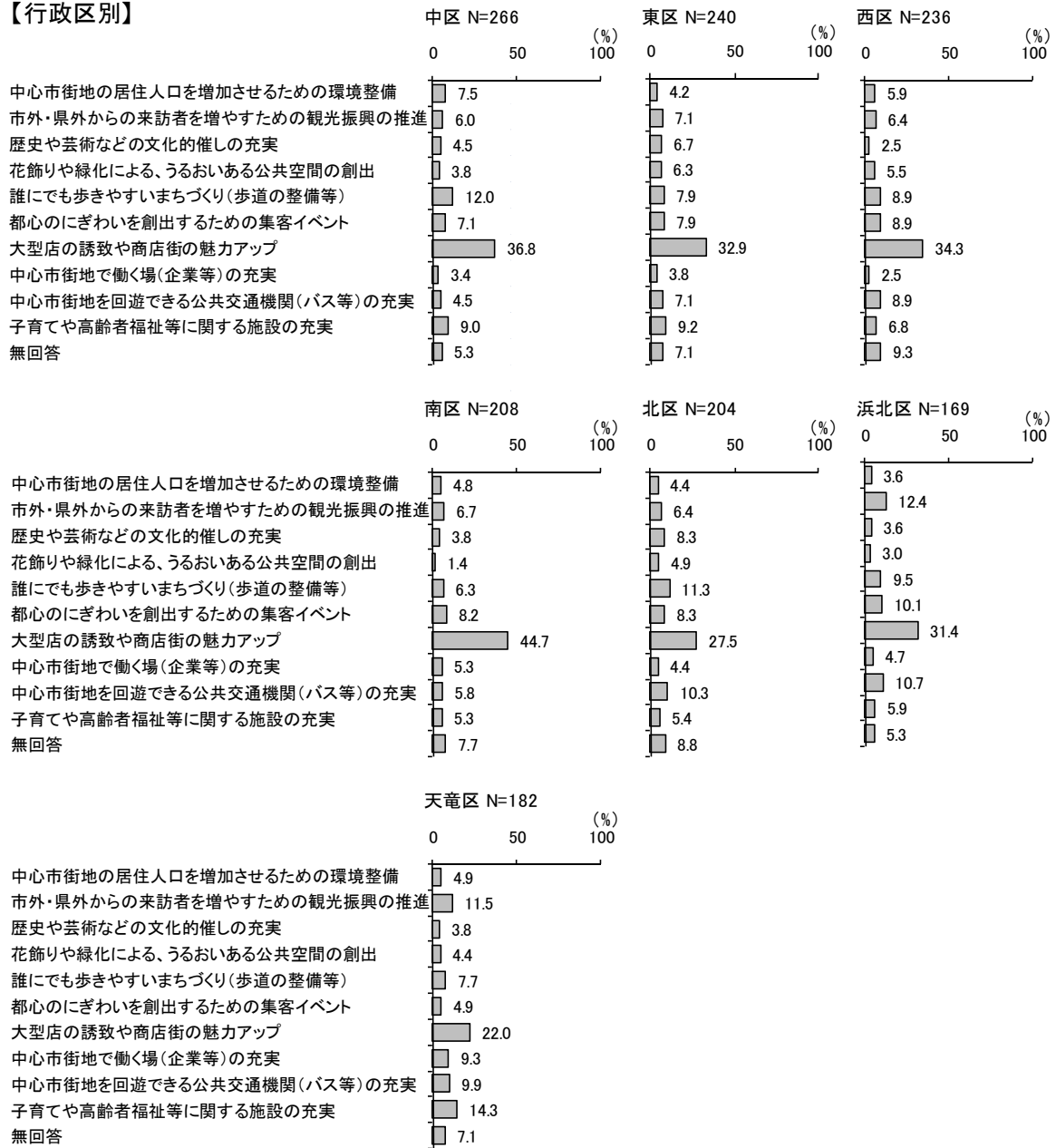
【性別】



【年代別】



【行政区別】



(3) 中心市街地についてのご意見

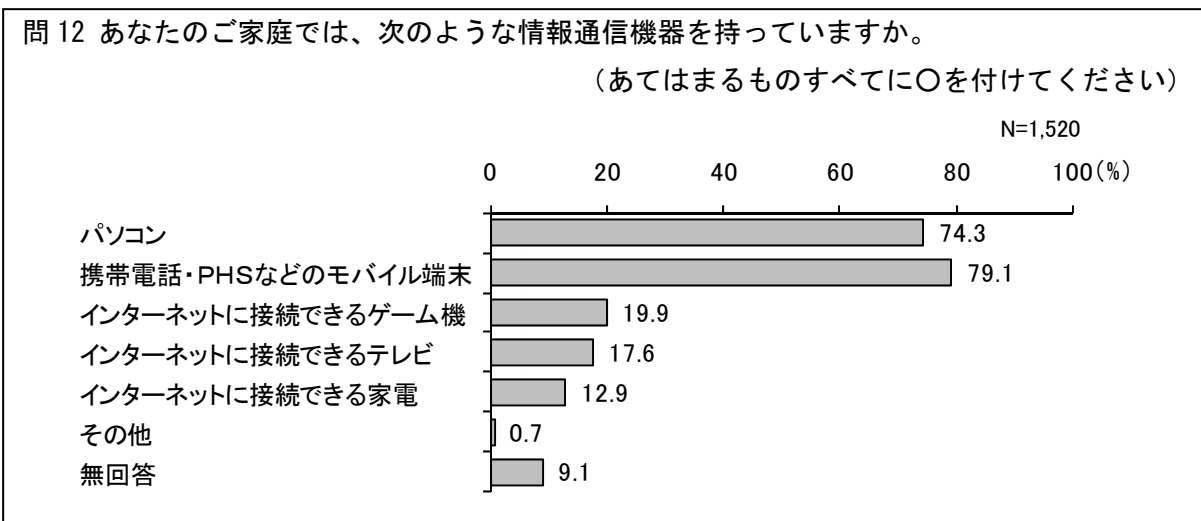
◆ 「中心市街地」について、あなたの意見をご自由にお書きください。

※ひとつの回答に複数の項目についてのご意見が含まれるため、全体の件数は回答数を上回る。

➤ 駐車料金が高額	125 件
➤ 無料駐車場の整備	122 件
➤ 郊外の方が魅力的（便利）	99 件
➤ 誰もが魅力を感じる店舗の充実	72 件
➤ 松菱跡地やイトーヨーカドー跡地の活用	70 件
➤ 駐車場の整備	69 件
➤ 中心市街地には魅力がない（興味が持てない）	67 件
➤ 街全体に活気がない	66 件
➤ 中心市街地全体を魅力ある（行きたくなる）場所にしてほしい	65 件
➤ 公共交通機関の整備（回遊、値下げなど）	64 件
➤ 誰にでも移動しやすい街づくり（防犯面、歩道整備、休憩場所の設置など）	62 件
➤ 大型店や百貨店の誘致	51 件
➤ ユニバーサルデザイン	38 件
➤ 子育てや高齢者が利用できる福祉施設の充実	33 件
➤ 中心市街地の活性化にこだわる必要はない（疑問）	31 件
➤ 親子（家族）が楽しめるスペースの整備	30 件
➤ 住みやすい中心市街地の整備	29 件
➤ 公園の整備や緑化	29 件
➤ イベントの誘致	27 件
➤ 交通の便（アクセス）が悪い	23 件
➤ 道路の整備（渋滞緩和）と案内標識の設置	20 件
➤ 地域のPRと活性化	15 件
➤ 文化・芸術・スポーツ交流ができる施設の整備	14 件
➤ オフィスの誘致	8 件
➤ 公共施設の整備	8 件
➤ 日用品や食料品を扱う店がない	6 件
➤ 中心市街地の清掃	6 件
➤ 自転車道の整備や駐輪場の整備	6 件
➤ 観光できる場所がない	4 件
➤ その他	44 件

6 家庭の情報化について

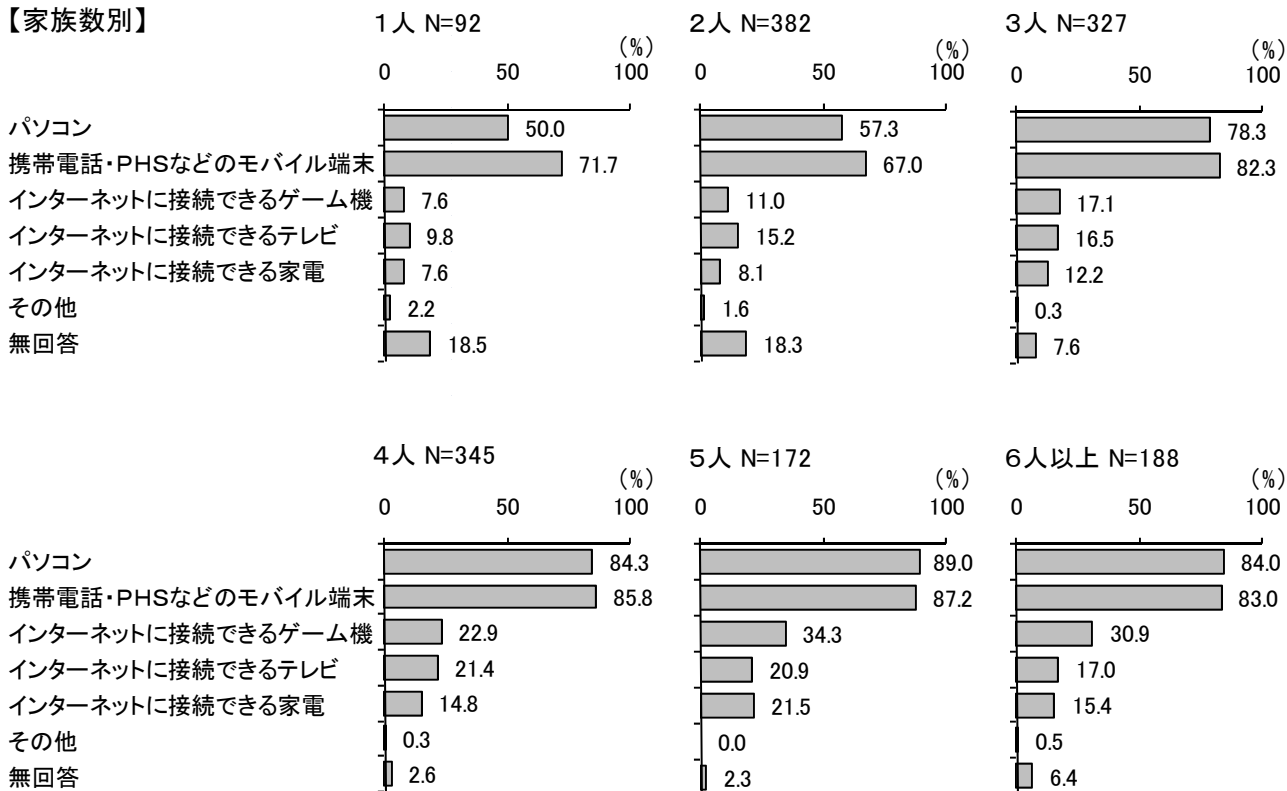
(1) 家庭にある情報通信機器



「携帯電話・PHSなどのモバイル端末」が79.1%、「パソコン」が74.3%と7割を超えており、多くの世帯に普及しているといえる。以下、「インターネットに接続できるゲーム機」が19.9%、「インターネットに接続できるテレビ」が17.6%、「インターネットに接続できる家電」が12.9%と続いた。

家族数別では、全ての項目で、概ね家族数が増えるほど所有する割合も高くなる傾向にある。

【家族数別】

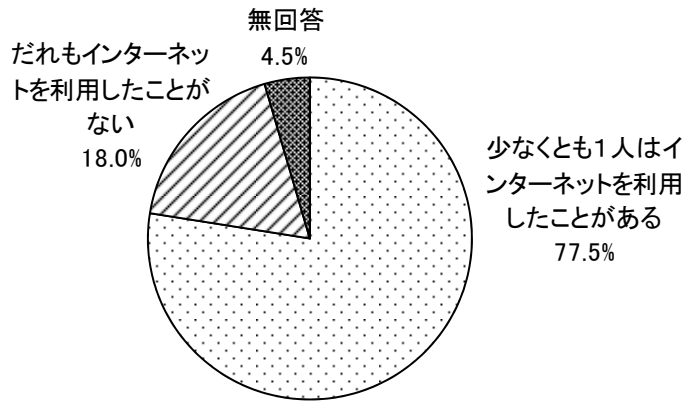


(2) インターネットの利用状況

問 13 あなたやあなたのご家族は、過去1年間にインターネット（情報通信機器によるメール送受信およびホームページ利用を含む）を利用したことがありますか。

（1つだけ○を付けてください）

N=1,520

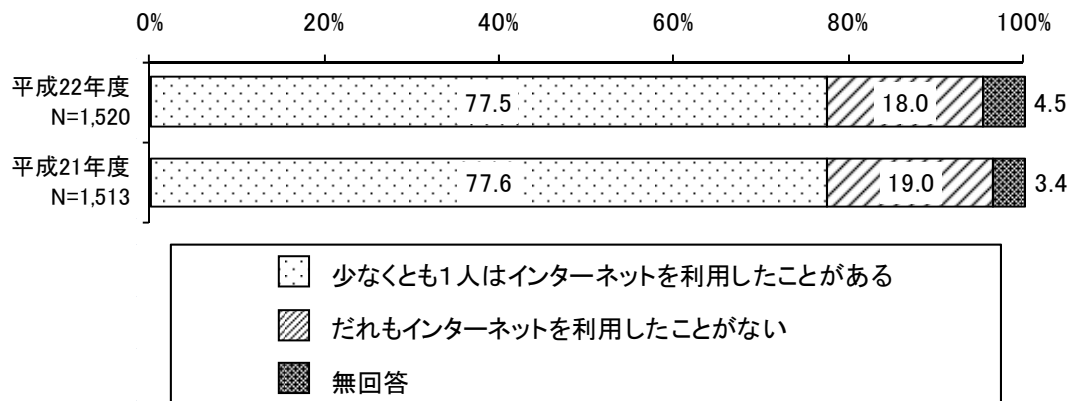


「少なくとも1人はインターネットを利用したことがある」が77.5%、「だれもインターネットを利用したことがない」が18.0%となっている。

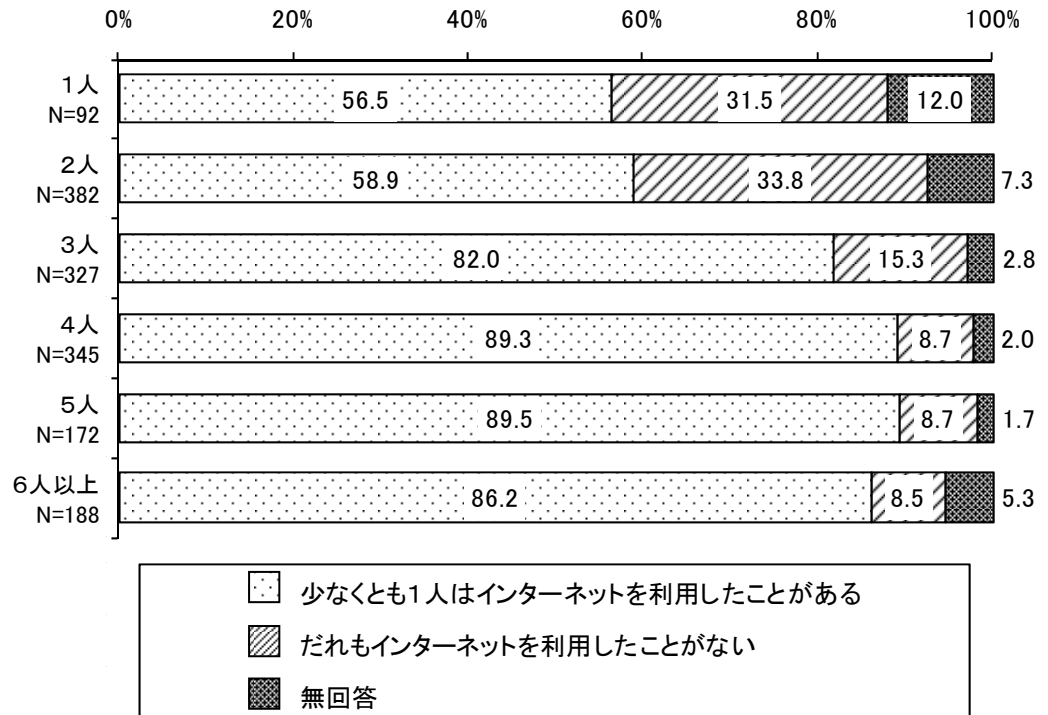
前年度調査と比較すると、「少なくとも1人はインターネットを利用したことがある」（平成21年度：77.6%、平成22年度：77.5%）は0.1ポイント減で、大きな変化はみられない。

家族数別でみると、「少なくとも1人はインターネットを利用したことがある」は3人以上ではいずれも8割台である（3人：82.0%、4人：89.3%、5人：89.5%、6人以上：86.2%）のに対し、2人以下では、いずれも5割台（1人：56.5%、2人：58.9%）と、世帯でのインターネットの利用は、家族数で差がみられた。

【経年比較】



【家族数別】

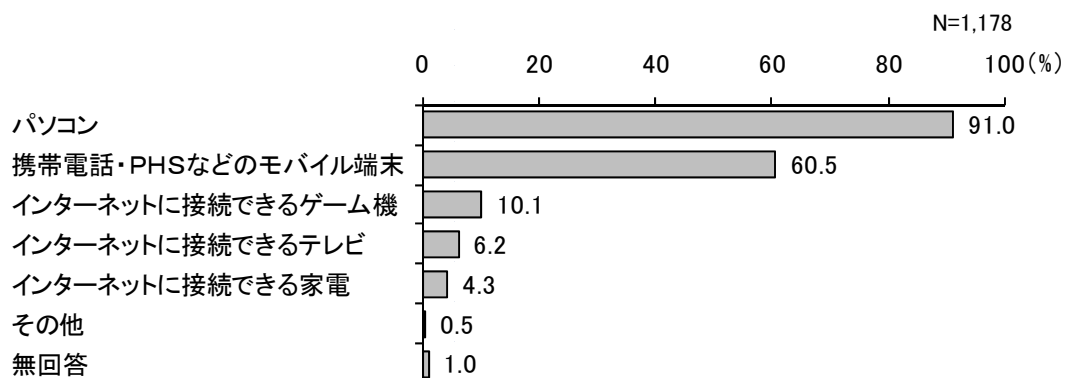


(3) インターネットの利用頻度

問 14 問 13 で「1. 少なくとも 1 人はインターネットを利用したことがある」とお答えの方に伺います。

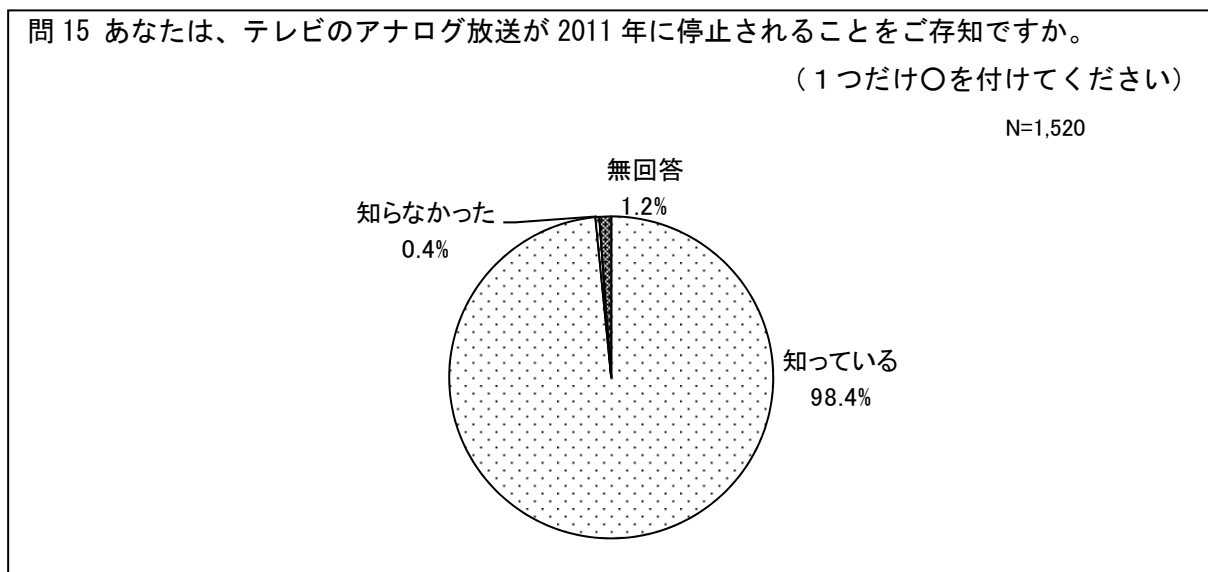
あなたやあなたのご家族は、どの情報通信機器でインターネットを利用していますか。

(あてはまるものすべてに○を付けてください)



インターネットを利用している世帯での、利用の際の情報通信機器は、「パソコン」が 91.0%と最も多く 9 割を超えた。インターネットを利用している世帯では、そのほとんどでパソコンを利用していることが分かる。以下、「携帯電話・PHSなどのモバイル端末」が 60.5%、「インターネットに接続できるゲーム機」が 10.1%、「インターネットに接続できるテレビ」が 6.2%、「インターネットに接続できる家電」が 4.3%と続いた。

(4) テレビのアナログ放送停止の認知度

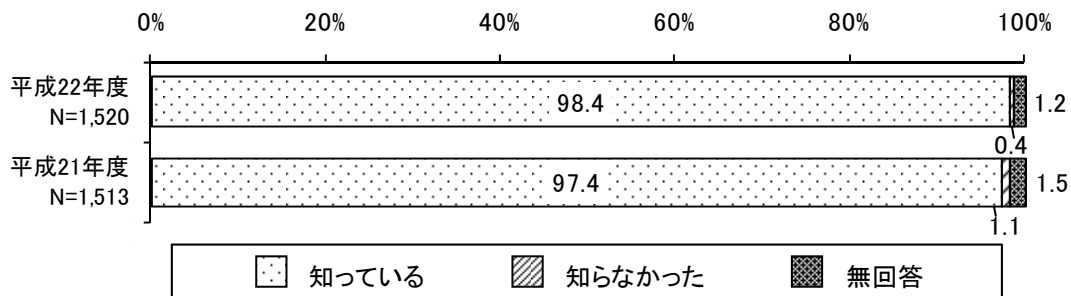


「知っている」は 98.4% で、ほとんどの人が知っている状況にある。

前年度調査と比較すると、「知っている」(平成 21 年度 : 97.4%、平成 22 年度 : 98.4%) は 1.0 ポイントと増加している。

アナログ放送終了まで約 1 年(本調査時点)の段階で、わずかながら知らないという人もいるため、今一度の周知徹底が必要といえる。

【経年比較】

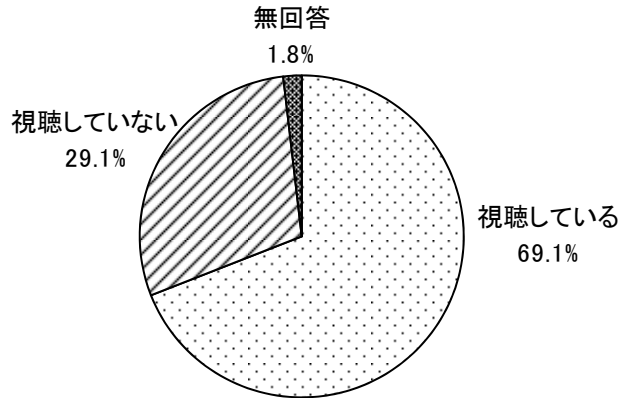


(5) 地上デジタル放送の視聴

問 16 あなたのご家庭では、地上デジタル放送を視聴されていますか。

(1つだけ○を付けてください)

N=1,520

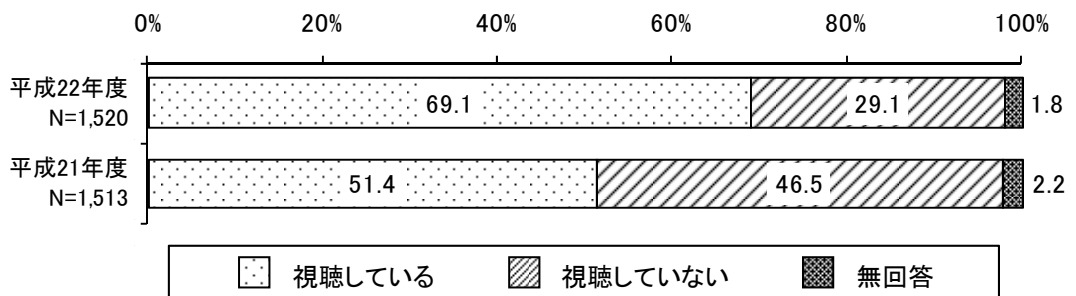


「視聴している」が69.1%、「視聴していない」が29.1%となっている。

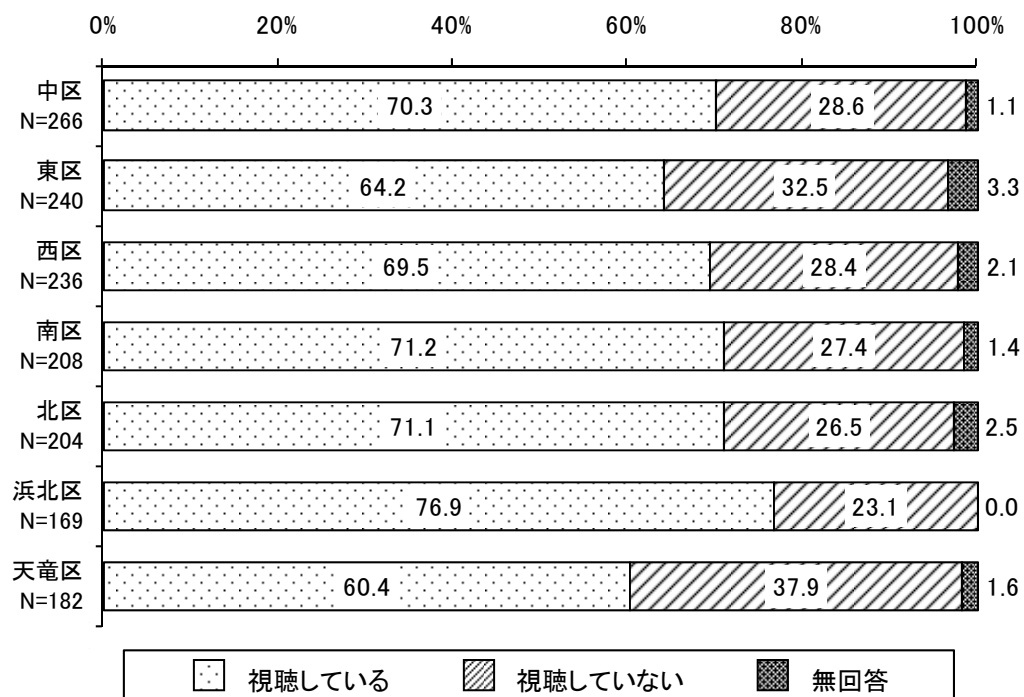
前年度調査と比較すると、「視聴している」（平成21年度：51.4%、平成22年度：69.1%）は17.7ポイントと大幅に増加している。

行政区別でみると、「視聴している」は浜北区の76.9%を筆頭に、南区(71.2%)、北区(71.1%)、中区(70.3%)で7割を超えている。これら以外では、西区が69.5%、東区が64.2%、天竜区が60.4%であり、天竜区での視聴がやや遅れている状況にある。アナログ放送終了(平成23年7月)まで1年を切っている中、天竜区を中心とした地上デジタル放送受信準備の周知徹底が必要となる。

【経年比較】



【行政区別】



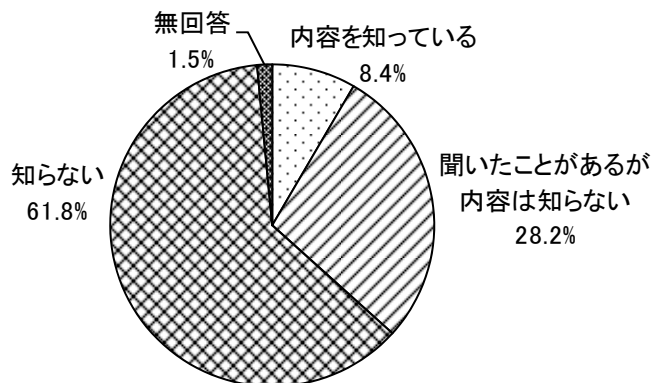
7 健康はままつ21について

(1)「健康はままつ21」の認知度

問 17 市では、すべての市民が健康で明るく元気に生活できることを目指し、健康づくりの指針となる「健康はままつ21」を策定しましたが、あなたをご存知ですか。

(1つだけ○を付けてください)

N=1,520



「内容を知っている」が8.4%、「聞いたことがあるが内容は知らない」が28.2%、「知らない」が61.8%となっている。「内容を知っている」と「聞いたことがあるが内容は知らない」を合わせた『認知度』は36.6%となっている。

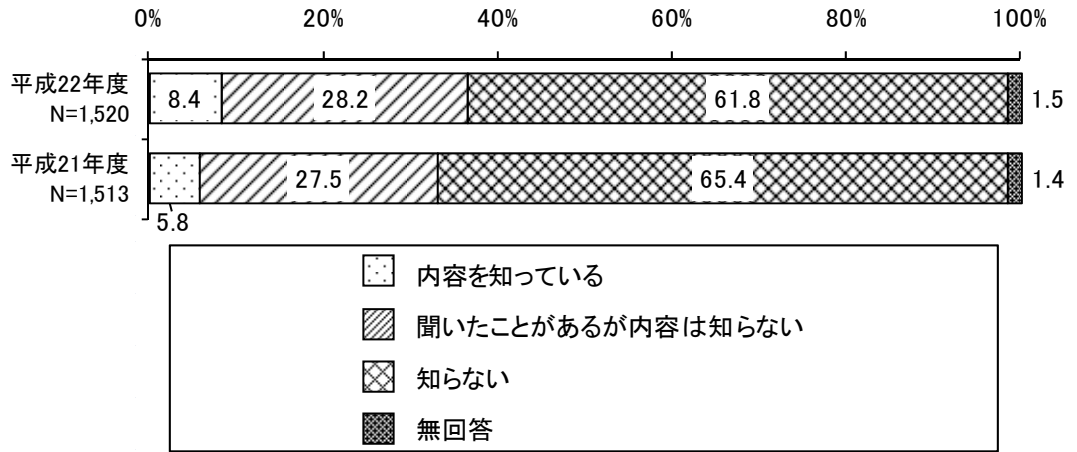
前年度調査と比較すると、「内容を知っている」(平成21年度:5.8%、平成22年度:8.4%)は2.6ポイント増加している。また、『認知度』も、前年度の33.3%から36.6%へと3.3ポイント増加している。

性別で見ると、「内容を知っている」は男性が7.2%、女性が9.3%で、男性より女性の方が2.1ポイント高くなっている。また、『認知度』についても、男性が31.8%、女性が40.9%で、男性より女性の方が9.1ポイント高くなり、「内容を知っている」よりも差が広がっている。

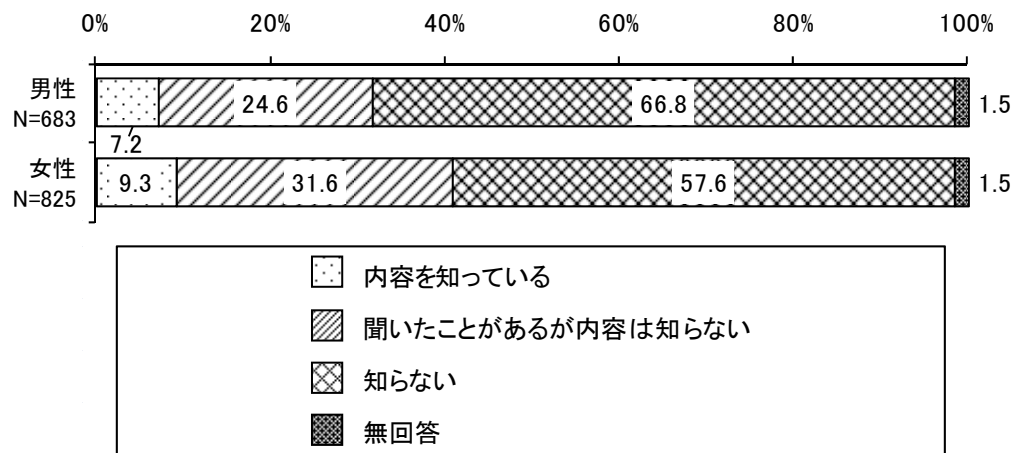
年代別で見ると、40歳代以下が4~5%台(20歳代:4.0%、30歳代:5.2%、40歳代:4.1%)であるのに対し、50歳代以上は10%前後(50歳代:9.3%、60歳代:13.0%、70歳以上:10.9%)と、この年代を境に差がみられた。また、『認知度』については、年代が上がるほど認知度も上がっていく傾向にある。

「健康はままつ21」の市民への認知度は、40歳代以下の人たちへの周知を図っていくとともに、内容まで知ってもらう取り組みが必要であるといえる。

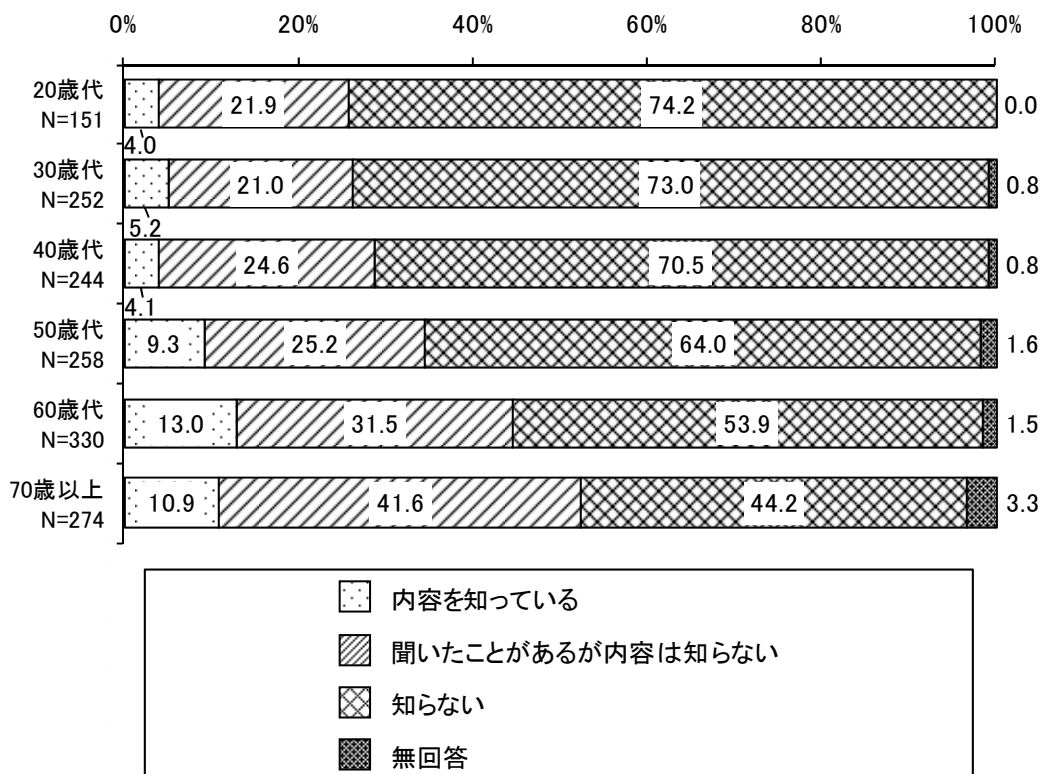
【経年比較】



【性別】



【年代別】

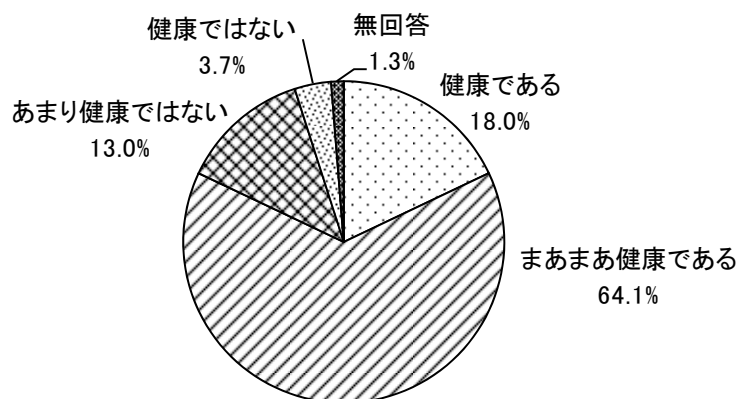


(2) 健康状態

問 18 あなたは、現在ご自身の健康状態をどのように感じていますか。

(1つだけ○を付けてください)

N=1,520

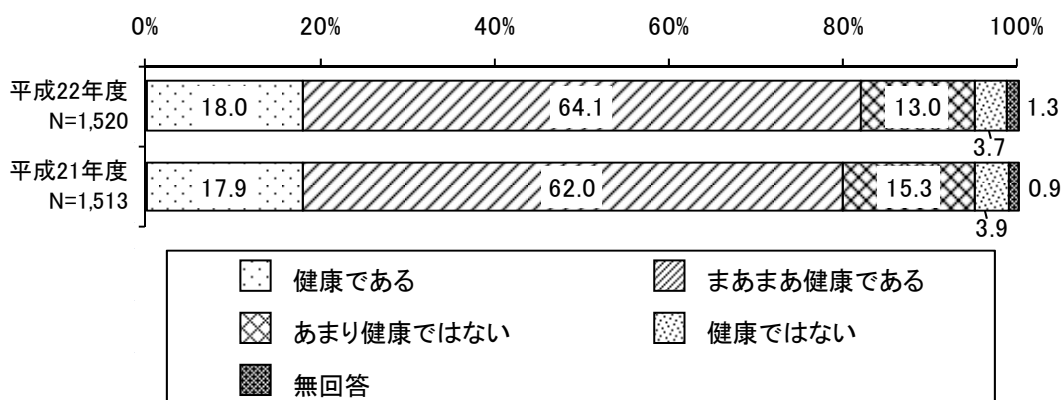


「健康である」が18.0%、「まあまあ健康である」が64.1%、「あまり健康ではない」が13.0%、「健康ではない」が3.7%であり、「健康である」と「まあまあ健康である」を合わせた『健康である』は82.1%と8割を超えている。

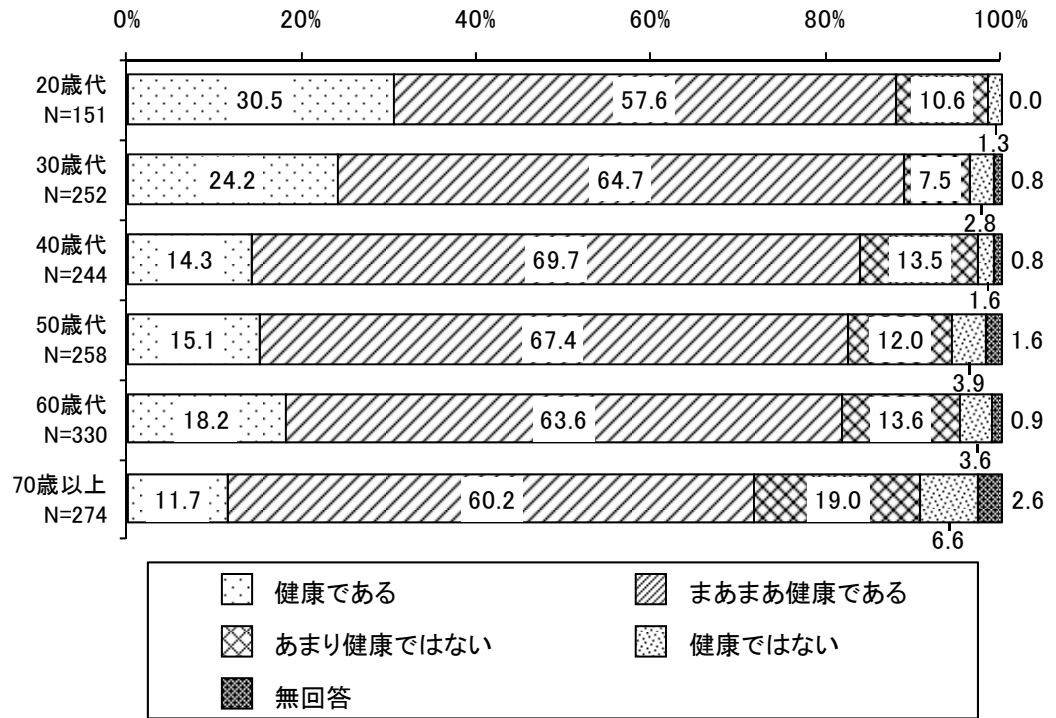
前年度調査と比較すると、「健康である」(平成21年度：17.9%、平成22年度：18.0%)はほとんど変わらず、『健康である』(平成21年度：79.9%、平成22年度：82.1%)は2.2ポイントと若干増加している。

年代別で見ると、『健康である』はおおむね年代が高いほど少なく、20歳代が88.1%、30歳代が88.9%とであるのに対し、40歳代は84.0%、50歳代は82.5%、60歳代は81.8%、70歳以上は71.9%となっている。また、「健康である」は、20歳代が30.5%、30歳代が24.2%とこれらでほかの年代と比較して多く、40歳代以上では15%前後でほぼ同程度となっている(40歳代：14.3%、50歳代：15.1%、60歳代：18.2%、70歳以上：11.7%)。

【経年比較】

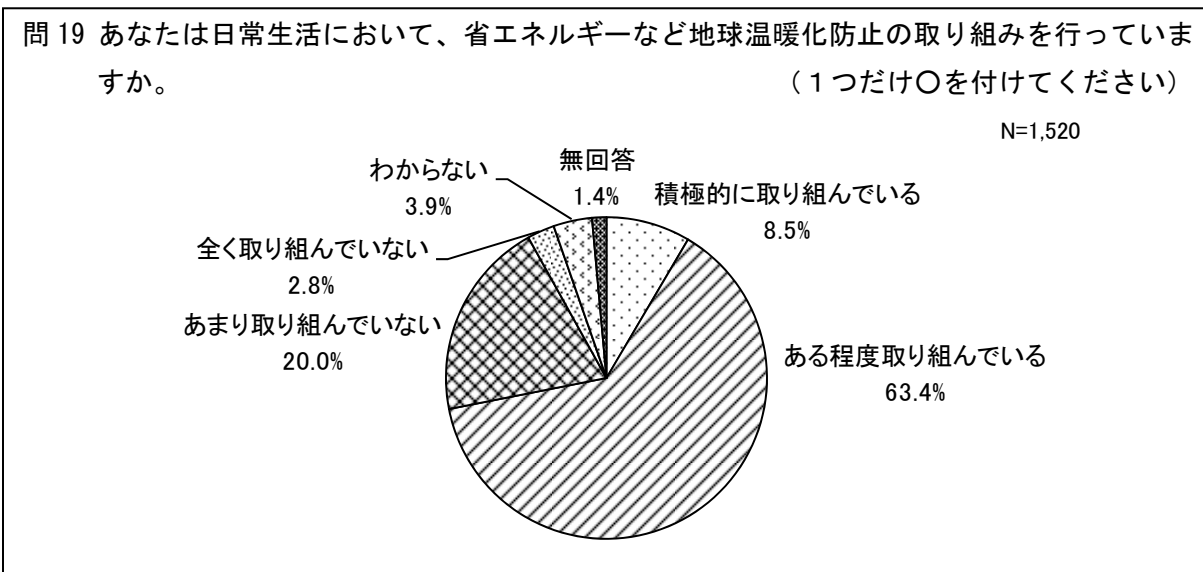


【年代別】



8 地球温暖化防止について

(1) 地球温暖化防止への取り組み



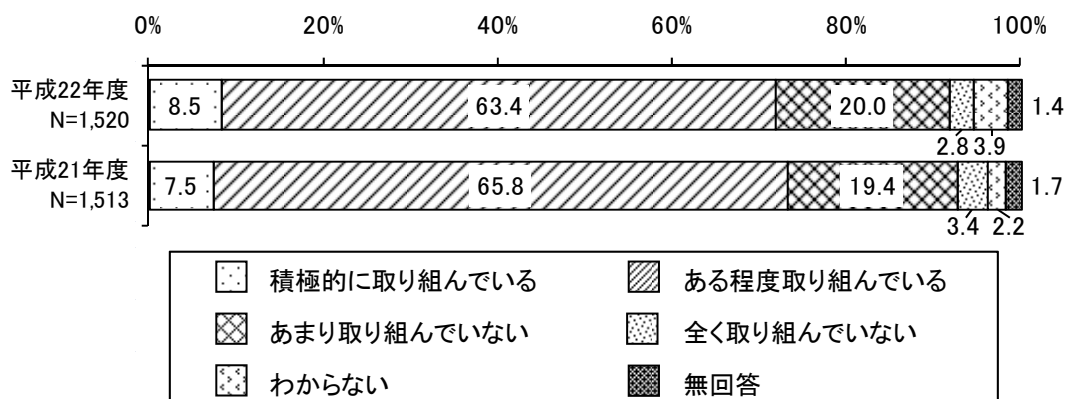
「積極的に取り組んでいる」が 8.5%、「ある程度取り組んでいる」が 63.4%、「あまり取り組んでいない」が 20.0%、「全く取り組んでいない」が 2.8%となっている。「積極的に取り組んでいる」と「ある程度取り組んでいる」を合わせた『取り組んでいる』は 71.9%と 7 割を超えており、多くの市民の間で地球温暖化防止の取り組みが行われているといえる。

前年度調査と比較すると、「積極的に取り組んでいる」(平成 21 年度:7.5%、平成 22 年度:8.5%) は 1.0 ポイント増加している。一方で『取り組んでいる』(平成 21 年度:73.3%、平成 22 年度:71.9%) は 1.4 ポイント減少している。

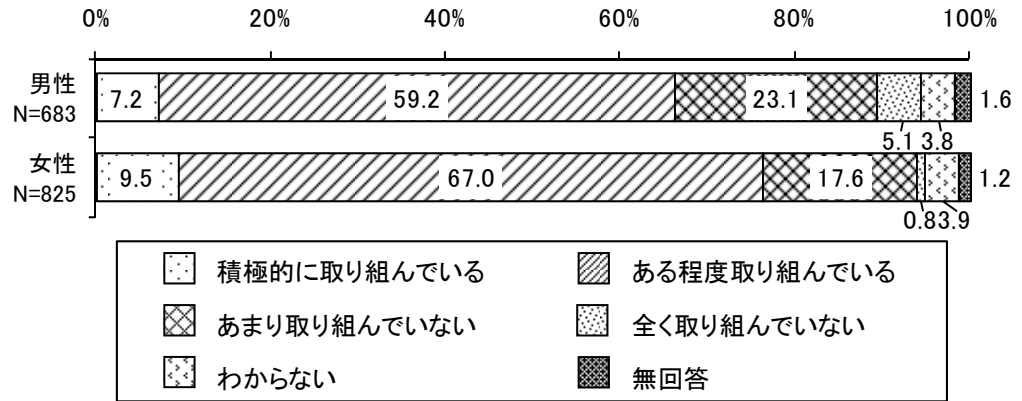
性別でみると、「積極的に取り組んでいる」は男性が 7.2%、女性が 9.5%で、男性より女性の方が 2.3 ポイント高くなっている。また、『取り組んでいる』についても、女性が 76.5%、男性が 66.4%で、男性より女性の方が 10.1 ポイント高くなっており、「積極的に取り組んでいる」よりも差が広がっている。

行政区別でみると、『取り組んでいる』は、浜北区が 77.5%、東区が 75.0%と、これらの行政区で多くなっている。一方で、西区と天竜区がそれぞれ 67.8%、68.1%とほかの行政区と比較して低くなっている。

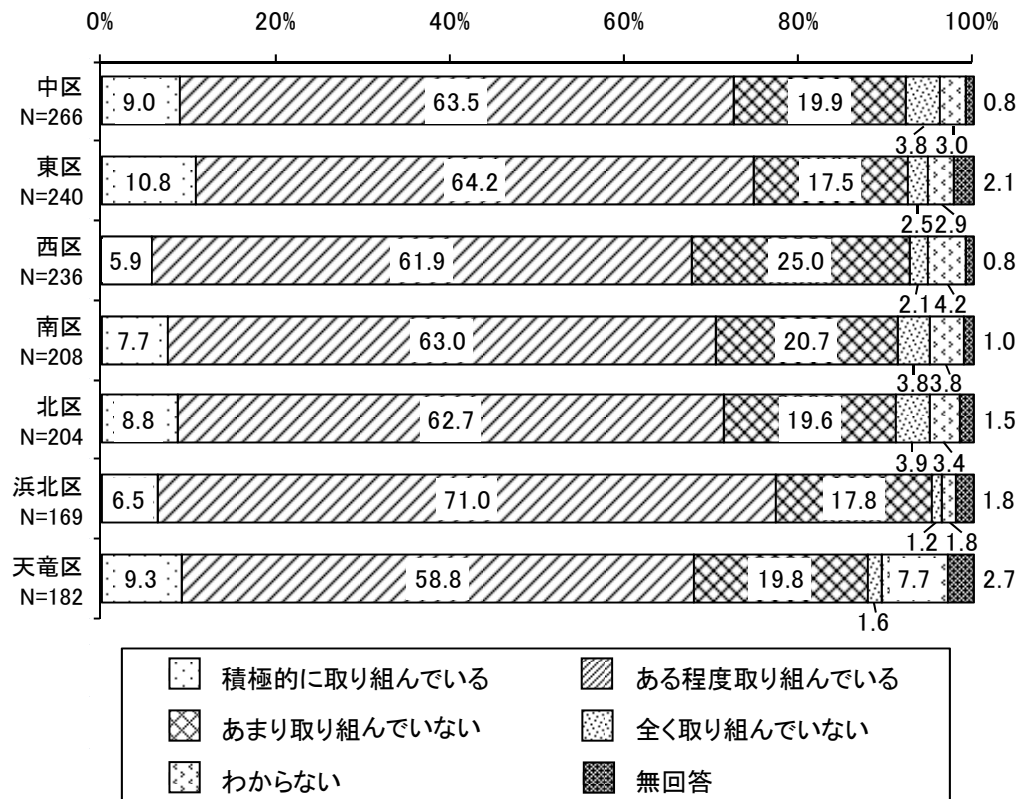
【経年比較】



【性別】



【行政区別】

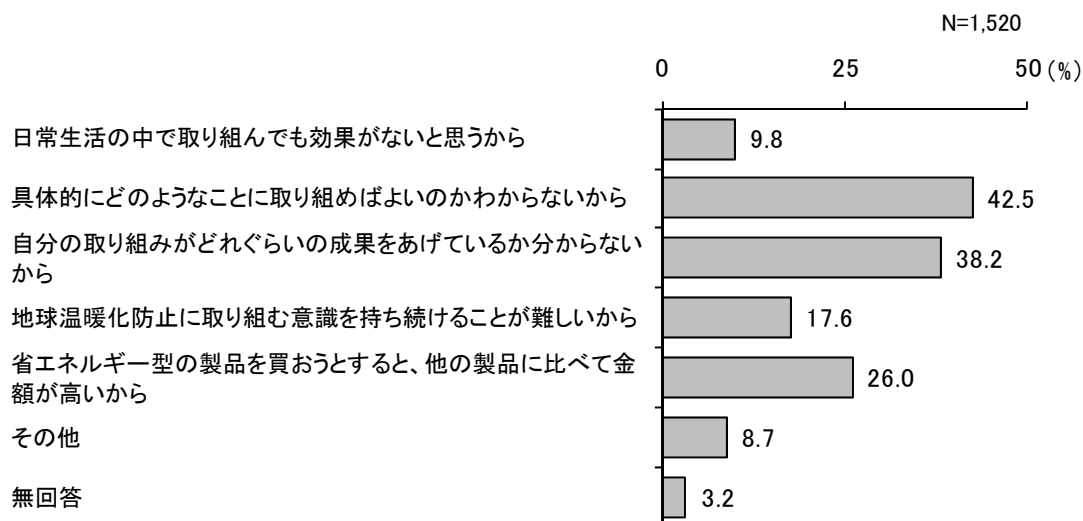


(2) 地球温暖化防止に取り組まない理由

問 20 問 19 で「3. あまり取り組んでいない」「4. 全く取り組んでいない」とお答えの方に伺います。

あなたが、省エネルギーなど地球温暖化防止の取り組みを行わない理由は何ですか。

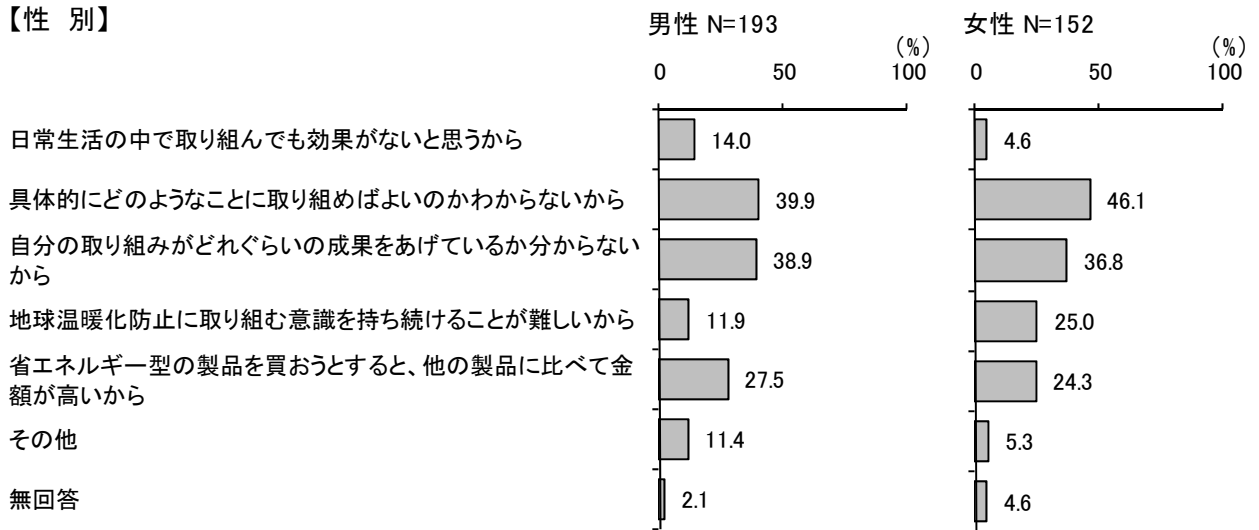
(あてはまるものすべてに○を付けてください)



地球温暖化防止に取り組んでいない人の取り組まない理由は、「具体的にどのようなことに取り組めばよいかわからないから」が 42.5%、「自分の取り組みがどれぐらいの成果を挙げているかわからないから」が 38.2%と多かった。以下、「省エネルギー型の製品を買おうとすると、他の製品に比べて金額が高いから」が 26.0%、「地球温暖化防止に取り組む意識を持ち続けることが難しいから」が 17.6%、「日常生活の中で取り組んでも効果がないと思うから」が 9.8%と続いている。

性別でみると、「具体的にどのようなことに取り組めばよいかわからないから」、「地球温暖化防止に取り組む意識を持ち続けることが難しいから」では、男性 (39.9%、11.9%) よりも女性 (46.1%、25.0%) の方が多く、とくに「地球温暖化防止に取り組む意識を持ち続けることが難しいから」は 13.1 ポイントの差がみられた。一方、「日常生活の中で取り組んでも効果がないと思うから」、「自分の取り組みがどれぐらいの成果をあげているかわからないから」および「省エネルギー型の製品を買おうとすると、他の製品に比べて金額が高いから」では女性 (4.6%、36.8%、24.3%) よりも男性 (14.0%、38.9%、27.5%) の方が多く、とくに「日常生活の中で取り組んでも効果がないと思うから」では 9.4 ポイントの差がみられた。このように、地球温暖化防止に取り組まない理由は、男女間で違いがみられた。

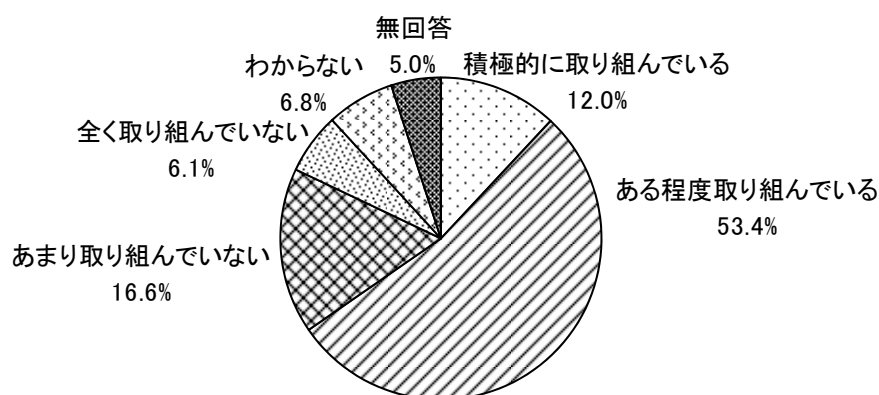
【性別】



(3) エコドライブへの取り組み

問 21 あなたは日常生活において、地球と財布にやさしいエコドライブの取り組みを行っていますか。
(1つだけ○を付けてください)

N=1,520

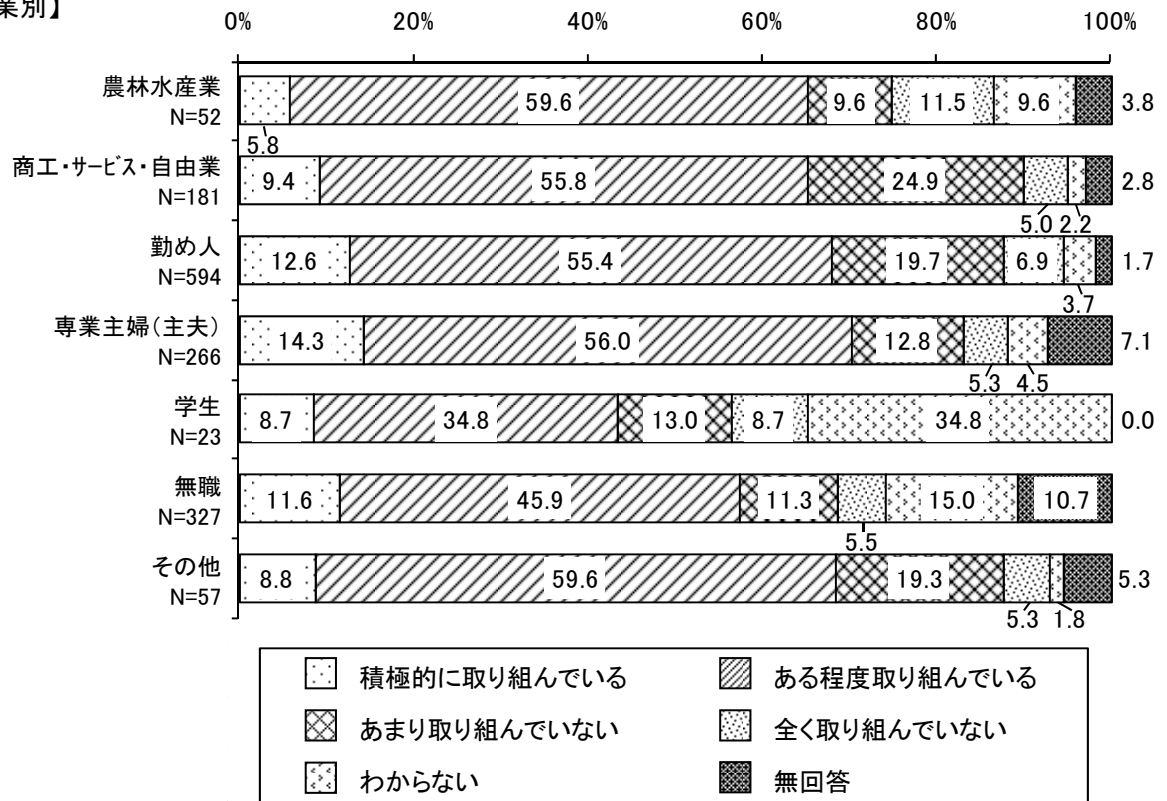


「積極的に取り組んでいる」が12.0%、「ある程度取り組んでいる」が53.4%、「あまり取り組んでいない」が16.6%、「全く取り組んでいない」が6.1%となっている。「積極的に取り組んでいる」と「ある程度取り組んでいる」を合わせた『取り組んでいる』は65.4%と6割を超えている。

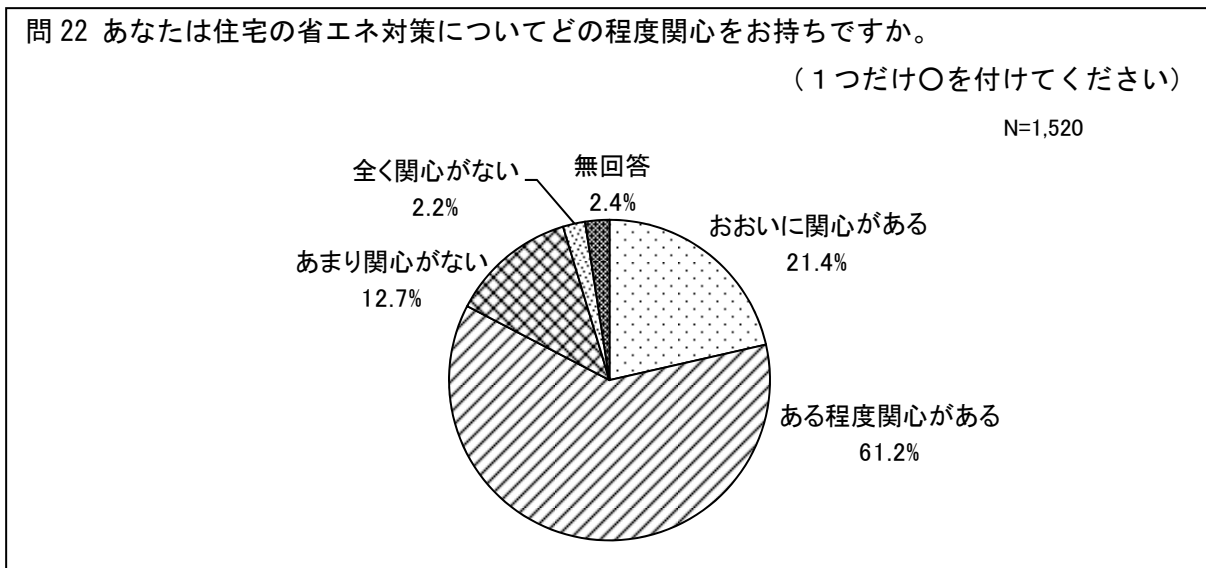
職業別でみると、「積極的に取り組んでいる」は専業主婦（主夫）の14.3%、勤め人の12.6%が多かった。これらは、『取り組んでいる』でもそれぞれ70.3%、68.0%が多かった。一方、「あまり取り組んでいない」と「全く取り組んでいない」を合わせた『取り組んでいない』は、商工・サービス・自由業の29.9%、勤め人の26.6%が多かった。勤め人は、『取り組んでいる』『取り組んでいない』のいずれも多くなっており、エコドライブへの取り組みが二極化していると考えられる。

前述の地球温暖化防止に取り組んでいる市民は7割を超えており、そこを物差しとするとエコドライブの取り組みは、まだ伸びる余地があるといえる。今後、取り組みを普及させていくには、『取り組んでいない』との回答が多かった商工・サービス・自由業や勤め人への啓発が効果的であると思われる。

【職業別】



(4) 住宅の省エネ対策への関心度

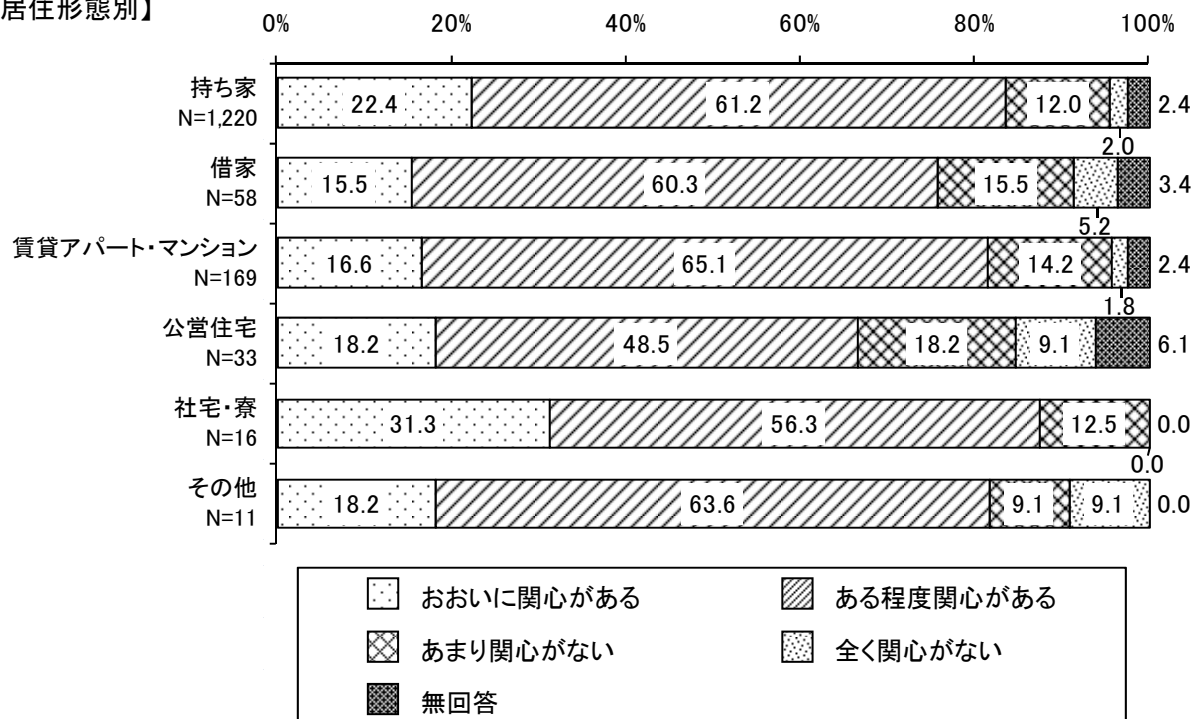


「おおいに関心がある」が21.4%、「ある程度関心がある」が61.2%、「あまり関心がない」が12.7%、「全く関心がない」が2.2%となっている。「おおいに関心がある」と「ある程度関心がある」を合わせた『関心がある』は82.6%と8割を超え、市民の関心の高さがうかがえる。

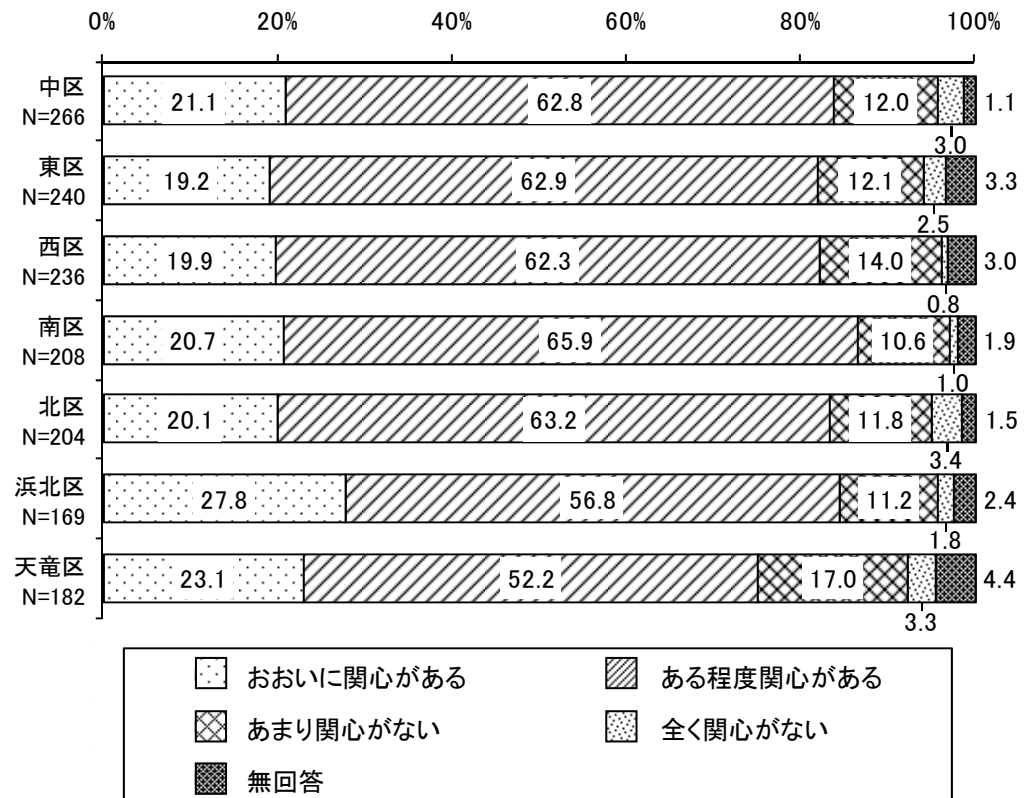
居住形態別でみると、『関心がある』は、社宅・寮が87.6%、持ち家が83.6%と、これら居住形態の人の関心が高くなっている。一方で、公営住宅は66.7%、借家は75.8%で、これらでの関心は低くなっている。

行政区別でみると、「おおいに関心がある」で浜北区が27.8%と、ほかの行政区よりも多くなっている。一方で、天竜区では「おおいに関心がある」が浜北区に次ぎ多いが、「あまり関心がない」と「全く関心がない」を合わせた『関心がない』が20.3%と、ほかの行政区よりも多くなっており、関心状況が大きく分かれているといえる。

【居住形態別】



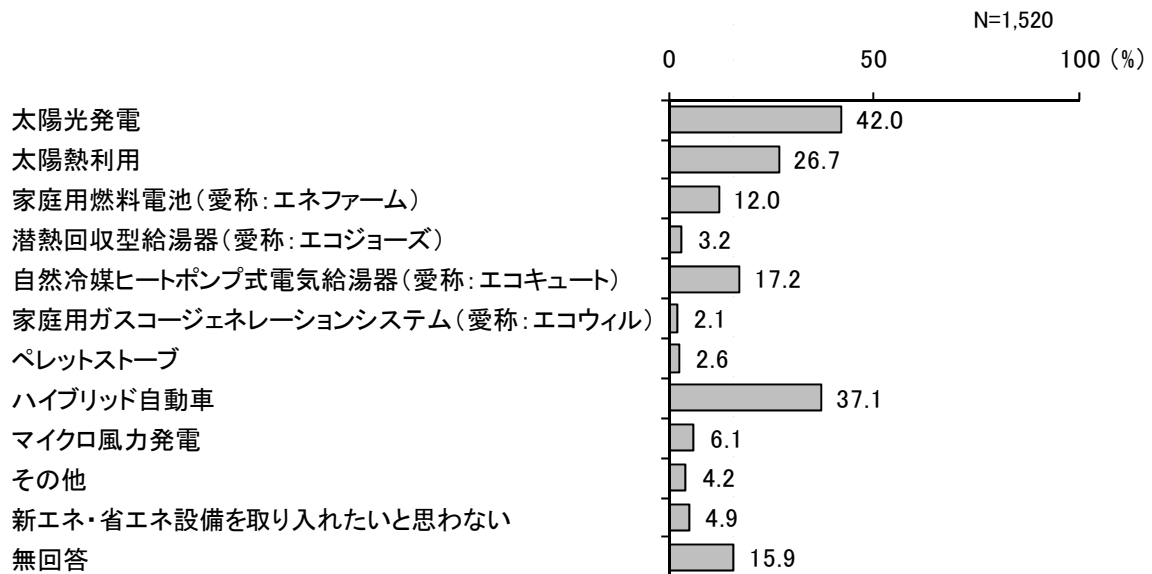
【行政区別】



(5) 今後取り入れてみたい新エネルギー・省エネルギー設備

問 23 あなたの家庭で、今後取り入れてみたい新エネルギー・省エネルギー設備はありますか。

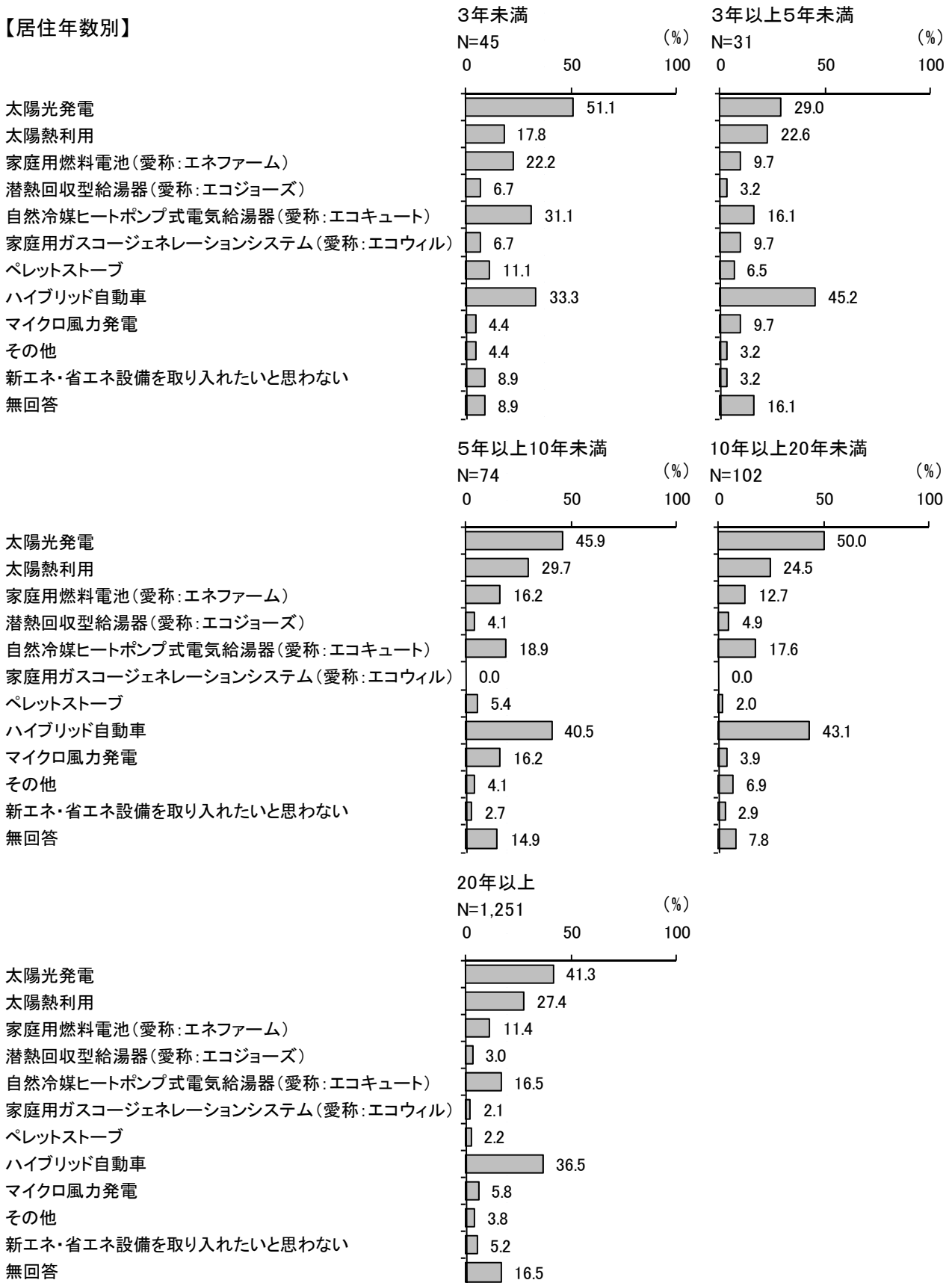
(あてはまるものすべてに○を付けてください)



「太陽光発電」が42.0%と最も多く、以下、「ハイブリッド自動車」の37.1%、「太陽熱利用」の26.7%、「自然冷媒ヒートポンプ式電気給湯器 (愛称: エコキュート)」の17.2%、「家庭用燃料電池 (愛称: エネファーム)」の12.0%と、ここまでが1割を超えている。

居住年数別でみると、「太陽光発電」は3年未満と10年以上20年未満で、それぞれ51.1%、50.0%と多く、「ハイブリッド自動車」は3年以上5年未満と10年以上20年未満で、それぞれ45.2%、43.1%と多く、「太陽熱利用」は5年以上10年未満と20年以上で、それぞれ29.7%、27.4%と多かった。

【居住年数別】



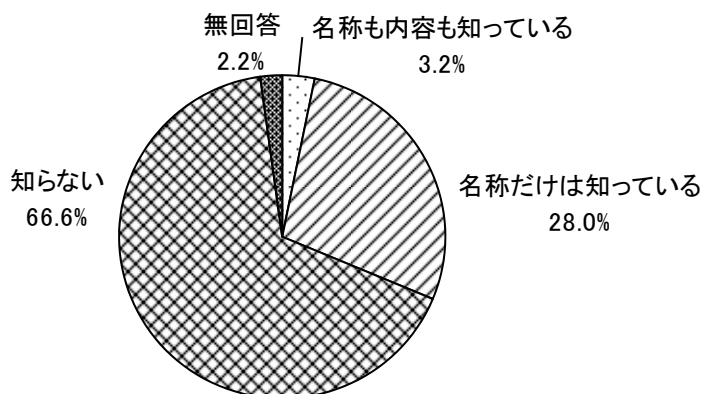
9 子育て支援について

(1) 「浜松市次世代育成支援行動計画」の認知度

問 24 あなたは、「浜松市次世代育成支援行動計画」をご存知でしたか。

(1つだけ○を付けてください)

N=1,520



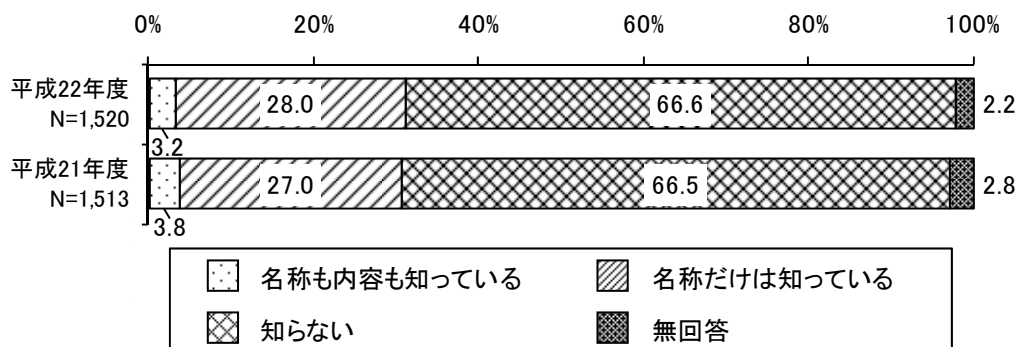
「名称も内容も知っている」が3.2%、「名称だけは知っている」が28.0%、「知らない」が66.6%となっている。「名称も内容も知っている」と「名称だけは知っている」を合わせた『知っている』は31.2%となっている。

前年度調査と比較すると、『知っている』(平成21年度:30.8%、平成22年度:31.2%)は0.4ポイント増で、大きな変化はみられない。

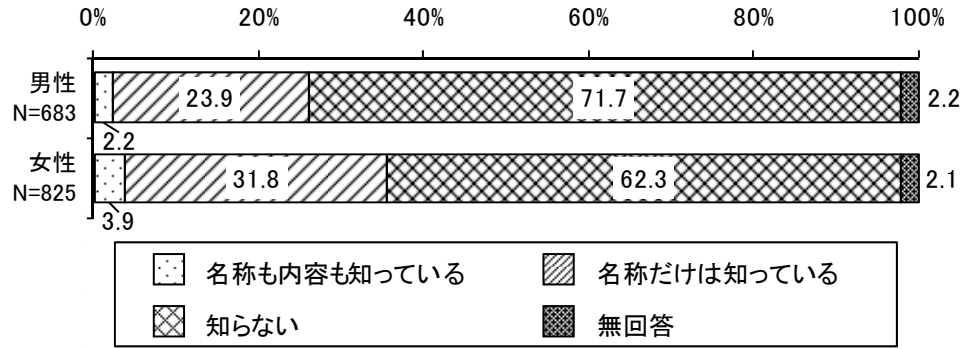
性別でみると、『知っている』は男性が26.1%、女性が35.7%と、男性よりも女性の方が9.6ポイント多い。「名称も内容も知っている」をみると、男女とも5%以下と低くなっている。

年代別でみると、『知っている』は20歳代が14.6%であるのに対し70歳以上は41.3%であるなど、年代が上がるほど認知度も上がっていく傾向にある。「名称も内容も知っている」をみると、いずれの年代も5%以下と低くなっている。

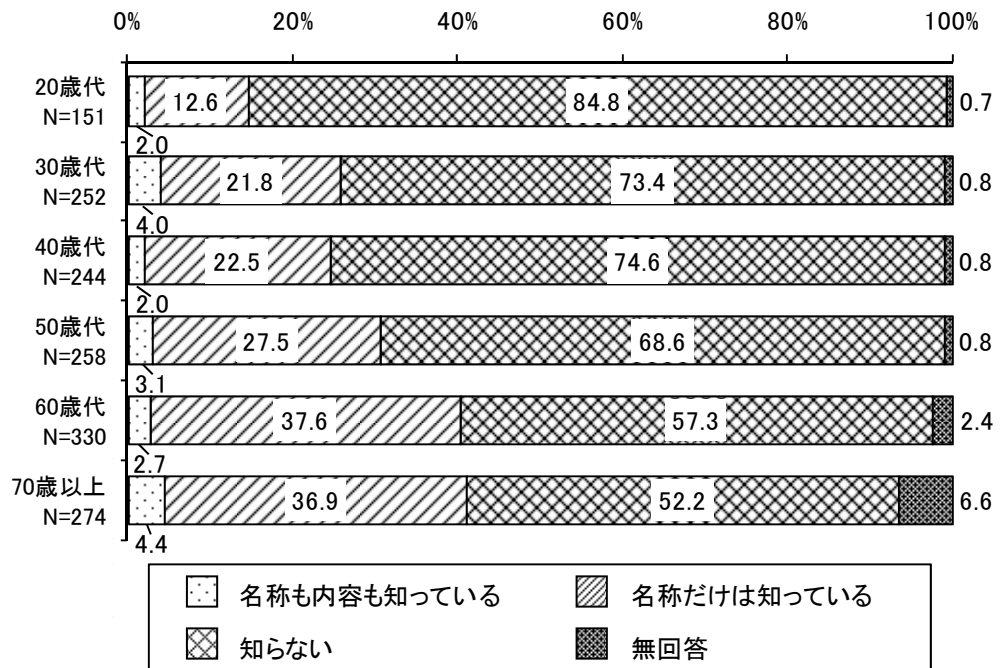
【経年比較】



【性別】



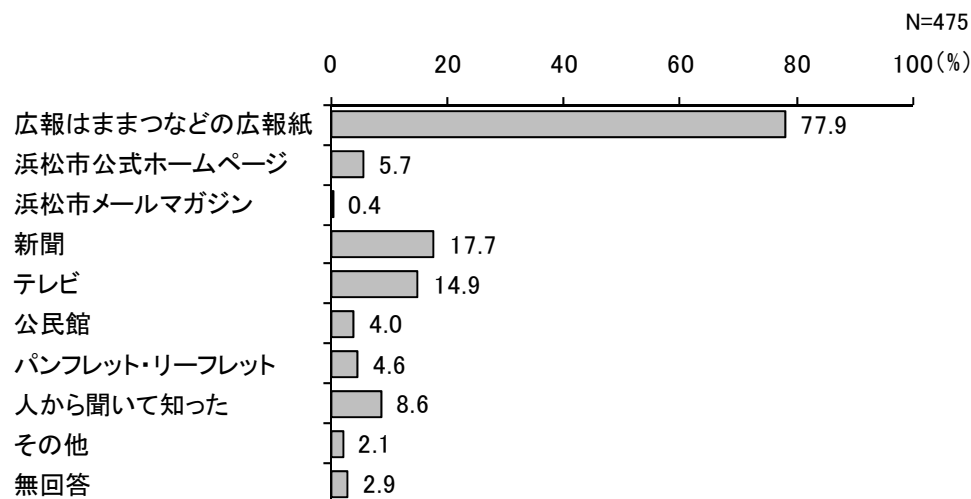
【年代別】



(2)「浜松市次世代育成支援行動計画」の情報源

問 25 問 24 で「1. 名称も内容も知っている」「2. 名称だけは知っている」とお答えの方に伺います。

あなたは、何で知りましたか。 (あてはまるものすべてに○を付けてください)

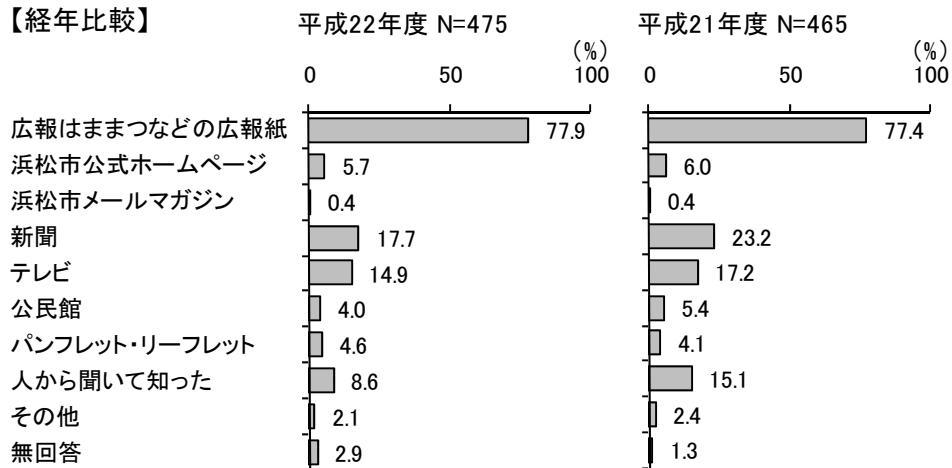


「広報はままつなどの広報紙」が 77.9%と最も多く、ほかの情報源との大きな差がみられる。次いで多いのは「新聞」の 17.7%、「テレビ」の 14.9%と、これらが 1 割以上となっている。

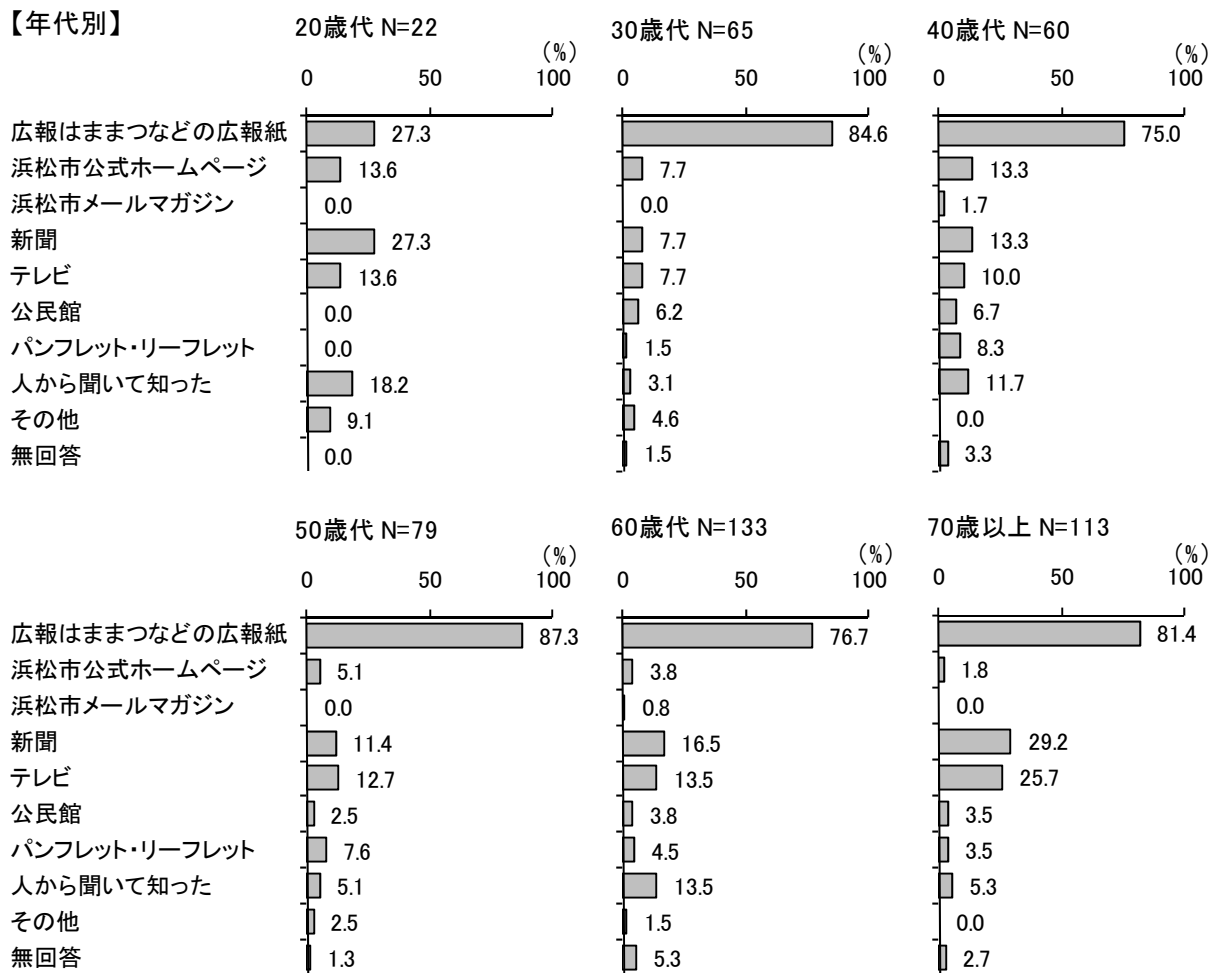
前年度調査と比較すると、「広報はままつなどの広報紙」(平成 21 年度：77.4%、平成 22 年度：77.9%)は 0.5 ポイント増で、大きな変化はみられない。一方で、「新聞」(平成 21 年度：23.2%、平成 22 年度：17.7%)は 5.5 ポイント、「人から聞いて知った」(平成 21 年度：15.1%、平成 22 年度：8.6%)は 6.5 ポイント、それぞれ減少している。

年代別でみると、「広報はままつなどの広報紙」は 30 歳代以上ではいずれの年代でも 7 割以上を超えている(30 歳代：84.6%、40 歳代：75.0%、50 歳代：87.3%、60 歳代：76.7%、70 歳以上：81.4%)。また、「新聞」、「テレビ」は、70 歳以上でそれぞれ 29.2%、25.7%と他の年代と比較して多かった。「パンフレット・リーフレット」は、40 歳代で 8.3%、50 歳代で 7.6%と、これらの年代が多かった。このように、広報紙以外は各年代で目にする手段が異なっており、周知したい年代に合わせた情報の発信が必要になるといえる。

【経年比較】



【年代別】

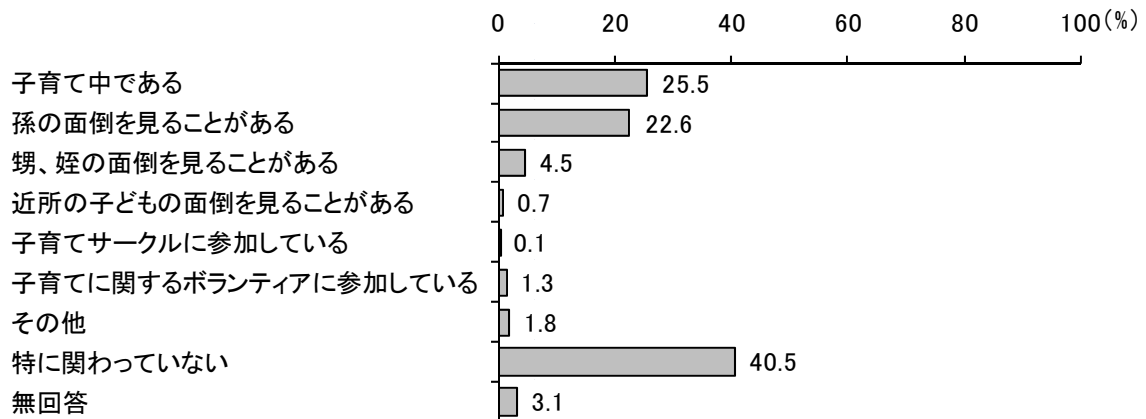


(3) 子育てへの関わり方

問 26 あなたは、「子育て」に対して、現在、どのような関わり方をしていますか。

(1つだけ○を付けてください)

N=1,520

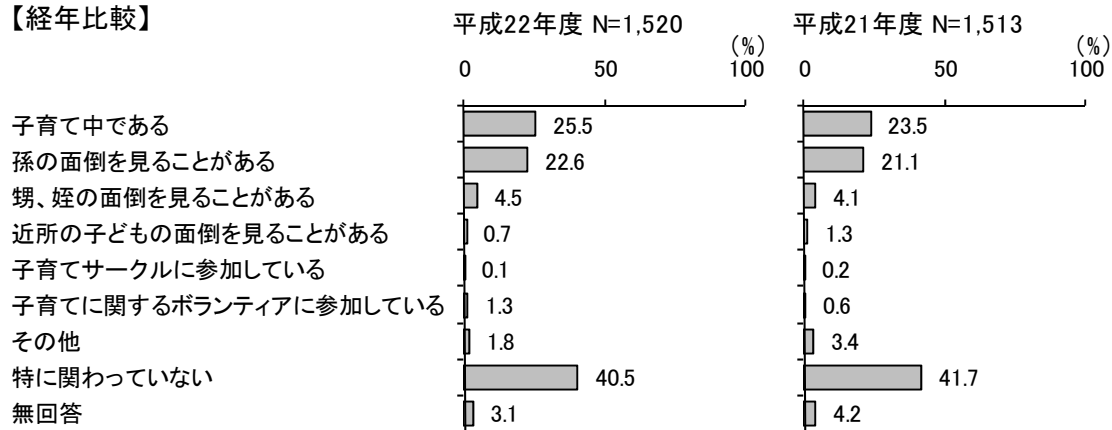


「特に関わっていない」が40.5%と最も多く、以下、「子育て中である」が25.5%、「孫の面倒を見ることがある」が22.6%と続いている。

前年度調査と比較すると特に大きな変化はみられない。

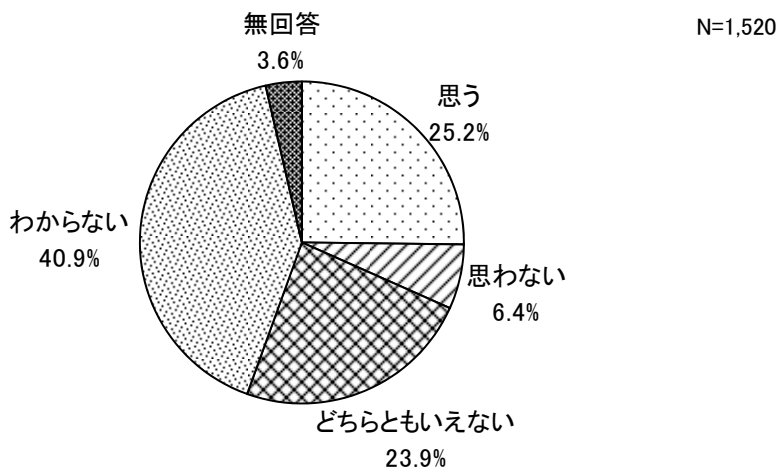
社会全体で子どもや子育てを支えていくことを目指す上で、「特に関わっていない」の割合を減らしていく取り組みが必要になるといえる。

【経年比較】



(4) 市の行う子育て支援

問 27 市では、子育て広場やファミリーサポートセンターなど子育てに関するさまざまな支援を行なっています。あなたは、このような支援によって、子育てがしやすくなっていると思いますか。
(1つだけ○を付けてください)



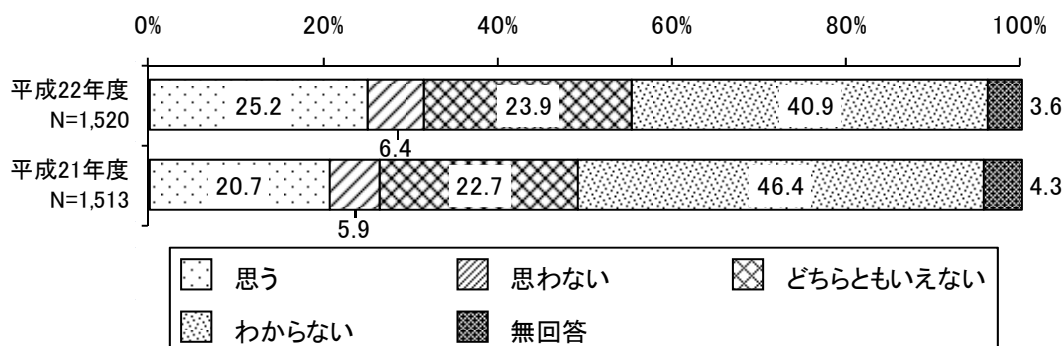
「思う」が 25.2%、「思わない」が 6.4%、「どちらともいえない」が 23.9%、「わからない」が 40.9%となっている。

前年度調査と比較すると、「思う」(平成 21 年度：20.7%、平成 22 年度：25.2%) は 4.5 ポイント増加している。一方、「思わない」(平成 21 年度：5.9%、平成 22 年度：6.4%) は 0.5 ポイント増で、大きな変化はみられない。

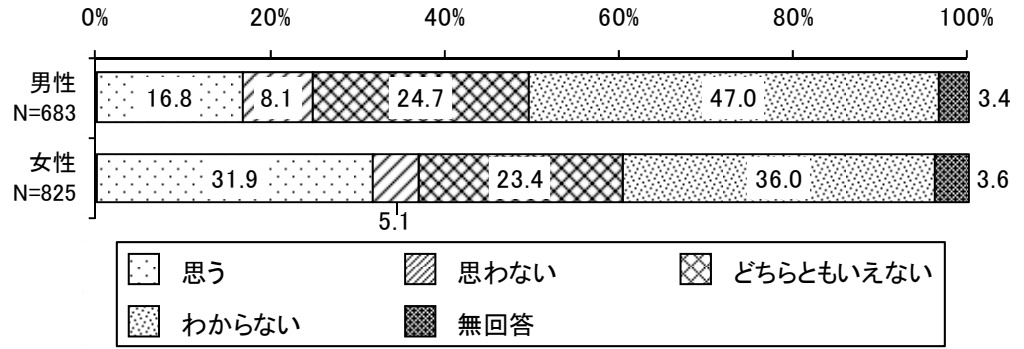
性別でみると、「思う」は男性が 16.8%、女性が 31.9%と女性が男性を大きく上回っている。一方、「思わない」は男性が 8.1%、女性が 5.1%と男性が女性を上回っている。

職業別でみると、「思う」は専業主婦(主夫)が 40.2%と 4 割を占める一方で、商工・サービス・自由業が 22.7%、勤め人が 21.5%と、専業主婦(主夫)と差がみられた。今後は、商工・サービス・自由業や勤め人の人が、専業主婦(主夫)と同程度に子育てがしやすいと思えるような取り組みが必要になるといえる。

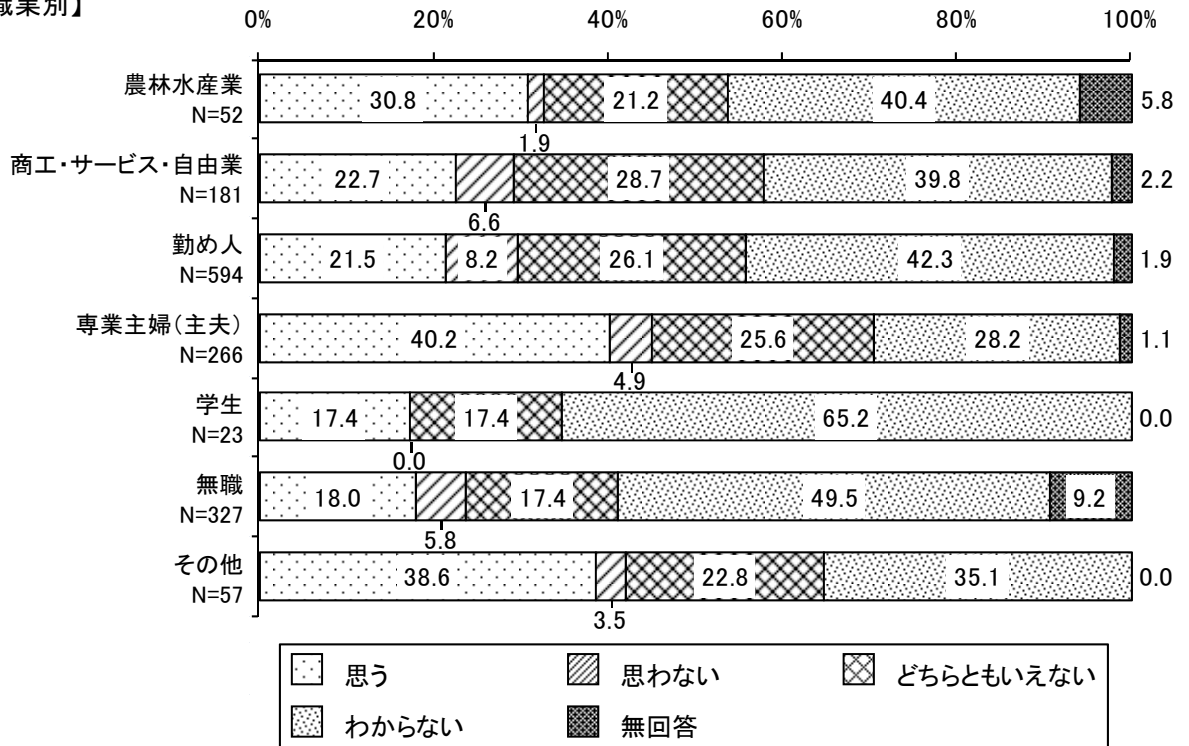
【経年比較】



【性別】



【職業別】



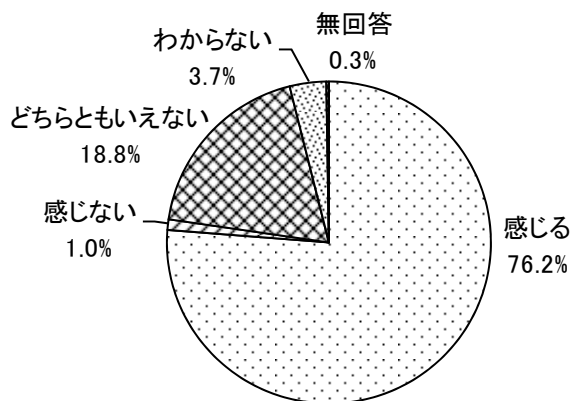
(5) 子育ては楽しいと感じるか

問 28 問 27 で「1. 思う」とお答えの方に伺います。

あなたは、子育ては楽しいことだと感じますか。

(1つだけ○を付けてください)

N=383



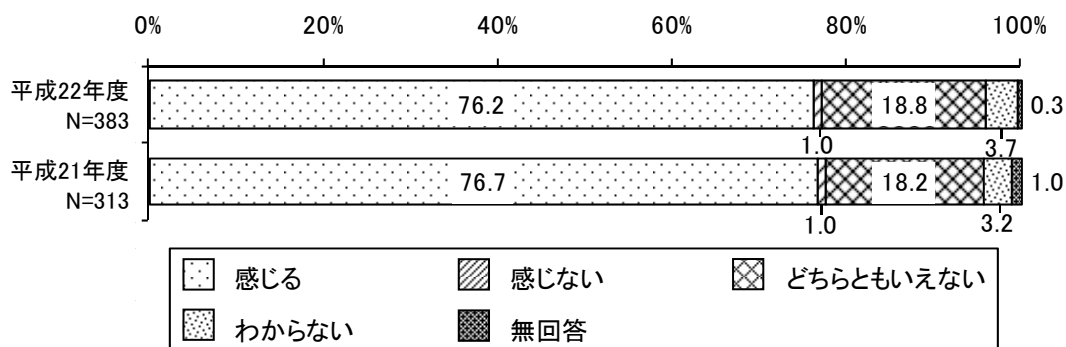
「感じる」が76.2%、「感じない」が1.0%、「どちらともいえない」が18.8%、「わからない」が3.7%となっている。

前年度調査と比較すると、「感じる」(平成21年度:76.7%、平成22年度:76.2%)は0.5ポイント減で、大きな変化はみられない。

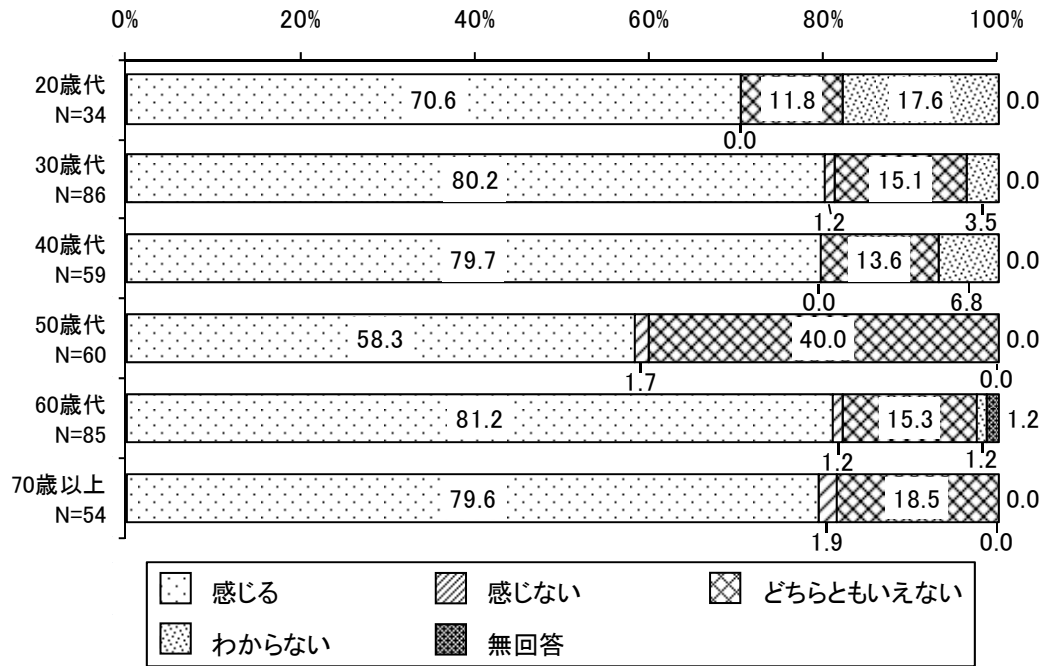
年代別でみると、「感じる」は60歳代(81.2%)、30歳代(80.2%)、40歳代(79.7%)および70歳以上(79.6%)と8割前後であるが、20歳代では70.6%、50歳代では58.3%と、他の年代と差がみられた。

職業別でみると、「感じる」は専業主婦(主夫)で79.4%であるのに対し、勤め人では69.5%と差がみられた。

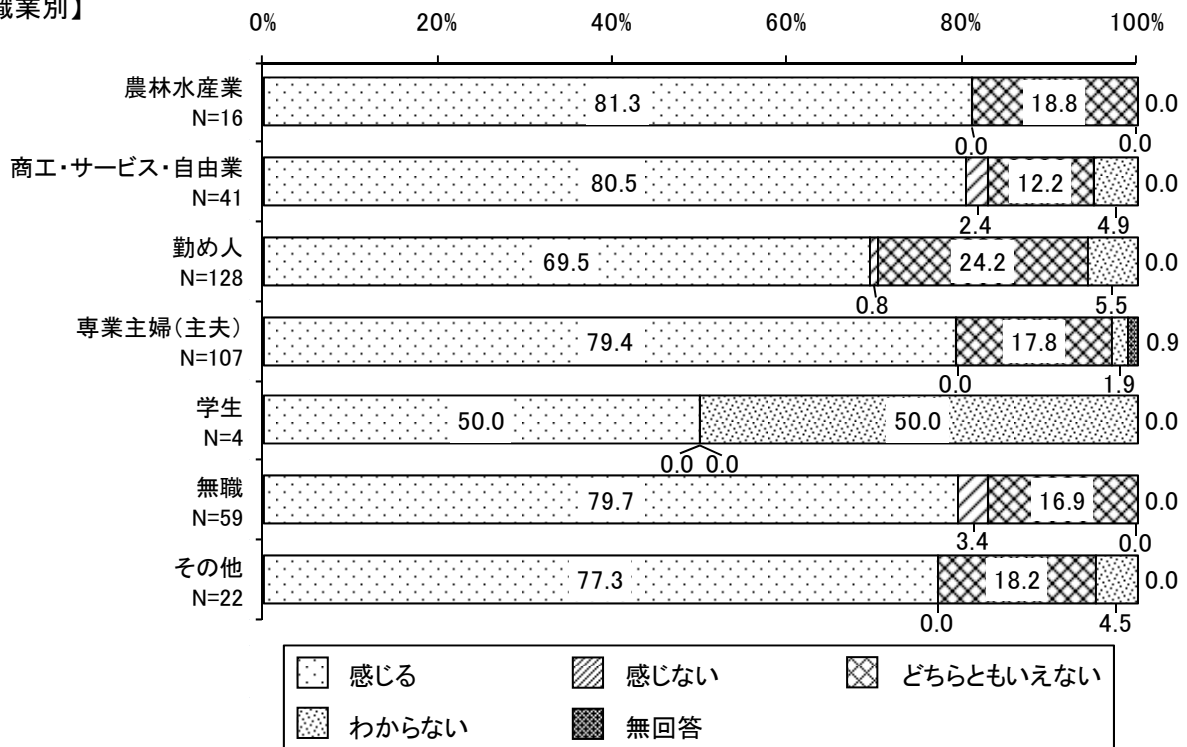
【経年比較】



【年代別】



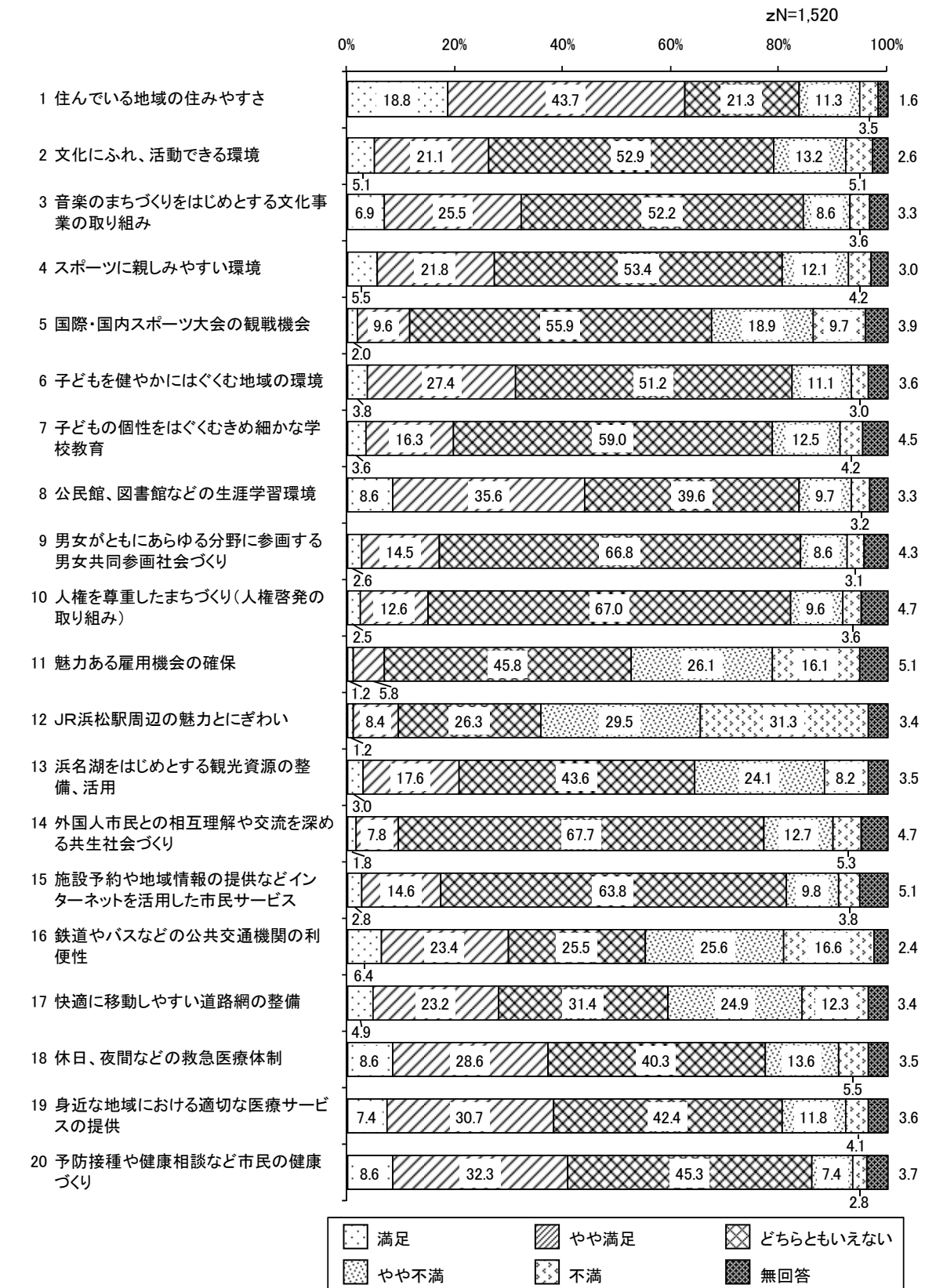
【職業別】

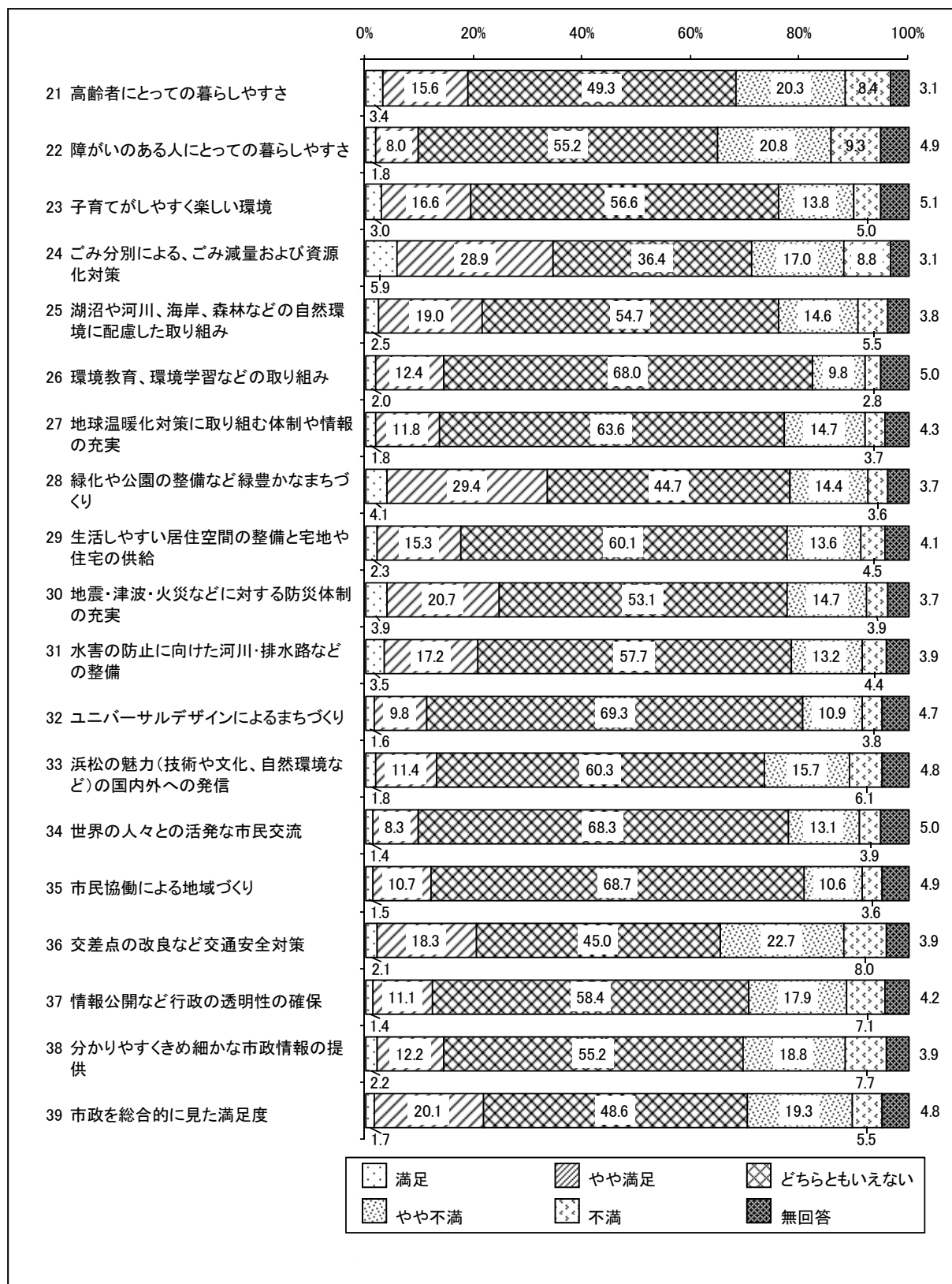


10 市政の満足度評価について

(1) 市政の満足度

問 29 あなたは、浜松市がこれまで進めてきた取り組みについて日ごろどのように感じていま
すか。以下の各項目についてその評価を1～5のうちからそれぞれ1つだけ選び○を付
けてください。





「満足」と「やや満足」を合わせた『満足している』が3割以上だったものは、以下の9項目である。

- 1 住んでいる地域の住みやすさ 62.5%
- 8 公民館、図書館などの生涯学習環境 44.2%
- 20 予防接種や健康相談など市民の健康づくり 40.9%

19 身近な地域における適切な医療サービスの提供	38.1%
18 休日、夜間などの救急医療体制	37.2%
24 ごみ分別による、ごみ減量および資源化対策	34.8%
28 緑化や公園の整備など緑豊かなまちづくり	33.5%
3 音楽のまちづくりをはじめとする文化事業の取り組み	32.4%
6 子どもを健やかにはぐくむ地域の環境	31.2%

一方、「やや不満」と「不満」を合わせた『不満である』が3割以上だったのは、以下の7項目である。

12 J R浜松駅周辺の魅力とにぎわい	60.8%
11 魅力ある雇用機会の確保	42.2%
16 鉄道やバスなどの公共交通機関の利便性	42.2%
17 快適に移動しやすい道路網の整備	37.2%
13 浜名湖をはじめとする観光資源の整備、活用	32.3%
36 交差点の改良など交通安全対策	30.7%
22 障がいのある人にとっての暮らしやすさ	30.1%

また、次表は「満足」を10点、「やや満足」を7.5点、「どちらともいえない」を5点、「やや不満」を2.5点、「不満」を0点と点数を付けて集計したものである。この数値は10点に近いほど満足度が高くなる指数である。

性別で見ると、「1 住んでいる地域の住みやすさ」が男女ともに最も満足度が高い。一方、「12 J R浜松駅周辺の魅力とにぎわい」および「11 魅力ある雇用機会の確保」では、男女ともに満足度が4点以下と、他の項目と比較して低くなっている。

年代別でみると、「12 J R浜松駅周辺の魅力とにぎわい」がいずれの年代でも最も満足度が低く、特に年代が低いほど満足度も低い傾向となっている。

行政区別でみると、「1 住んでいる地域の住みやすさ」は中区と浜北区で7点以上となっているのに対し、東区、西区、南区、北区では6点台、天竜区では5点台と、中心市街地周辺と郊外で差がみられた。いずれの区でも満足度が低かった項目は「12 J R浜松駅周辺の魅力とにぎわい」および「11 魅力ある雇用機会の確保」となっている。また、天竜区では満足度が4点以下の項目が他の区と比較して多く、特に「16 鉄道やバスなどの公共交通機関の利便性」(3.6点)および「17 快適に移動しやすい道路網の整備」(3.5点)での満足度が低くなっている。

【性別】【年代別】

◎=6点以上 △=4点以下

	全体	男性	女性	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
1 住んでいる地域の住みやすさ	◎ 6.6	◎ 6.5	◎ 6.6	◎ 6.3	◎ 7.0	◎ 6.4	◎ 6.0	◎ 6.8	◎ 6.9
2 文化にふれ、活動できる環境	5.2	5.1	5.2	5.3	5.3	5.2	4.7	5.3	5.4
3 音楽のまちづくりをはじめとする文化事業の取り組み	5.6	5.5	5.7	5.5	5.7	5.7	5.4	5.6	5.7
4 スポーツに親しみやすい環境	5.3	5.2	5.4	5.2	5.3	5.4	5.2	5.3	5.3
5 国際・国内スポーツ大会の観戦機会	4.4	4.1	4.5	4.5	4.4	4.4	4.1	4.3	4.5
6 子どもを健やかにはぐむ地域の環境	5.5	5.3	5.6	5.2	5.7	5.5	5.1	5.5	5.7
7 子どもの個性をはぐむきめ細かな学校教育	5.1	5.0	5.1	5.0	5.2	4.9	4.7	5.2	5.4
8 公民館、図書館などの生涯学習環境	5.9	5.8	◎ 6.1	5.7	5.9	5.9	5.8	◎ 6.1	◎ 6.1
9 男女がともにあらゆる分野に参画する男女共同参画社会づくり	5.1	5.1	5.2	5.0	5.0	5.1	5.0	5.2	5.5
10 人権を尊重したまちづくり(人権啓発の取り組み)	5.0	4.9	5.1	5.1	4.9	4.8	4.8	5.2	5.3
11 魅力ある雇用機会の確保	△ 3.7	△ 3.5	△ 3.8	△ 4.0	△ 3.8	△ 3.5	△ 3.1	△ 3.6	4.1
12 JR浜松駅周辺の魅力にぎわい	△ 2.9	△ 2.8	△ 3.0	△ 2.4	△ 2.3	△ 2.5	△ 2.7	△ 3.3	△ 3.7
13 浜名湖をはじめとする観光資源の整備、活用	4.6	4.2	4.9	4.3	4.4	4.4	4.4	4.8	4.9
14 外国人市民との相互理解や交流を深める共生社会づくり	4.7	4.5	4.8	4.8	4.7	4.6	4.6	4.6	4.8
15 施設予約や地域情報の提供などインターネットを活用した市民サービス	5.1	4.9	5.2	5.1	5.2	5.0	5.1	5.1	5.0
16 鉄道やバスなどの公共交通機関の利便性	4.4	4.3	4.5	△ 4.0	△ 4.0	△ 3.8	4.4	4.9	5.1
17 快適に移動しやすい道路網の整備	4.6	4.4	4.7	4.7	4.4	4.2	4.2	4.9	5.0
18 休日、夜間などの救急医療体制	5.5	5.5	5.6	5.2	5.6	5.2	5.5	5.7	5.8
19 身近な地域における適切な医療サービスの提供	5.7	5.7	5.7	5.3	5.9	5.3	5.4	5.8	◎ 6.0
20 予防接種や健康相談など市民の健康づくり	◎ 6.0	5.8	◎ 6.1	5.6	5.9	5.7	5.7	◎ 6.2	◎ 6.4
21 高齢者にとっての暮らしやすさ	4.6	4.6	4.6	4.5	4.8	4.4	4.2	4.6	5.1
22 障がいのある人にとっての暮らしやすさ	4.3	4.2	4.3	4.2	4.5	△ 4.0	△ 4.0	4.3	4.6
23 子育てがしやすく楽しい環境	5.0	4.9	5.1	4.8	5.2	4.8	4.9	5.0	5.1
24 ごみ分別による、ごみ減量および資源化対策	5.2	5.0	5.3	4.7	4.9	4.8	5.0	5.5	5.8
25 湖沼や河川、海岸、森林などの自然環境に配慮した取り組み	5.0	4.8	5.1	5.1	5.0	4.7	4.9	5.1	5.0
26 環境教育、環境学習などの取り組み	5.0	4.8	5.2	5.1	5.0	4.9	4.9	5.1	5.2
27 地球温暖化対策に取り組む体制や情報の充実	4.8	4.6	5.0	4.8	4.6	4.8	4.9	4.8	5.0
28 緑化や公園の整備など緑豊かなまちづくり	5.4	5.2	5.6	5.5	5.5	5.3	5.4	5.4	5.5
29 生活しやすい居住空間の整備と宅地や住宅の供給	4.9	4.8	5.0	5.1	5.1	4.8	4.6	4.9	5.1
30 地震・津波・火災などに対する防災体制の充実	5.2	5.1	5.2	5.2	5.3	5.2	5.0	5.2	5.1
31 水害の防止に向けた河川・排水路などの整備	5.1	5.1	5.0	5.0	5.1	5.1	5.0	5.1	5.1
32 ユニバーサルデザインによるまちづくり	4.9	4.7	5.0	4.7	4.8	4.9	4.8	4.9	5.0
33 浜松の魅力(技術や文化、自然環境など)の国内外への発信	4.7	4.5	4.8	4.6	4.6	4.7	4.5	4.8	4.8
34 世界の人々との活発な市民交流	4.7	4.6	4.8	4.7	4.6	4.7	4.7	4.7	5.0
35 市民協働による地域づくり	4.9	4.7	5.0	4.7	4.8	4.8	4.8	4.9	5.1
36 交差点の改良など交通安全対策	4.6	4.4	4.7	4.3	4.4	4.4	4.2	4.8	5.2
37 情報公開など行政の透明性の確保	4.5	4.3	4.7	4.6	4.5	4.3	4.2	4.6	4.9
38 分かりやすくきめ細かな市政情報の提供	4.5	4.3	4.7	4.5	4.4	4.3	4.2	4.8	5.0
39 市政を総合的に見た満足度	4.8	4.6	5.0	4.6	4.9	4.7	4.5	5.0	5.2

【行政区】

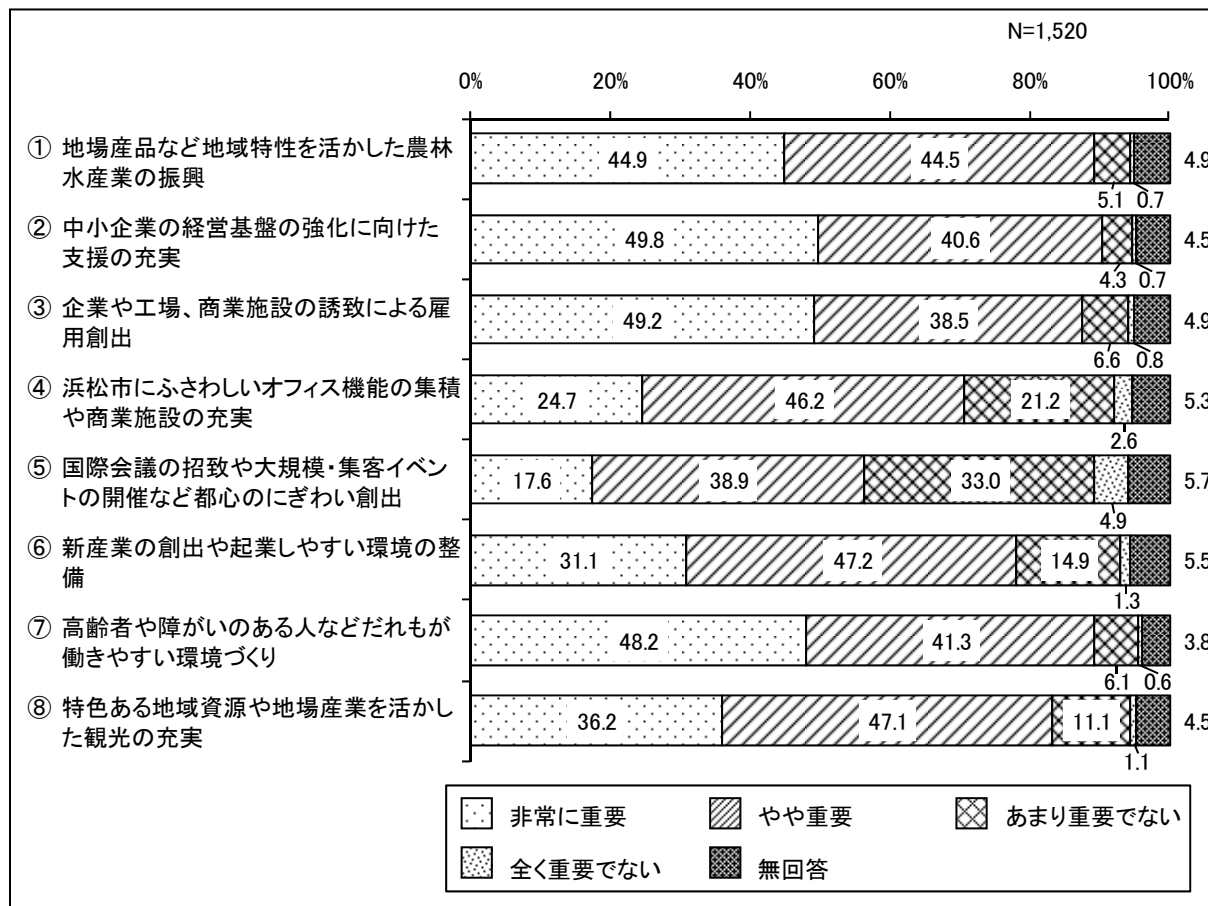
◎=6点以上 △=4点以下

	中区	東区	西区	南区	北区	浜北区	天竜区
1 住んでいる地域の住みやすさ	◎ 7.0	◎ 6.5	◎ 6.8	◎ 6.7	◎ 6.4	◎ 7.1	5.5
2 文化にふれ、活動できる環境	5.3	5.0	5.4	5.3	5.1	5.5	4.8
3 音楽のまちづくりをはじめとする文化事業の取り組み	◎ 6.0	5.5	5.6	5.8	5.4	5.6	5.2
4 スポーツに親しみやすい環境	5.2	5.2	5.4	5.7	5.4	5.5	5.0
5 国際・国内スポーツ大会の観戦機会	4.4	4.4	4.4	4.5	4.4	4.5	△ 3.9
6 子どもを健やかにはぐむ地域の環境	5.2	5.3	5.6	5.5	5.5	5.9	5.5
7 子どもの個性をはぐむきめ細かな学校教育	4.9	4.9	5.2	5.1	5.1	5.3	5.0
8 公民館、図書館などの生涯学習環境	◎ 6.0	5.7	◎ 6.2	◎ 6.1	5.7	◎ 6.3	5.5
9 男女がともにあらゆる分野に参画する男女共同参画社会づくり	5.2	5.0	5.2	5.2	5.2	5.3	4.9
10 人権を尊重したまちづくり(人権啓発の取り組み)	5.0	5.0	5.2	5.0	5.1	5.0	4.9
11 魅力ある雇用機会の確保	△ 3.7	△ 3.7	△ 4.0	△ 3.7	△ 3.8	△ 3.7	△ 3.1
12 JR浜松駅周辺の魅力にぎわい	△ 2.4	△ 2.9	△ 2.6	△ 2.8	△ 3.3	△ 2.9	△ 3.5
13 浜名湖をはじめとする観光資源の整備、活用	4.5	4.4	4.5	4.7	4.6	4.5	4.7
14 外国人市民との相互理解や交流を深める共生社会づくり	4.6	4.5	4.6	4.9	5.0	4.8	4.4
15 施設予約や地域情報の提供などインターネットを活用した市民サービス	5.0	5.1	5.0	5.3	5.2	5.2	4.6
16 鉄道やバスなどの公共交通機関の利便性	4.9	4.3	4.7	4.6	△ 4.0	4.6	△ 3.6
17 快適に移動しやすい道路網の整備	4.6	4.5	5.0	4.9	4.7	4.8	△ 3.5
18 休日、夜間などの救急医療体制	5.7	5.8	5.8	5.8	5.5	5.4	4.6
19 身近な地域における適切な医療サービスの提供	5.8	5.7	5.8	5.8	5.8	5.9	4.7
20 予防接種や健康相談など市民の健康づくり	5.9	5.9	5.9	◎ 6.1	5.9	◎ 6.2	5.8
21 高齢者にとっての暮らしやすさ	4.6	4.5	4.7	4.7	4.9	4.8	△ 4.0
22 障がいのある人にとっての暮らしやすさ	4.3	4.2	4.4	4.2	4.4	4.4	△ 3.8
23 子育てがしやすく楽しい環境	5.0	4.8	5.0	5.0	5.0	5.4	4.6
24 ごみ分別による、ごみ減量および資源化対策	4.9	4.8	5.3	5.1	5.2	5.4	5.6
25 湖沼や河川、海岸、森林などの自然環境に配慮した取り組み	5.0	4.6	5.1	5.2	4.9	5.1	4.8
26 環境教育、環境学習などの取り組み	5.1	4.8	5.1	5.2	5.1	5.1	4.9
27 地球温暖化対策に取り組む体制や情報の充実	4.9	4.6	4.7	5.2	4.9	4.8	4.7
28 緑化や公園の整備など緑豊かなまちづくり	5.4	5.0	5.5	5.8	5.5	5.8	5.1
29 生活しやすい居住空間の整備と宅地や住宅の供給	4.9	4.8	5.0	5.1	5.1	5.1	4.5
30 地震・津波・火災などに対する防災体制の充実	5.2	5.2	5.1	5.1	5.3	5.4	4.7
31 水害の防止に向けた河川・排水路などの整備	5.1	5.1	5.1	5.1	5.2	5.2	4.5
32 ユニバーサルデザインによるまちづくり	4.8	4.7	5.0	5.1	5.0	4.9	4.5
33 浜松の魅力(技術や文化、自然環境など)の国内外への発信	4.7	4.5	4.5	4.8	4.8	4.8	4.6
34 世界の人々との活発な市民交流	4.7	4.5	4.7	4.9	4.9	4.8	4.6
35 市民協働による地域づくり	4.8	4.8	4.9	5.0	4.9	5.1	4.8
36 交差点の改良など交通安全対策	4.4	4.4	4.5	4.9	4.6	4.6	4.6
37 情報公開など行政の透明性の確保	4.3	4.5	4.4	4.8	4.6	4.6	4.4
38 分かりやすくきめ細かな市政情報の提供	4.4	4.5	4.4	4.8	4.7	4.6	4.4
39 市政を総合的に見た満足度	4.8	4.9	4.8	5.2	4.8	4.9	4.4

11 市政への要望について

問 30 あなたは、浜松市が積極的・重点的に取り組んでいくべき具体的な施策として、以下の各項目についてどの程度重要だと思いますか。各項目について重要度を1～4のうちからそれぞれ1つだけ選んで○を付けてください。

(1) 産業・経済分野に対する取り組み



「非常に重要」と「やや重要」を合わせた『重要』の回答が8割以上だったのは、以下の5項目となっている。

② 中小企業の経営基盤の強化に向けた支援の充実	90.4%
⑦ 高齢者や障がいのある人などだれもが働きやすい環境づくり	89.5%
① 地場産品など地域特性を活かした農林水産業の振興	89.4%
③ 企業や工場、商業施設の誘致による雇用創出	87.7%
⑧ 特色ある地域資源や地場産業を活かした観光の充実	83.3%

また、下表は「非常に重要」を10点、「やや重要」を6.6点、「あまり重要でない」を3.3点、「全く重要でない」を0点と点数を付けて集計したものである。この数値は10点に近いほど重要度が高くなる指数である。

【性別】【年代別】

◎=8点以上

	全体	男性	女性	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
① 地場産品など地域特性を活かした農林水産業の振興	◎ 8.0	7.8	◎ 8.1	7.5	7.7	7.7	◎ 8.1	◎ 8.3	◎ 8.3
② 中小企業の経営基盤の強化に向けた支援の充実	◎ 8.2	◎ 8.2	◎ 8.2	◎ 8.0	◎ 8.2	◎ 8.2	◎ 8.3	◎ 8.0	◎ 8.5
③ 企業や工場、商業施設の誘致による雇用創出	◎ 8.1	◎ 8.2	◎ 8.0	7.8	◎ 8.2	7.9	◎ 8.3	◎ 8.0	◎ 8.4
④ 浜松市にふさわしいオフィス機能の集積や商業施設の充実	6.6	6.5	6.7	7.0	6.2	6.2	6.4	6.6	7.2
⑤ 国際会議の招致や大規模・集客イベントの開催など都心のにぎわい創出	5.7	5.5	5.9	5.7	5.7	4.9	5.7	5.7	6.7
⑥ 新産業の創出や起業しやすい環境の整備	7.1	7.3	6.9	6.9	6.7	6.6	7.1	7.3	7.9
⑦ 高齢者や障がいのある人などだれもが働きやすい環境づくり	◎ 8.1	7.7	◎ 8.4	◎ 8.0	7.9	7.9	◎ 8.3	◎ 8.0	◎ 8.1
⑧ 特色ある地域資源や地場産業を活かした観光の充実	7.4	7.3	7.6	7.0	7.4	7.0	7.5	7.7	7.8

【行政区】

◎=8点以上

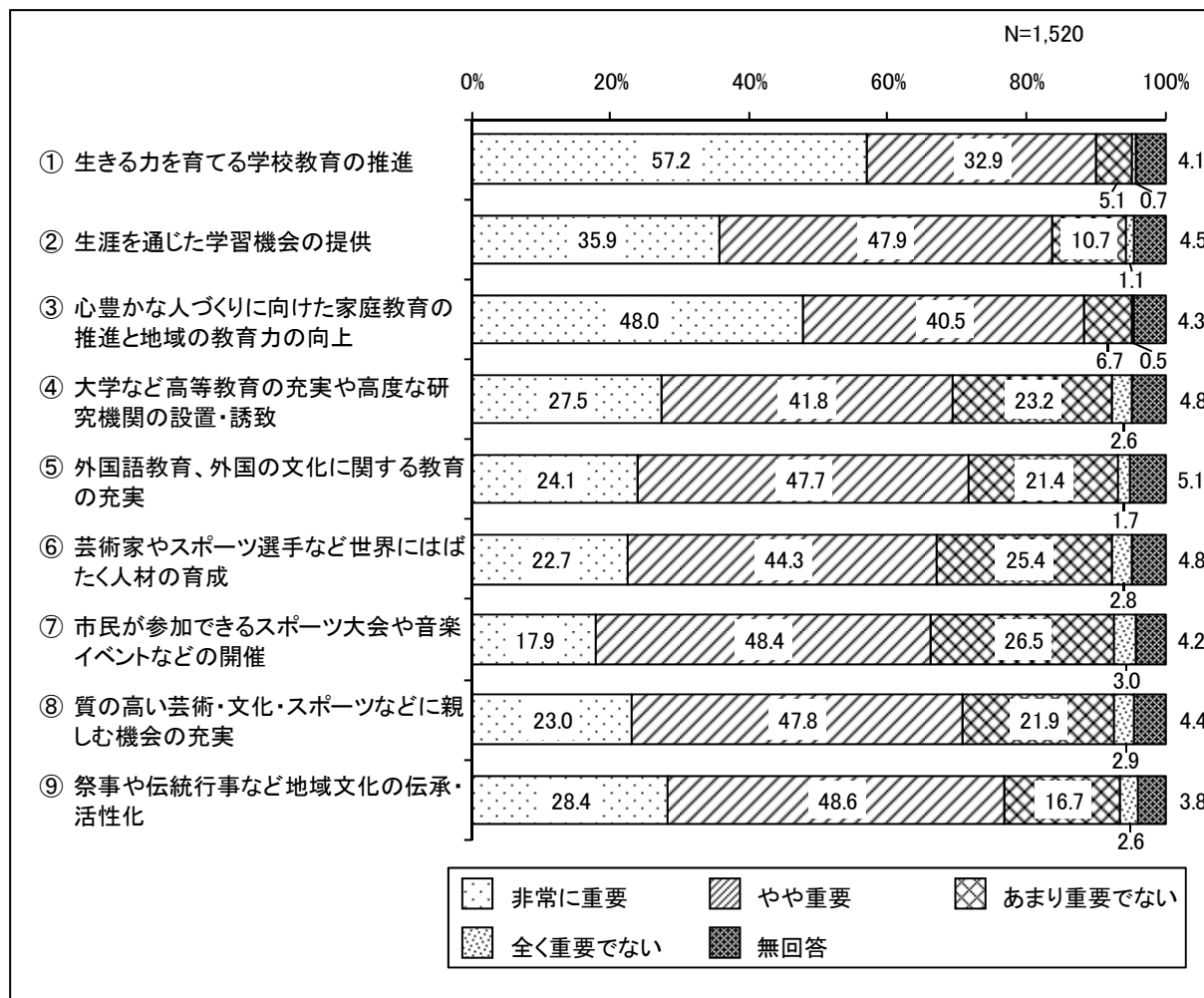
	中区	東区	西区	南区	北区	浜北区	天竜区
① 地場産品など地域特性を活かした農林水産業の振興	7.9	7.7	7.9	7.9	◎ 8.1	7.9	◎ 8.7
② 中小企業の経営基盤の強化に向けた支援の充実	◎ 8.3	◎ 8.2	◎ 8.0	◎ 8.3	7.9	◎ 8.0	◎ 8.5
③ 企業や工場、商業施設の誘致による雇用創出	◎ 8.1	◎ 8.1	◎ 8.2	◎ 8.1	7.8	7.9	◎ 8.4
④ 浜松市にふさわしいオフィス機能の集積や商業施設の充実	6.8	6.6	6.4	6.7	6.5	6.6	6.4
⑤ 国際会議の招致や大規模・集客イベントの開催など都心のにぎわい創出	5.9	5.8	5.7	5.9	5.7	5.6	5.3
⑥ 新産業の創出や起業しやすい環境の整備	7.2	7.0	7.1	7.1	7.0	7.1	7.3
⑦ 高齢者や障がいのある人などだれもが働きやすい環境づくり	◎ 8.2	◎ 8.1	7.9	7.9	7.9	◎ 8.2	◎ 8.2
⑧ 特色ある地域資源や地場産業を活かした観光の充実	7.4	7.2	7.4	7.4	7.3	7.7	7.8

性別でみると、男女とも8点以上の高い重要度であったのは「②中小企業の経営基盤の強化に向けた支援の充実」および「③企業や工場、商業施設の誘致による雇用創出」となっている。「①地場産品など地域特性を活かした農林水産業の振興」および「⑦高齢者や障がいのある人などだれもが働きやすい環境づくり」では女性が8点以上となっているのに対し、男性では7点台と男女の意識に違いがみられる。

年代別でみると、いずれの年代でも8点以上の高い重要度であったのは「②中小企業の経営基盤の強化に向けた支援の充実」となっている。「①地場産品など地域特性を活かした農林水産業の振興」は50歳代以上でいずれも8点以上となっているのに対し、40歳代以下では7点台と、この年代を境に意識に差がみられる。また、「⑥新産業の創出や起業しやすい環境の整備」でも50歳代以上で7点以上となっているのに対し、40歳代以下では6点台と同様の傾向となっている。

行政区別でみると、「①地場産品など地域特性を活かした農林水産業の振興」は天竜区で8.7点と最も高く、他の地区と差がみられる。同様に、「②中小企業の経営基盤の強化に向けた支援の充実」および「③企業や工場、商業施設の誘致による雇用創出」でも天竜区の重要度が最も高くなっている。

(2) 教育、文化、スポーツに対する取り組み



「非常に重要」と「やや重要」を合わせた『重要』の回答が8割以上だったのは、以下の3項目となっている。

- | | |
|---------------------------------|-------|
| ① 生きる力を育てる学校教育の推進 | 90.1% |
| ③ 心豊かな人づくりに向けた家庭教育の推進と地域の教育力の向上 | 88.5% |
| ② 生涯を通じた学習機会の提供 | 83.8% |

また、下表は「非常に重要」を10点、「やや重要」を6.6点、「あまり重要でない」を3.3点、「全く重要でない」を0点と点数を付けて集計したものである。この数値は10点に近いほど重要度が高くなる指数である。

【性別】【年代別】

◎=8点以上

	全体	男性	女性	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
① 生きる力を育てる学校教育の推進	◎ 8.4	◎ 8.1	◎ 8.7	7.8	◎ 8.4	◎ 8.4	◎ 8.3	◎ 8.5	◎ 8.8
② 生涯を通じた学習機会の提供	7.4	7.1	7.7	7.3	7.7	7.3	7.4	7.3	7.6
③ 心豊かな人づくりに向けた家庭教育の推進と地域の教育力の向上	◎ 8.0	7.7	◎ 8.3	7.8	◎ 8.2	7.8	7.9	◎ 8.0	◎ 8.5
④ 大学など高等教育の充実や高度な研究機関の設置・誘致	6.6	6.5	6.6	6.5	6.4	6.1	6.4	6.7	7.4
⑤ 外国語教育、外国の文化に関する教育の充実	6.6	6.3	6.8	6.9	6.9	6.2	6.2	6.5	7.0
⑥ 芸術家やスポーツ選手など世界にはばたく人材の育成	6.3	6.1	6.6	6.4	6.5	6.1	6.1	6.1	6.8
⑦ 市民が参加できるスポーツ大会や音楽イベントなどの開催	6.1	6.0	6.2	6.5	5.8	6.0	6.1	5.9	6.6
⑧ 質の高い芸術・文化・スポーツなどに親しむ機会の充実	6.5	6.3	6.6	6.4	6.4	6.4	6.4	6.2	6.9
⑨ 祭事や伝統行事など地域文化の伝承・活性化	6.9	6.7	7.0	7.1	6.9	6.5	6.6	7.0	7.2

【行政区】

◎=8点以上

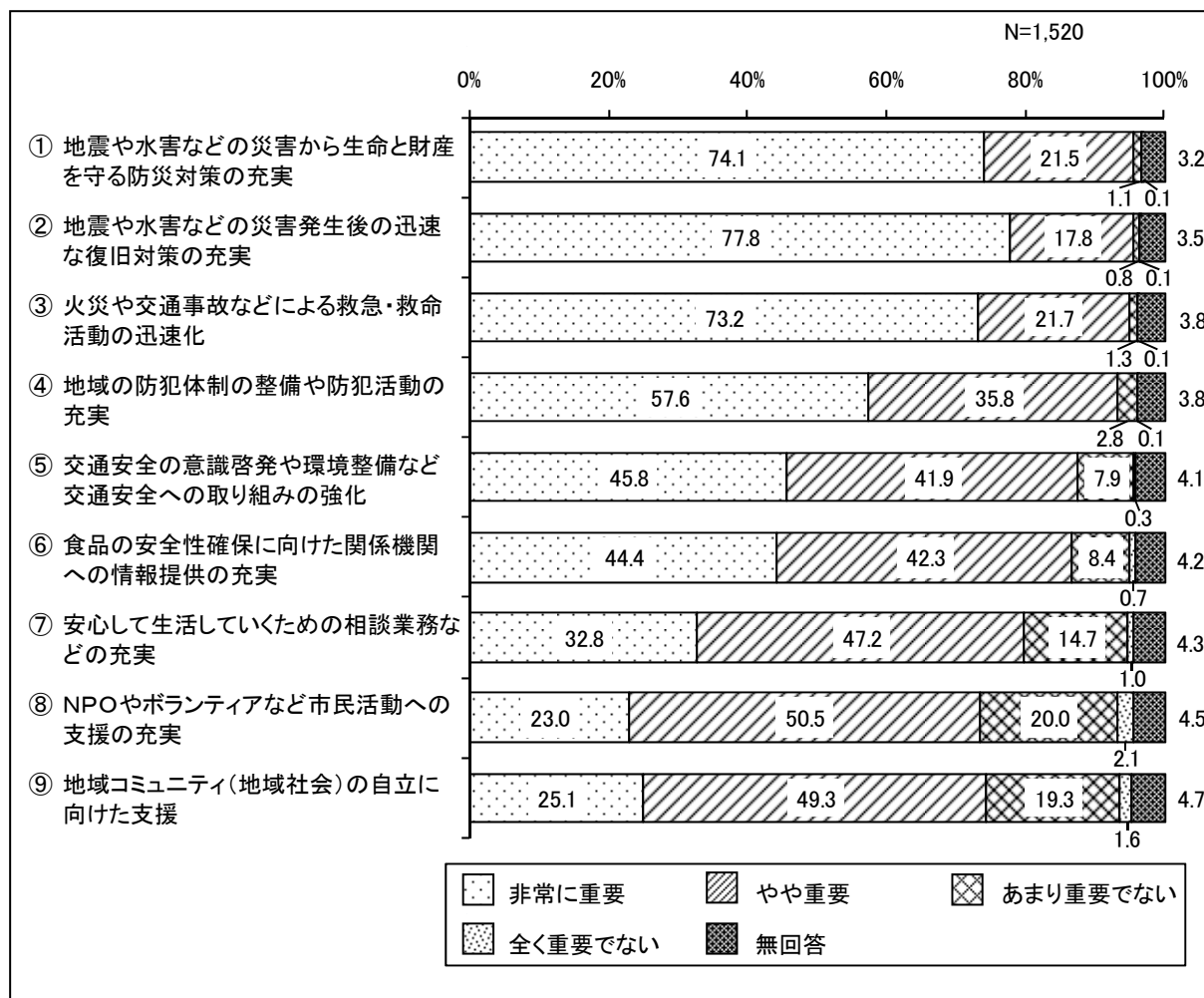
	中区	東区	西区	南区	北区	浜北区	天竜区
① 生きる力を育てる学校教育の推進	◎ 8.4	◎ 8.5	◎ 8.4	◎ 8.2	◎ 8.3	◎ 8.4	◎ 8.7
② 生涯を通じた学習機会の提供	7.5	7.7	7.2	7.2	7.5	7.4	7.5
③ 心豊かな人づくりに向けた家庭教育の推進と地域の教育力の向上	◎ 8.1	◎ 8.1	7.9	7.9	◎ 8.1	7.9	◎ 8.3
④ 大学など高等教育の充実や高度な研究機関の設置・誘致	7.0	6.5	6.3	6.5	6.6	6.5	6.6
⑤ 外国語教育、外国の文化に関する教育の充実	6.8	6.8	6.3	6.5	6.7	6.4	6.4
⑥ 芸術家やスポーツ選手など世界にはばたく人材の育成	6.7	6.1	6.1	6.3	6.4	6.3	6.4
⑦ 市民が参加できるスポーツ大会や音楽イベントなどの開催	6.3	6.2	5.9	6.3	5.9	6.1	6.0
⑧ 質の高い芸術・文化・スポーツなどに親しむ機会の充実	6.8	6.4	6.2	6.5	6.4	6.7	6.1
⑨ 祭事や伝統行事など地域文化の伝承・活性化	6.9	6.6	6.5	6.9	7.0	6.9	7.5

性別でみると、男女とも8点以上の高い重要度であったのは「①生きる力を育てる学校教育の推進」となっている。また、いずれの項目の重要度も女性が男性を上回っており、特に「①生きる力を育てる学校教育の推進」および「③心豊かな人づくりに向けた家庭教育の推進と地域の教育力の向上」で男女の意識に差がみられる。

年代別でみると、「①生きる力を育てる学校教育の推進」は30歳代以上でいずれも8点以上と高い重要度となっているのに対し、20歳代では7.8点と他の年代と比較して低い。「④大学など高等教育の充実や高度な研究機関の設置・誘致」では70歳以上で7点以上であるのに対し、他の年代では6点台と、この年代を境に意識に差がみられる。

行政区別でみると、いずれの区でも高い重要度であったのは「①生きる力を育てる学校教育の推進」となっており、そのなかでも天竜区が8.7点と最も高くなっている。

(3) 市民が安全・安心に暮らすための取り組み



「非常に重要」と「やや重要」を合わせた『重要』の回答が8割以上だったのは、以下の7項目となっている。

- | | |
|---------------------------------|-------|
| ① 地震や水害などの災害から生命と財産を守る防災対策の充実 | 95.6% |
| ② 地震や水害などの災害発生後の迅速な復旧対策の充実 | 95.6% |
| ③ 火災や交通事故などによる救急・救命活動の迅速化 | 94.9% |
| ④ 地域の防犯体制の整備や防犯活動の充実 | 93.4% |
| ⑤ 交通安全の意識啓発や環境整備など交通安全への取り組みの強化 | 87.7% |
| ⑥ 食品の安全性確保に向けた関係機関への情報提供の充実 | 86.7% |
| ⑦ 安心して生活していくための相談業務などの充実 | 80.0% |

また、下表は「非常に重要」を10点、「やや重要」を6.6点、「あまり重要でない」を3.3点、「全く重要でない」を0点と点数を付けて集計したものである。この数値は10点に近いほど重要度が高くなる指数である。

【性別】【年代別】

◎=8点以上

	全体	男性	女性	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
① 地震や水害などの災害から生命と財産を守る防災対策の充実	◎ 9.2	◎ 8.9	◎ 9.4	◎ 8.9	◎ 9.0	◎ 9.3	◎ 9.1	◎ 9.2	◎ 9.4
② 地震や水害などの災害発生後の迅速な復旧対策の充実	◎ 9.3	◎ 9.1	◎ 9.5	◎ 9.1	◎ 9.3	◎ 9.3	◎ 9.2	◎ 9.4	◎ 9.5
③ 火災や交通事故などによる救急・救命活動の迅速化	◎ 9.1	◎ 8.9	◎ 9.3	◎ 8.9	◎ 9.1	◎ 9.2	◎ 9.0	◎ 9.2	◎ 9.4
④ 地域の防犯体制の整備や防犯活動の充実	◎ 8.5	◎ 8.3	◎ 8.7	◎ 8.5	◎ 8.6	◎ 8.5	◎ 8.4	◎ 8.5	◎ 8.8
⑤ 交通安全の意識啓発や環境整備など交通安全への取り組みの強化	7.9	7.7	◎ 8.2	7.9	7.9	7.7	7.9	7.8	◎ 8.4
⑥ 食品の安全性確保に向けた関係機関への情報提供の充実	7.8	7.4	◎ 8.2	7.5	7.5	7.4	7.8	◎ 8.1	◎ 8.4
⑦ 安心して生活していくための相談業務などの充実	7.2	6.8	7.5	6.7	7.1	6.8	7.2	7.2	7.9
⑧ NPOやボランティアなど市民活動への支援の充実	6.6	6.2	6.9	6.5	6.3	6.1	6.6	6.7	7.2
⑨ 地域コミュニティ(地域社会)の自立に向けた支援	6.7	6.5	6.9	6.6	6.4	6.2	6.7	6.9	7.4

【行政区】

◎=8点以上

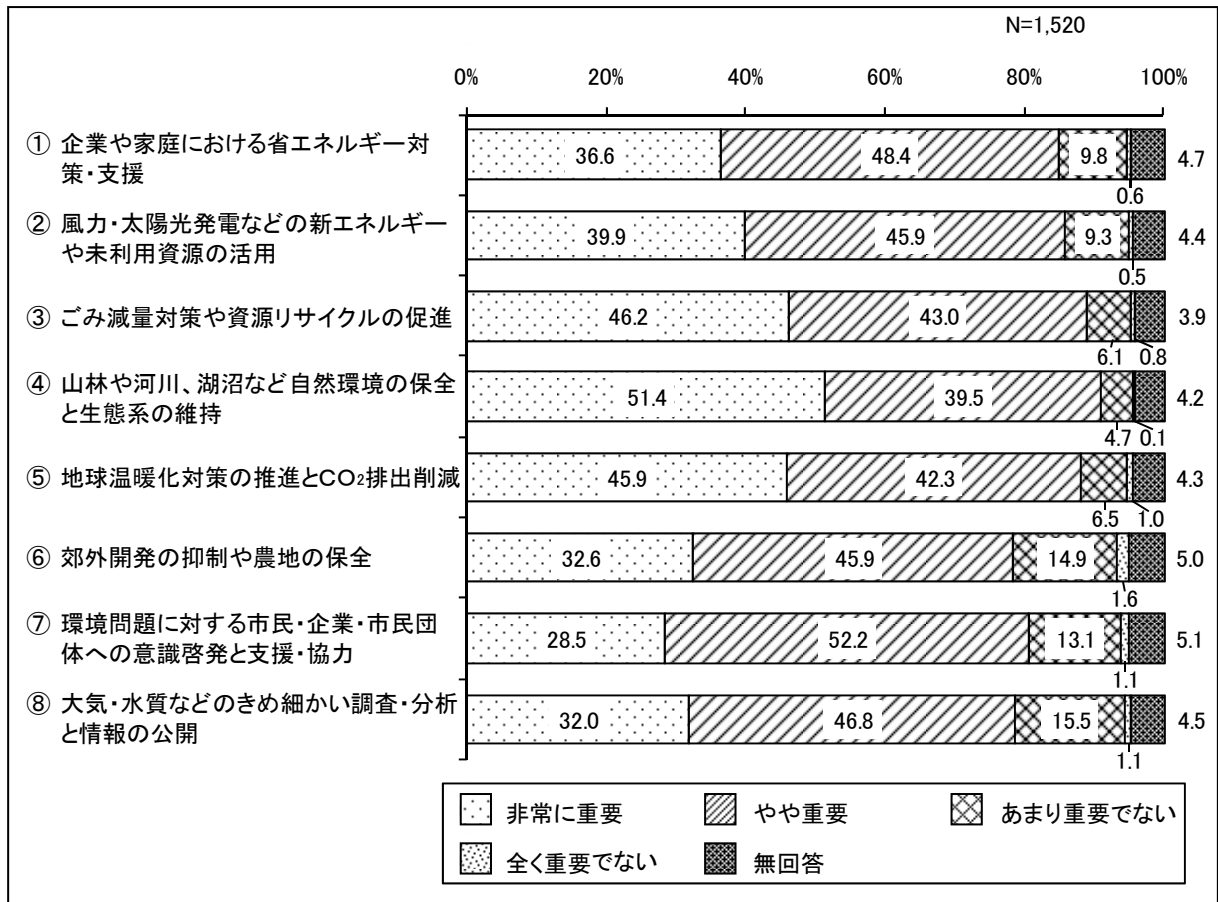
	中区	東区	西区	南区	北区	浜北区	天竜区
① 地震や水害などの災害から生命と財産を守る防災対策の充実	◎ 9.2	◎ 9.4	◎ 9.1	◎ 9.1	◎ 9.1	◎ 9.2	◎ 9.2
② 地震や水害などの災害発生後の迅速な復旧対策の充実	◎ 9.3	◎ 9.5	◎ 9.2	◎ 9.4	◎ 9.2	◎ 9.3	◎ 9.3
③ 火災や交通事故などによる救急・救命活動の迅速化	◎ 9.2	◎ 9.3	◎ 9.1	◎ 9.0	◎ 9.1	◎ 9.1	◎ 9.2
④ 地域の防犯体制の整備や防犯活動の充実	◎ 8.7	◎ 8.8	◎ 8.4	◎ 8.5	◎ 8.5	◎ 8.4	◎ 8.4
⑤ 交通安全の意識啓発や環境整備など交通安全への取り組みの強化	◎ 8.2	◎ 8.1	7.8	7.8	7.8	7.8	7.9
⑥ 食品の安全性確保に向けた関係機関への情報提供の充実	◎ 8.0	◎ 8.0	7.6	7.9	7.8	7.6	7.8
⑦ 安心して生活していくための相談業務などの充実	7.6	7.2	7.0	7.2	7.1	7.1	7.1
⑧ NPOやボランティアなど市民活動への支援の充実	6.8	6.8	6.4	6.6	6.4	6.6	6.4
⑨ 地域コミュニティ(地域社会)の自立に向けた支援	6.8	6.8	6.4	6.4	6.7	6.8	7.2

性別でみると、男女とも9点以上の非常に高い重要度であったのは「②地震や水害などの災害発生後の迅速な復旧対策の充実」となっていることに加え、「①地震や水害などの災害から生命と財産を守る防災対策の充実」および「③火災や交通事故などによる救急・救命活動の迅速化」では、女性の重要度が9点以上となっている。いずれの項目の重要度も女性が男性を上回っており、特に女性の意識の高さがうかがえる。

年代別でみると、いずれの年代でも8点以上の高い重要度であったのは「①地震や水害などの災害から生命と財産を守る防災対策の充実」、「②地震や水害などの災害発生後の迅速な復旧対策の充実」、「③火災や交通事故などによる救急・救命活動の迅速化」および「④地域の防犯体制の整備や防犯活動の充実」となっている。

行政区別でみると、いずれの行政区でも9点以上の非常に高い重要度であったのは、「①地震や水害などの災害から生命と財産を守る防災対策の充実」、「②地震や水害などの災害発生後の迅速な復旧対策の充実」および「③火災や交通事故などによる救急・救命活動の迅速化」となっている。

(4) 環境に対する取り組み



「非常に重要」と「やや重要」を合わせた『重要』の回答が8割以上だったのは、以下の6項目となっている。

- | | |
|-----------------------------------|-------|
| ④ 山林や河川、湖沼など自然環境の保全と生態系の維持 | 90.9% |
| ③ ごみ減量対策や資源リサイクルの促進 | 89.2% |
| ⑤ 地球温暖化対策の推進とCO ₂ 排出削減 | 88.2% |
| ② 風力・太陽光発電などの新エネルギーや未利用資源の活用 | 85.8% |
| ① 企業や家庭における省エネルギー対策・支援 | 85.0% |
| ⑦ 環境問題に対する市民・企業・市民団体への意識啓発と支援・協力 | 80.7% |

また、下表は「非常に重要」を10点、「やや重要」を6.6点、「あまり重要でない」を3.3点、「全く重要でない」を0点と点数を付けて集計したものである。この数値は10点に近いほど重要度が高くなる指数である。

【性別】【年代別】

◎=8点以上

	全体	男性	女性	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
① 企業や家庭における省エネルギー対策・支援	7.5	7.3	7.8	7.2	7.5	7.3	7.2	7.8	7.9
② 風力・太陽光発電などの新エネルギーや未利用資源の活用	7.7	7.6	7.7	7.2	7.7	7.7	7.5	7.8	7.8
③ ごみ減量対策や資源リサイクルの促進	◎ 8.0	7.7	◎ 8.2	7.7	◎ 8.0	7.6	7.6	◎ 8.3	◎ 8.4
④ 山林や河川、湖沼など自然環境の保全と生態系の維持	◎ 8.3	◎ 8.2	◎ 8.3	◎ 8.1	◎ 8.2	◎ 8.2	◎ 8.3	◎ 8.3	◎ 8.4
⑤ 地球温暖化対策の推進とCO ₂ 排出削減	7.9	7.6	◎ 8.2	7.5	7.7	7.6	7.9	◎ 8.3	◎ 8.3
⑥ 郊外開発の抑制や農地の保全	7.1	6.9	7.3	6.8	7.0	6.8	7.2	7.3	7.5
⑦ 環境問題に対する市民・企業・市民団体への意識啓発と支援・協力	7.1	6.8	7.3	6.9	6.9	6.7	6.9	7.4	7.6
⑧ 大気・水質などのきめ細かい調査・分析と情報の公開	7.1	7.0	7.2	6.6	6.8	6.7	7.0	7.5	7.7

【行政区】

◎=8点以上

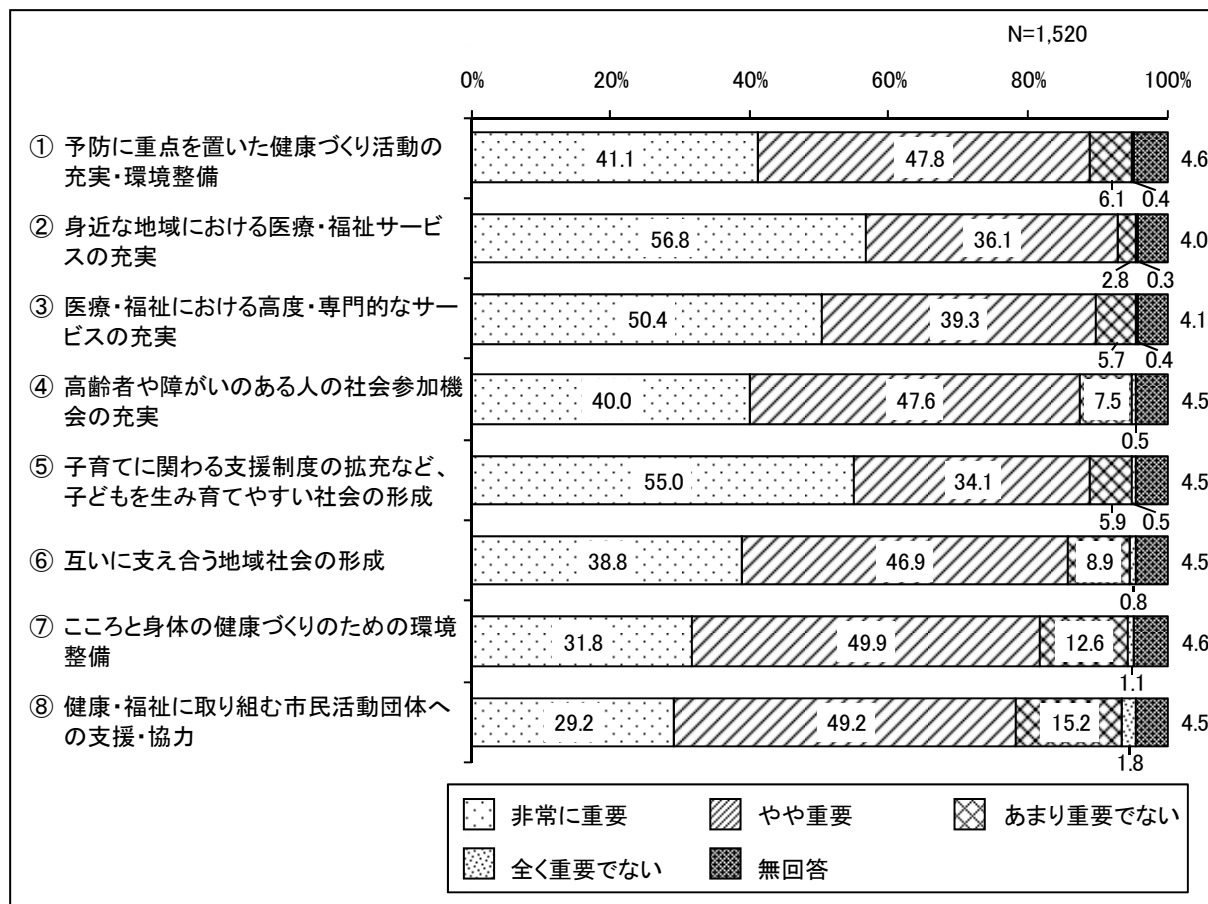
	中区	東区	西区	南区	北区	浜北区	天竜区
① 企業や家庭における省エネルギー対策・支援	7.7	7.6	7.3	7.5	7.4	7.5	7.8
② 風力・太陽光発電などの新エネルギーや未利用資源の活用	7.7	7.8	7.5	7.6	7.8	7.6	7.7
③ ごみ減量対策や資源リサイクルの促進	◎ 8.0	7.9	◎ 8.1	7.8	◎ 8.0	7.8	◎ 8.1
④ 山林や河川、湖沼など自然環境の保全と生態系の維持	◎ 8.2	◎ 8.3	◎ 8.0	◎ 8.1	◎ 8.3	◎ 8.4	◎ 8.6
⑤ 地球温暖化対策の推進とCO ₂ 排出削減	◎ 8.0	◎ 8.1	7.8	7.7	7.9	7.9	◎ 8.1
⑥ 郊外開発の抑制や農地の保全	7.2	7.1	7.1	6.9	7.0	7.4	7.4
⑦ 環境問題に対する市民・企業・市民団体への意識啓発と支援・協力	7.2	7.1	6.8	6.9	7.2	7.1	7.4
⑧ 大気・水質などのきめ細かい調査・分析と情報の公開	7.2	7.3	6.9	7.0	7.0	7.2	7.3

性別で見ると、男女とも8点以上の高い重要度であったのは「④山林や河川、湖沼など自然環境の保全と生態系の維持」となっている。いずれの項目の重要度も女性が男性を上回っており、特に女性の意識の高さがうかがえる。

年代別で見ると、いずれの年代でも8点以上の高い重要度であったのは「④山林や河川、湖沼など自然環境の保全と生態系の維持」となっている。いずれの項目でも60歳代以上で重要度が高い傾向となっており、この年代を境に意識に差がみられる。

行政区別で見ると、いずれの行政区でも8点以上の高い重要度であったのは「④山林や河川、湖沼など自然環境の保全と生態系の維持」となっており、その中でも天竜区の8.6点が他の区と比べて高い。

(5) 健康、福祉に対する取り組み



「非常に重要」と「やや重要」を合わせた『重要』の回答が8割以上だったのは、以下の7項目となっている。

- | | |
|-------------------------------------|-------|
| ② 身近な地域における医療・福祉サービスの充実 | 92.9% |
| ③ 医療・福祉における高度・専門的なサービスの充実 | 89.7% |
| ⑤ 子育てに関わる支援制度の拡充など、子どもを生み育てやすい社会の形成 | 89.1% |
| ① 予防に重点を置いた健康づくり活動の充実・環境整備 | 88.9% |
| ④ 高齢者や障がいのある人の社会参加機会の充実 | 87.6% |
| ⑥ 互いに支え合う地域社会の形成 | 85.7% |
| ⑦ こころと身体健康づくりのための環境整備 | 81.7% |

また、下表は「非常に重要」を10点、「やや重要」を6.6点、「あまり重要でない」を3.3点、「全く重要でない」を0点と点数を付けて集計したものである。この数値は10点に近いほど重要度が高くなる指数である。

【性別】【年代別】

◎=8点以上

	全体	男性	女性	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
① 予防に重点を置いた健康づくり活動の充実・環境整備	7.8	7.6	◎ 8.0	7.6	7.8	7.7	7.7	7.7	◎ 8.4
② 身近な地域における医療・福祉サービスの充実	◎ 8.5	◎ 8.3	◎ 8.7	◎ 8.3	◎ 8.5	◎ 8.4	◎ 8.4	◎ 8.5	◎ 8.8
③ 医療・福祉における高度・専門的なサービスの充実	◎ 8.2	◎ 8.0	◎ 8.4	◎ 8.1	◎ 8.1	◎ 8.1	◎ 8.1	◎ 8.2	◎ 8.4
④ 高齢者や障がいのある人の社会参加機会の充実	7.7	7.5	7.9	7.6	7.9	7.7	7.8	7.6	7.8
⑤ 子育てに関わる支援制度の拡充など、子どもを生き育てやすい社会の形成	◎ 8.3	◎ 8.0	◎ 8.6	◎ 8.4	◎ 8.7	7.9	◎ 8.3	◎ 8.4	◎ 8.3
⑥ 互いに支え合う地域社会の形成	7.6	7.4	7.8	7.5	7.5	7.2	7.6	7.7	◎ 8.3
⑦ こころと身体の健康づくりのための環境整備	7.2	6.9	7.5	7.0	7.0	6.8	7.3	7.3	7.9
⑧ 健康・福祉に取り組む市民活動団体への支援・協力	7.0	6.7	7.3	6.8	6.8	6.5	7.0	7.1	7.6

【行政区】

◎=8点以上

	中区	東区	西区	南区	北区	浜北区	天竜区
① 予防に重点を置いた健康づくり活動の充実・環境整備	7.9	◎ 8.2	7.6	7.7	7.9	7.7	7.9
② 身近な地域における医療・福祉サービスの充実	◎ 8.6	◎ 8.6	◎ 8.3	◎ 8.5	◎ 8.6	◎ 8.3	◎ 8.6
③ 医療・福祉における高度・専門的なサービスの充実	◎ 8.4	◎ 8.3	◎ 8.1	◎ 8.0	◎ 8.2	◎ 8.1	7.9
④ 高齢者や障がいのある人の社会参加機会の充実	7.7	7.9	7.7	7.7	7.7	7.7	7.6
⑤ 子育てに関わる支援制度の拡充など、子どもを生き育てやすい社会の形成	◎ 8.3	◎ 8.3	◎ 8.4	◎ 8.1	◎ 8.3	◎ 8.5	◎ 8.6
⑥ 互いに支え合う地域社会の形成	7.7	7.6	7.5	7.5	7.7	7.6	7.8
⑦ こころと身体の健康づくりのための環境整備	7.4	7.3	7.0	7.1	7.3	7.3	7.2
⑧ 健康・福祉に取り組む市民活動団体への支援・協力	7.2	7.2	6.7	6.8	6.8	7.0	7.1

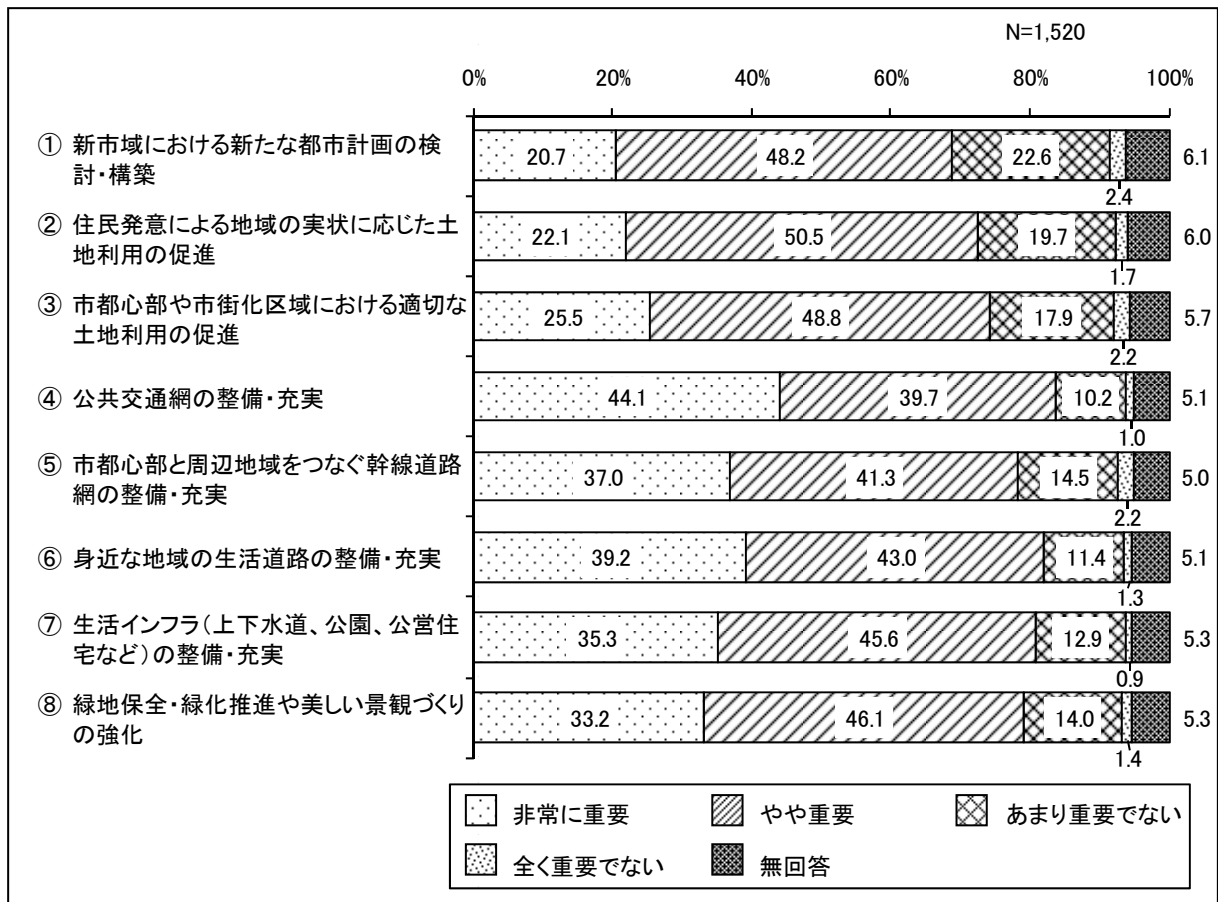
性別で見ると、男女とも8点以上の高い重要度であったのは「②身近な地域における医療・福祉サービスの充実」、「③医療・福祉における高度・専門的なサービスの充実」および「⑤子育てに関わる支援制度の拡充など、子どもを生き育てやすい社会の形成」となっている。いずれの項目の重要度も女性が男性を上回っている。

年代別で見ると、いずれの年代でも8点以上の高い重要度であったのは「②身近な地域における医療・福祉サービスの充実」および「③医療・福祉における高度・専門的なサービスの充実」となっている。「⑤子育てに関わる支援制度の拡充など、子どもを生き育てやすい社会の形成」では、

30歳代で8.7点と最も高いのに対し、40歳代で7.9点と最も低く、隣り合う年代で差がみられた。

行政区別で見ると、いずれの行政区でも「②身近な地域における医療・福祉サービスの充実」、「③医療・福祉における高度・専門的なサービスの充実」および「⑤子育てに関わる支援制度の拡充など、子どもを生き育てやすい社会の形成」の重要度が高く、行政区による大きな差はみられない。

(6) 都市・生活基盤の整備に対する取り組み



「非常に重要」と「やや重要」を合わせた『重要』の回答が8割以上だったのは、以下の3項目となっている。

- ④ 公共交通網の整備・充実 83.8%
- ⑥ 身近な地域の生活道路の整備・充実 82.2%
- ⑦ 生活インフラ（上下水道、公園、公営住宅など）の整備・充実 80.9%

また、下表は「非常に重要」を10点、「やや重要」を6.6点、「あまり重要でない」を3.3点、「全く重要でない」を0点と点数を付けて集計したものである。この数値は10点に近いほど重要度が高くなる指数である。

【性別】【年代別】

◎=8点以上

	全体	男性	女性	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
① 新市域における新たな都市計画の検討・構築	6.4	6.6	6.2	6.3	6.0	6.1	6.4	6.4	7.1
② 住民発意による地域の実状に応じた土地利用の促進	6.6	6.6	6.6	6.6	6.4	6.3	6.5	6.7	7.0
③ 市都心部や市街化区域における適切な土地利用の促進	6.7	6.7	6.8	6.7	6.6	6.5	6.6	6.9	7.2
④ 公共交通網の整備・充実	7.8	7.8	7.8	7.9	7.8	7.9	7.7	7.4	7.9
⑤ 市都心部と周辺地域をつなぐ幹線道路網の整備・充実	7.3	7.3	7.3	7.4	7.0	7.3	7.2	7.2	7.7
⑥ 身近な地域の生活道路の整備・充実	7.5	7.4	7.6	7.6	7.3	7.4	7.4	7.5	◎ 8.0
⑦ 生活インフラ(上下水道、公園、公営住宅など)の整備・充実	7.4	7.3	7.4	7.2	7.2	7.0	7.3	7.6	7.7
⑧ 緑地保全・緑化推進や美しい景観づくりの強化	7.2	7.1	7.3	7.5	7.0	6.9	7.2	7.2	7.5

【行政区】

◎=8点以上

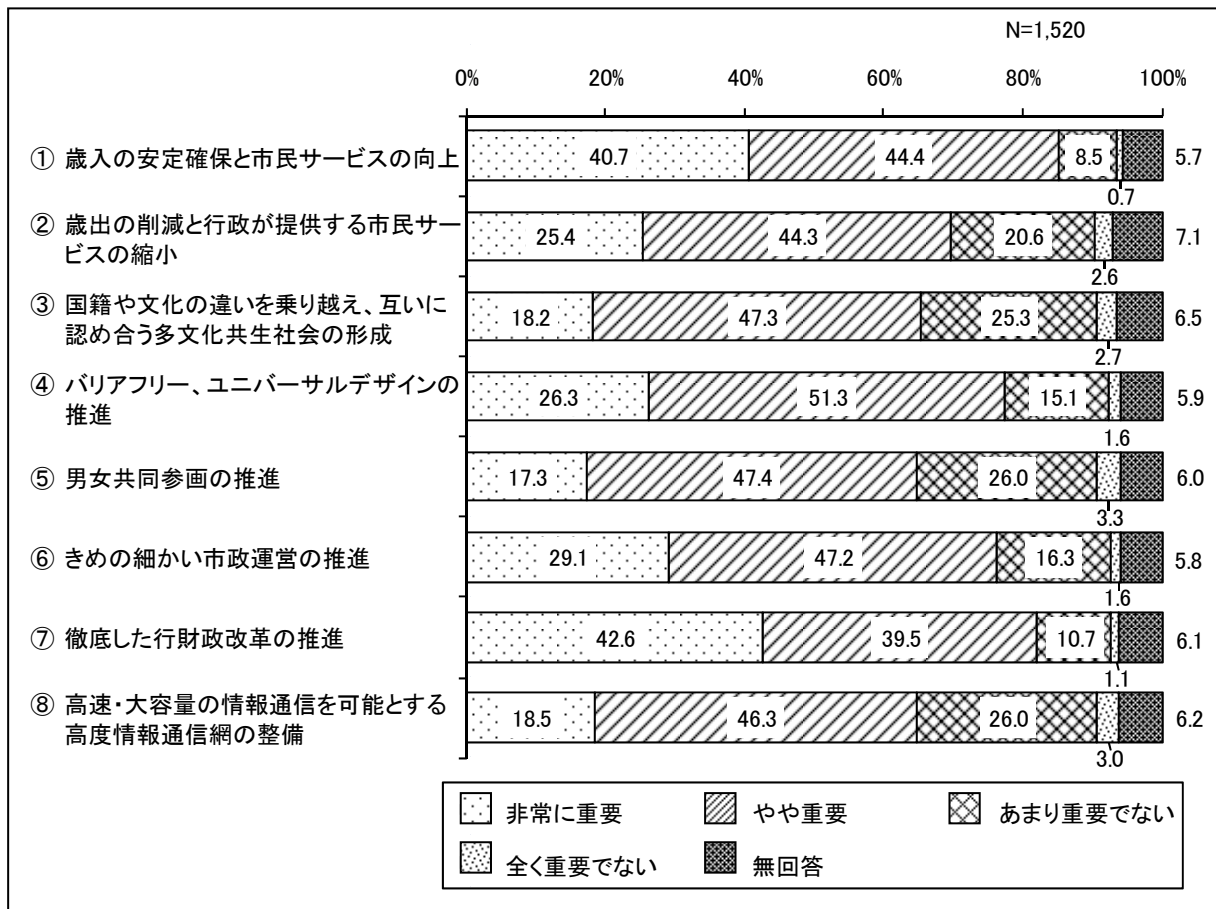
	中区	東区	西区	南区	北区	浜北区	天竜区
① 新市域における新たな都市計画の検討・構築	6.7	6.3	6.0	6.4	6.2	6.4	6.7
② 住民発意による地域の実状に応じた土地利用の促進	6.6	6.6	6.4	6.6	6.4	6.5	7.0
③ 市都心部や市街化区域における適切な土地利用の促進	7.0	6.8	6.5	6.9	6.5	6.8	6.8
④ 公共交通網の整備・充実	7.8	◎ 8.0	7.6	7.7	7.6	7.7	◎ 8.0
⑤ 市都心部と周辺地域をつなぐ幹線道路網の整備・充実	7.3	7.3	7.1	7.3	7.3	6.8	7.8
⑥ 身近な地域の生活道路の整備・充実	7.5	7.5	7.2	7.5	7.5	7.5	◎ 8.1
⑦ 生活インフラ(上下水道、公園、公営住宅など)の整備・充実	7.6	7.5	7.2	7.3	7.3	7.2	7.5
⑧ 緑地保全・緑化推進や美しい景観づくりの強化	7.3	7.4	7.2	7.0	7.0	7.5	7.1

性別でみると、男女とも8点以上の重要度となった項目はなく、最も高いのは「④公共交通網の整備・充実」となっている。

年代別でみると、「⑥身近な地域の生活道路の整備・充実」が70歳以上で8.0点と高く、他の年代と差がみられる。

行政区別でみると、「④公共交通網の整備・充実」は東区および天竜区で8点以上と高くなっている。また「⑥身近な地域の生活道路の整備・充実」では天竜区で8点以上と他の行政区と比べて高い。

(7) 都市経営に対する取り組み



「非常に重要」と「やや重要」を合わせた『重要』の回答が8割以上だったのは、以下の2項目となっている。

- ① 歳入の安定確保と市民サービスの向上 85.1%
- ⑦ 徹底した行財政改革の推進 82.1%

また、下表は「非常に重要」を10点、「やや重要」を6.6点、「あまり重要でない」を3.3点、「全く重要でない」を0点と点数を付けて集計したものである。この数値は10点に近いほど重要度が高くなる指数である。

【性別】【年代別】

◎=8点以上

	全体	男性	女性	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
① 歳入の安定確保と市民サービスの向上	7.7	7.7	7.7	7.2	7.5	7.7	7.7	7.7	◎ 8.2
② 歳出の削減と行政が提供する市民サービスの縮小	6.6	6.8	6.5	6.3	6.5	6.3	6.5	6.8	7.3
③ 国籍や文化の違いを乗り越え、互いに認め合う多文化共生社会の形成	6.2	5.9	6.4	6.7	6.1	5.6	6.1	6.2	6.7
④ バリアフリー、ユニバーサルデザインの推進	6.9	6.5	7.3	7.3	7.1	6.7	6.9	6.7	7.0
⑤ 男女共同参画の推進	6.1	5.9	6.3	6.5	5.9	5.8	5.9	5.9	6.7
⑥ きめの細かい市政運営の推進	7.0	6.9	7.0	6.7	6.6	6.5	6.8	7.3	7.8
⑦ 徹底した行財政改革の推進	7.7	7.8	7.6	7.5	7.1	7.4	7.6	◎ 8.1	◎ 8.2
⑧ 高速・大容量の情報通信を可能とする高度情報通信網の整備	6.1	6.1	6.2	6.0	5.8	5.9	5.9	6.1	7.0

【行政区】

◎=8点以上

	中区	東区	西区	南区	北区	浜北区	天竜区
① 歳入の安定確保と市民サービスの向上	7.8	7.8	7.6	7.6	7.7	7.6	◎ 8.0
② 歳出の削減と行政が提供する市民サービスの縮小	6.7	6.7	6.7	6.5	6.6	6.6	6.5
③ 国籍や文化の違いを乗り越え、互いに認め合う多文化共生社会の形成	6.3	6.2	6.2	6.1	6.2	6.0	6.1
④ バリアフリー、ユニバーサルデザインの推進	7.1	7.2	6.8	7.2	6.6	6.9	6.5
⑤ 男女共同参画の推進	6.3	6.2	6.1	6.1	5.9	6.0	6.0
⑥ きめの細かい市政運営の推進	7.2	7.1	6.8	7.0	6.7	6.8	7.2
⑦ 徹底した行財政改革の推進	7.7	7.7	7.7	7.7	7.6	7.7	7.7
⑧ 高速・大容量の情報通信を可能とする高度情報通信網の整備	6.1	6.2	5.9	6.2	6.0	6.3	6.3

性別で見ると、男女とも8点以上の重要度となった項目はなく、比較的高いのは「①歳入の安定確保と市民サービスの向上」および「⑦徹底した行財政改革の推進」となっている。

年代別で見ると、「①歳入の安定確保と市民サービスの向上」は70歳以上で8.2点と最も高く、他の年代と差がみられる。また、「⑦徹底した行財政改革の推進」でも60歳以上で8点以上となっており、この年代を境に意識に差がみられる。

行政区別で見ると、「①歳入の安定確保と市民サービスの向上」は天竜区で8.0点と最も高い。それ以外では、いずれの区でも8点以上の重要度となった項目はなく、行政区による意識に大きな違いはみられない。

付録 調査票

平成22年度 市民アンケート調査 (第37回)

日ごろ、市政の推進につきましては、深いご理解・ご協力をいただき、ありがとうございます。
浜松市では、市民の皆さまのお考えを伺うことで市政の充実を図り、市民の皆さまの暮らしが豊かになるように努めていきたいと考えています。

そこで今後のまちづくりの基礎資料とするため、市民アンケート調査を実施させていただきます。この調査を実施するにあたり、市内在住の満20歳以上の皆さまの中から無作為に3,000人の方々を選ばせていただきました。お忙しいところ誠にお手数ですが、調査の趣旨をご理解いただきご回答くださいますようお願いいたします。

なお、調査結果につきましては、広報はままつや浜松市公式ホームページなどで報告させていただきます予定です。

平成22年6月 浜松市長 鈴木 康 友

<ご回答についてのお願い>

1. 封書のあて名の人が、ご回答くださいますようお願いいたします。
2. ご回答は、各設問に該当する番号を選択肢の中から選んで、○で囲んでください。
また、「その他」を選んだ方は、その具体的な内容をご記入ください。
3. この調査結果は、上記目的以外に使用することはなく、内容についてご迷惑をお掛けすることはありません。
4. 6月30日(水)までにこの用紙を同封の封筒に入れて、切手をはらずにご投函ください。
5. ご不明な点は、広聴広報課 市民の声グループ ☎(053)457-2023 へお問い合わせください。

あなたはご存知ですか？

問1 次の項目について、あなたはご存知ですか。
1～3のうちから1つ選んで○を付けてください。

	名称も内容も 知っている	名称だけは 知っている	知らない
① 浜松市快適で良好な生活環境を確保する条例 (通称：市民マナー条例) ※歩きタバコ・ごみのポイ捨て・落書きの禁止や、飼い犬・ねこのふんの適正な処理、身体障害者用駐車場の適正な利用を定めた条例。	1	2	3
② 浜松市川や湖を守る条例 ※市内にある天竜川や浜名湖など、美しく豊かな川や湖を次世代に継承するために、市民や事業者が守るべきこと、しなければならないことを定めた条例。	1	2	3
③ 浜松市音・かおり・光環境創造条例 ※人に潤いや安らぎを与えてくれる音・かおり・光資源を保全するとともに、自らも人に不快感や嫌悪感を与える騒音、悪臭および光害の防止に取り組み、快適な生活環境創造のための条例。	1	2	3
④ 浜松市子ども育成条例 ※未来を担う子どもを社会全体で健全に育成し、支えていくための基本理念や、市、保護者、学校等、事業主、子ども育成団体及び市民の役割を明らかにするとともに、市の基本的施策を定めた条例。	1	2	3
⑤ いのちをつなぐ手紙 ※自殺対策事業として「いのちをつなぐ手紙」を実施。 ひとりで抱えきれない悩みを手紙に書いて相談したり、悩みを抱えた人の支えとなる言葉を伝えるためのもの。	1	2	3

	すでに 登録している	知っているが 登録していない	知らない
⑥ 防災ホットメール ※平成22年3月1日から、災害発生時の緊急情報、地震情報、気象情報、火災情報などを携帯電話などに電子メールで配信している。	1	2	3

	利用したこ とがある	知っているが 利用したことは ない	知らない
⑦ 県救急医療情報センター ※県救急医療情報センターでは、休日当番医の情報を24時間、電話(0800-222-1199)で案内している	1	2	3

運動・スポーツについて

問2 この一年間で、あなたは運動やスポーツをどの程度行いましたか。

ウォーキングやラジオ体操など、軽度の運動を含みます。 (1つだけ○を付けてください)

- | | | |
|---------|----------|--------------|
| 1. ほぼ毎日 | 2. 週2～3回 | 3. 週1回 |
| 4. 月1回 | 5. 年に数回 | 6. ほとんど運動しない |

問3 あなたは、過去1年間に、実際に会場でスポーツ観戦や応援をどの程度しましたか。(プロスポーツだけではなく、浜松シティマラソンなどの各種スポーツ大会やイベント、少年団や部活動の応援なども含みます。) (1つだけ○を付けてください)

- | | | |
|------------|-------------|-----------|
| 1. ほぼ毎日 | 2. 月に数回 | 3. 月に1回程度 |
| 4. 1年に1回程度 | 5. ほとんど行かない | |

ユニバーサルデザインについて

問4 市では、ユニバーサルデザインの考え方を市政に取り入れています。ユニバーサルデザインとは、身体能力、年齢、国籍、性別などに関係なく、誰もが安全で安心な暮らしができるように環境づくりやまちづくりなどを行っていかこうとする考え方です。あなたは、ご存知でしたか。

(1つだけ○を付けてください)

- | | |
|------------------|-------------|
| 1. 詳しく知っている | 2. 知っている |
| 3. 言葉だけは聞いたことがある | 4. まったく知らない |

問5 あなたのお住まいの地域は、歩道整備や交通機関など移動の面や、防災・防犯などの面から安全・安心に暮らすことのできる地域と感じますか。 (1つだけ○を付けてください)

- | | | | |
|--------|------------|---------|----------|
| 1. 感じる | 2. 部分的に感じる | 3. 感じない | 4. 分からない |
|--------|------------|---------|----------|

問6 あなたは、ユニバーサルデザインのまちづくりのために、どのようなことから取り組むべきだと思いますか。 (あてはまるもの3つまで○を付けてください)

- | | |
|-----------------------|---------------------|
| 1. 思いやりの心を育てる教育の充実 | 2. わかりやすい市政情報の提供 |
| 3. 市民へのPR | 4. 市職員の意識啓発 |
| 5. 誰もが参加できるイベントなどの開催 | 6. 安全で快適な歩道や自転車道の整備 |
| 7. 利用しやすい公共交通機関の普及 | 8. 地下道より楽な横断歩道の整備 |
| 9. わかりやすい案内表示の整備 | 10. 使いやすい建物や施設の整備 |
| 11. その他 (具体的に: _____) | |

◆公共交通機関や、徒歩または自転車による移動のしやすさなど、「交通のユニバーサルデザイン化」の推進について、あなたの意見をご自由にお書きください。

.....

.....

.....

人権について

問7 あなたは人権に関心がありますか？

(1つだけ○を付けてください)

1. ある 2. ない 3. どちらともいえない

問8 あなたは過去3年間に自分が偏見・差別・虐待・ハラスメントなどの人権侵害を受けた、または感じたことがありますか？

(1つだけ○を付けてください)

1. ある 2. ない 3. どちらともいえない

問9 設問8で「ある」に○を付けた方にお伺いします。それはどんな場面でしたか？

(あてはまるものすべてに○を付けてください)

1. 会社 2. 学校 3. 家庭・親族 4. 住んでいる地域
5. その他（具体的に： _____)

中心市街地について

問10 あなたが、買い物などで中心市街地（浜松駅周辺エリア）を訪れる頻度はどの程度ですか。

(1つだけ○を付けてください)

1. 週1回以上 2. 月1回程度 3. 年に数回 4. ほとんど行かない

問11 多くの人を訪れる魅力ある中心市街地にするために、あなたが重点的に進めるべきだと考える取り組みは何ですか。

(1つだけ○を付けてください)

1. 中心市街地の居住人口を増加させるための環境整備
2. 市外・県外からの来訪者を増やすための観光振興の推進
3. 歴史や芸術などの文化的催しの充実
4. 花飾りや緑化による、うるおいある公共空間の創出
5. 誰にでも歩きやすいまちづくり（歩道の整備等）
6. 都心のにぎわいを創出するための集客イベント
7. 大型店の誘致や商店街の魅力アップ
8. 中心市街地で働く場（企業等）の充実
9. 中心市街地を回遊できる公共交通機関（バス等）の充実
10. 子育てや高齢者福祉等に関する施設の充実

◆「中心市街地」について、あなたの意見をご自由にお書きください。

.....

.....

.....

家庭の情報化について

問 12 あなたのご家庭では、次のような情報通信機器を持っていますか。

(あてはまるものすべてに○を付けてください)

- | | |
|----------------------|----------------------|
| 1. パソコン | 2. 携帯電話・PHSなどのモバイル端末 |
| 3. インターネットに接続できるゲーム機 | 4. インターネットに接続できるテレビ |
| 5. インターネットに接続できる家電 | 6. その他(具体的に:) |

問 13 あなたやあなたのご家族は、過去1年間にインターネット(情報通信機器によるメール送受信およびホームページ利用を含む)を利用したことがありますか。(1つだけ○を付けてください)

- | |
|------------------------------|
| 1. 少なくとも1人はインターネットを利用したことがある |
| 2. だれもインターネットを利用したことがない |

問 14 問13で「1. 少なくとも1人はインターネットを利用したことがある」とお答えの方に伺います。あなたやあなたのご家族は、どの情報通信機器でインターネットを利用していますか。

(あてはまるものすべてに○を付けてください)

- | | |
|----------------------|----------------------|
| 1. パソコン | 2. 携帯電話・PHSなどのモバイル端末 |
| 3. インターネットに接続できるゲーム機 | 4. インターネットに接続できるテレビ |
| 5. インターネットに接続できる家電 | 6. その他(具体的に:) |

問 15 あなたは、テレビのアナログ放送が2011年に停止されることをご存知ですか。

(1つだけ○を付けてください)

- | | |
|----------|-----------|
| 1. 知っている | 2. 知らなかった |
|----------|-----------|

問 16 あなたのご家庭では、地上デジタル放送を視聴されていますか。

(1つだけ○を付けてください)

- | | |
|-----------|------------|
| 1. 視聴している | 2. 視聴していない |
|-----------|------------|

健康はままつ21について

問 17 市では、すべての市民が健康で明るく元気に生活できることを目指し、健康づくりの指針となる「健康はままつ21」を策定しましたが、あなたをご存知ですか。

(1つだけ○を付けてください)

- | | | |
|-------------|---------------------|---------|
| 1. 内容を知っている | 2. 聞いたことがあるが内容は知らない | 3. 知らない |
|-------------|---------------------|---------|

問 18 あなたは、現在ご自身の健康状態をどのように感じていますか。

(1つだけ○を付けてください)

- | | | | |
|----------|--------------|--------------|-----------|
| 1. 健康である | 2. まあまあ健康である | 3. あまり健康ではない | 4. 健康ではない |
|----------|--------------|--------------|-----------|

地球温暖化防止について

問 19 あなたは日常生活において、省エネルギーなど地球温暖化防止の取り組みを行っていますか。
(1つだけ○を付けてください)

- | | |
|----------------|----------------|
| 1. 積極的に取り組んでいる | 2. ある程度取り組んでいる |
| 3. あまり取り組んでいない | 4. 全く取り組んでいない |
| 5. わからない | |

問 20 問 19 で「3. あまり取り組んでいない」「4. 全く取り組んでいない」とお答えの方に伺います。
あなたが、省エネルギーなど地球温暖化防止の取り組みを行わない理由は何ですか。
(あてはまるものすべてに○を付けてください)

- | |
|---------------------------------------|
| 1. 日常生活の中で取り組んでも効果がないと思うから |
| 2. 具体的にどのようなことに取り組めばよいのかわからないから |
| 3. 自分の取り組みがどれぐらいの成果をあげているか分からないから |
| 4. 地球温暖化防止に取り組む意識を持ち続けることが難しいから |
| 5. 省エネルギー型の製品を買おうとすると、他の製品に比べて金額が高いから |
| 6. その他 (具体的に: _____) |

問 21 あなたは日常生活において、地球と財布にやさしいエコドライブ*の取り組みを行っていますか。
(1つだけ○を付けてください)

- | | |
|----------------|----------------|
| 1. 積極的に取り組んでいる | 2. ある程度取り組んでいる |
| 3. あまり取り組んでいない | 4. 全く取り組んでいない |
| 5. わからない | |

*エコドライブとは、やさしい発進を心がけるふんわりアクセルや早めのアクセルオフなどを行う運転方法です。

問 22 あなたは住宅の省エネ対策*についてどの程度関心をお持ちですか。
(1つだけ○を付けてください)

- | | |
|--------------|--------------|
| 1. おおいに興味がある | 2. ある程度関心がある |
| 3. あまり関心がない | 4. 全く関心がない |

*住宅の省エネ対策とは、冷暖房効率の高い住宅(高断熱住宅)の新築、窓や外壁、屋根・天井、床の断熱改修、新エネルギー・省エネルギー設備の導入、壁面緑化などをいいます。

問 23 あなたの家庭で、今後取り入れてみたい新エネルギー・省エネルギー設備はありますか。
(あてはまるものすべてに○を付けてください)

- | | |
|------------------------------------|--------------------------------------|
| 1. 太陽光発電 | 2. 太陽熱利用 |
| 3. 家庭用燃料電池(愛称:エネファーム) | 4. 潜熱回収型給湯器(愛称:エコジョーズ) |
| 5. 自然冷媒ヒートポンプ式電気給湯器
(愛称:エコキュート) | 6. 家庭用ガスコージェネレーションシステム
(愛称:エコウィル) |
| 7. ペレットストーブ* | 8. ハイブリッド自動車 |
| 9. マイクロ風力発電 | |
| 10. その他(具体的に: _____) | |
| 11. 新エネ・省エネ設備を取り入れたいと思わない | |

*ペレットとは、おが粉や、かんなくず等を圧縮成型した小粒の固形燃料のこと。

子育て支援について

急速な少子高齢化により、社会全体としての活力低下や社会保障制度の維持などの課題が指摘されています。こうしたなか、少子化の流れを変えようと、市では次世代を担う子どもの成長や子育てを支援する環境づくりを目指し、浜松市に暮らすすべての市民を対象とした施策（＝浜松市次世代育成支援行動計画）をまとめ、平成17年4月から施行しており、合併後は12市町村の計画を統合し、1つの計画としています。

問24 あなたは、「浜松市次世代育成支援行動計画」をご存知でしたか。

(1つだけ○を付けてください)

1. 名称も内容も知っている 2. 名称だけは知っている 3. 知らない

問25 問24で「1. 名称も内容も知っている」「2. 名称だけは知っている」とお答えの方に伺います。
あなたは、何で知りましたか。 (あてはまるものすべてに○を付けてください)

1. 広報はままつなどの広報紙 2. 浜松市公式ホームページ 3. 浜松市メールマガジン
4. 新聞 5. テレビ 6. 公民館
7. パンフレット・リーフレット 8. 人から聞いて知った
9. その他（具体的に： _____)

問26 あなたは、「子育て」に対して、現在、どのような関わり方をしていますか。

(1つだけ○を付けてください)

1. 子育て中である
2. 孫の面倒を見ることがある
3. 甥、姪の面倒を見ることがある
4. 近所の子どもの面倒を見ることがある
5. 子育てサークルに参加している
6. 子育てに関するボランティアに参加している
7. その他（具体的に： _____)
8. 特に関わっていない

問27 市では、子育て広場やファミリーサポートセンターなど子育てに関するさまざまな支援*を行なっています。あなたは、このような支援によって、子育てがしやすくなっていると思いますか。

(1つだけ○を付けてください)

1. 思う 2. 思わない 3. どちらともいえない 4. わからない

*そのほかの子育て支援としては、なかよし館、育児サークル支援、放課後児童会などの事業を行っています。

問28 問27で「1. 思う」とお答えの方に伺います。

あなたは、子育ては楽しいことだと感じますか。

(1つだけ○を付けてください)

1. 感じる 2. 感じない 3. どちらともいえない 4. わからない

市政の満足度評価について

問 29 あなたは、浜松市がこれまで進めてきた取り組みについて日ごろどのように感じていますか。以下の各項目についてその評価を1～5のうちからそれぞれ1つだけ選び○を付けてください。

項 目	評 価					
	満 足	やや 満足	どちら も満足 しない	やや 不満	不 満	
1	住んでいる地域の住みやすさ	1	2	3	4	5
2	文化にふれ、活動できる環境	1	2	3	4	5
3	音楽のまちづくりをはじめとする文化事業の取り組み	1	2	3	4	5
4	スポーツに親しみやすい環境	1	2	3	4	5
5	国際・国内スポーツ大会の観戦機会	1	2	3	4	5
6	子どもを健やかにはぐくむ地域の環境	1	2	3	4	5
7	子どもの個性をはぐくむきめ細かな学校教育	1	2	3	4	5
8	公民館、図書館などの生涯学習環境	1	2	3	4	5
9	男女がともにあらゆる分野に参画する男女共同参画社会づくり	1	2	3	4	5
10	人権を尊重したまちづくり（人権啓発の取り組み）	1	2	3	4	5
11	魅力ある雇用機会の確保	1	2	3	4	5
12	J R浜松駅周辺の魅力とにぎわい	1	2	3	4	5
13	浜名湖をはじめとする観光資源の整備、活用	1	2	3	4	5
14	外国人市民との相互理解や交流を深める共生社会づくり	1	2	3	4	5
15	施設予約や地域情報の提供などインターネットを活用した市民サービス	1	2	3	4	5
16	鉄道やバスなどの公共交通機関の利便性	1	2	3	4	5
17	快適に移動しやすい道路網の整備	1	2	3	4	5
18	休日、夜間などの救急医療体制	1	2	3	4	5
19	身近な地域における適切な医療サービスの提供	1	2	3	4	5
20	予防接種や健康相談など市民の健康づくり	1	2	3	4	5
21	高齢者にとっての暮らしやすさ	1	2	3	4	5
22	障がいのある人にとっての暮らしやすさ	1	2	3	4	5
23	子育てがしやすく楽しい環境	1	2	3	4	5
24	ごみ分別による、ごみ減量および資源化対策	1	2	3	4	5
25	湖沼や河川、海岸、森林などの自然環境に配慮した取り組み	1	2	3	4	5
26	環境教育、環境学習などの取り組み	1	2	3	4	5
27	地球温暖化対策に取り組む体制や情報の充実	1	2	3	4	5
28	緑化や公園の整備など緑豊かなまちづくり	1	2	3	4	5
29	生活しやすい居住空間の整備と宅地や住宅の供給	1	2	3	4	5
30	地震・津波・火災などに対する防災体制の充実	1	2	3	4	5
31	水害の防止に向けた河川・排水路などの整備	1	2	3	4	5
32	ユニバーサルデザインによるまちづくり	1	2	3	4	5
33	浜松の魅力（技術や文化、自然環境など）の国内外への発信	1	2	3	4	5
34	世界の人々との活発な市民交流	1	2	3	4	5
35	市民協働による地域づくり	1	2	3	4	5
36	交差点の改良など交通安全対策	1	2	3	4	5
37	情報公開など行政の透明性の確保	1	2	3	4	5
38	分かりやすくきめ細かな市政情報の提供	1	2	3	4	5
39	市政を総合的に見た満足度	1	2	3	4	5

市政への要望について

問 30 あなたは、浜松市が積極的・重点的に取り組んでいくべき具体的な施策として、以下の各項目についてどの程度重要だと思いますか。各項目について重要度を1～4のうちからそれぞれ1つだけ選んで○を付けてください。

浜松市が取り組むべき施策	重 要 度			
	非 常 に 重 要	や や 重 要	あ ま り 重 要 で な い	全 く 重 要 で な い
1. 産業・経済分野に対する取り組み				
① 地場産品など地域特性を活かした農林水産業の振興	1	2	3	4
② 中小企業の経営基盤の強化に向けた支援の充実	1	2	3	4
③ 企業や工場、商業施設の誘致による雇用創出	1	2	3	4
④ 浜松市にふさわしいオフィス機能の集積や商業施設の充実	1	2	3	4
⑤ 国際会議の招致や大規模・集客イベントの開催など都心のにぎわい創出	1	2	3	4
⑥ 新産業の創出や起業しやすい環境の整備	1	2	3	4
⑦ 高齢者や障がいのある人などだれもが働きやすい環境づくり	1	2	3	4
⑧ 特色ある地域資源や地場産業を活かした観光の充実	1	2	3	4
2. 教育、文化、スポーツに対する取り組み				
① 生きる力を育てる学校教育の推進	1	2	3	4
② 生涯を通じた学習機会の提供	1	2	3	4
③ 心豊かな人づくりに向けた家庭教育の推進と地域の教育力の向上	1	2	3	4
④ 大学など高等教育の充実や高度な研究機関の設置・誘致	1	2	3	4
⑤ 外国語教育、外国の文化に関する教育の充実	1	2	3	4
⑥ 芸術家やスポーツ選手など世界にはばたく人材の育成	1	2	3	4
⑦ 市民が参加できるスポーツ大会や音楽イベントなどの開催	1	2	3	4
⑧ 質の高い芸術・文化・スポーツなどに親しむ機会の充実	1	2	3	4
⑨ 祭事や伝統行事など地域文化の伝承・活性化	1	2	3	4

浜松市が取り組むべき施策	重 要 度			
	非 常 に 重 要	や や 重 要	あ ま り 重 要 で な い	全 く 重 要 で な い
3. 市民が安全・安心に暮らすための取り組み				
① 地震や水害などの災害から生命と財産を守る防災対策の充実	1	2	3	4
② 地震や水害などの災害発生後の迅速な復旧対策の充実	1	2	3	4
③ 火災や交通事故などによる救急・救命活動の迅速化	1	2	3	4
④ 地域の防犯体制の整備や防犯活動の充実	1	2	3	4
⑤ 交通安全の意識啓発や環境整備など交通安全への取り組みの強化	1	2	3	4
⑥ 食品の安全性確保に向けた関係機関への情報提供の充実	1	2	3	4
⑦ 安心して生活していくための相談業務などの充実	1	2	3	4
⑧ NPOやボランティアなど市民活動への支援の充実	1	2	3	4
⑨ 地域コミュニティ（地域社会）の自立に向けた支援	1	2	3	4
4. 環境に対する取り組み				
① 企業や家庭における省エネルギー対策・支援	1	2	3	4
② 風力・太陽光発電などの新エネルギーや未利用資源の活用	1	2	3	4
③ ごみ減量対策や資源リサイクルの促進	1	2	3	4
④ 山林や河川、湖沼など自然環境の保全と生態系の維持	1	2	3	4
⑤ 地球温暖化対策の推進とCO ₂ 排出削減	1	2	3	4
⑥ 郊外開発の抑制や農地の保全	1	2	3	4
⑦ 環境問題に対する市民・企業・市民団体への意識啓発と支援・協力	1	2	3	4
⑧ 大気・水質などのきめ細かい調査・分析と情報の公開	1	2	3	4

浜松市が取り組むべき施策	重 要 度			
	非 常 に 重 要	や や 重 要	あ ま り 重 要 で な い	全 く 重 要 で な い
5. 健康、福祉に対する取り組み				
① 予防に重点を置いた健康づくり活動の充実・環境整備	1	2	3	4
② 身近な地域における医療・福祉サービスの充実	1	2	3	4
③ 医療・福祉における高度・専門的なサービスの充実	1	2	3	4
④ 高齢者や障がいのある人の社会参加機会の充実	1	2	3	4
⑤ 子育てに関わる支援制度の拡充など、子どもを生み育てやすい社会の形成	1	2	3	4
⑥ 互いに支え合う地域社会の形成	1	2	3	4
⑦ こころと身体健康づくりのための環境整備	1	2	3	4
⑧ 健康・福祉に取り組む市民活動団体への支援・協力	1	2	3	4
6. 都市・生活基盤の整備に対する取り組み				
① 新市域における新たな都市計画の検討・構築	1	2	3	4
② 住民発意による地域の実状に応じた土地利用の促進	1	2	3	4
③ 市都心部や市街化区域における適切な土地利用の促進	1	2	3	4
④ 公共交通網の整備・充実	1	2	3	4
⑤ 市都心部と周辺地域をつなぐ幹線道路網の整備・充実	1	2	3	4
⑥ 身近な地域の生活道路の整備・充実	1	2	3	4
⑦ 生活インフラ（上下水道、公園、公営住宅など）の整備・充実	1	2	3	4
⑧ 緑地保全・緑化推進や美しい景観づくりの強化	1	2	3	4
7. 都市経営に対する取り組み				
① 歳入の安定確保と市民サービスの向上	1	2	3	4
② 歳出の削減と行政が提供する市民サービスの縮小	1	2	3	4
③ 国籍や文化の違いを乗り越え、互いに認め合う多文化共生社会の形成	1	2	3	4
④ バリアフリー、ユニバーサルデザインの推進	1	2	3	4
⑤ 男女共同参画の推進	1	2	3	4
⑥ きめの細かい市政運営の推進	1	2	3	4
⑦ 徹底した行財政改革の推進	1	2	3	4
⑧ 高速・大容量の情報通信を可能とする高度情報通信網の整備	1	2	3	4

最後にあなたのことについて記入してください

(項目別に1つだけ○をつけてください)

性別	1. 男	2. 女															
年齢	1. 20歳代	2. 30歳代	3. 40歳代	4. 50歳代	5. 60歳代	6. 70歳以上											
職業	1. 農林水産業（自営・家族従事者） 2. 商工・サービス・自由業（自営・家族従事者） 3. 勤め人						4. 専業主婦（主夫） 5. 学生	6. 無職	7. その他（ ）								
居住年数	あなたは浜松市（合併前の旧市町村当時からも含みます）に住んで何年になりますか																
	1. 3年未満	2. 3年以上5年未満	3. 5年以上10年未満	4. 10年以上20年未満	5. 20年以上												
家族数	あなたを含めて何人で住んでいますか																
	1. 1人	2. 2人	3. 3人	4. 4人	5. 5人	6. 6人以上											
居住形態	あなたのお住まいは																
	1. 持ち家	2. 借家	3. 賃貸アパート・マンション	4. 公営住宅	5. 社宅・寮	6. その他											
地区	あなたがお住まいの地区は																
	1. 中区	2. 東区	3. 西区（旧浜松市）	4. 西区舞阪町	5. 西区雄踏町	6. 南区	7. 北区（旧浜松市）	8. 北区細江町	9. 北区引佐町	10. 北区三ヶ日町	11. 浜北区	12. 天竜区（旧天竜市）	13. 天竜区春野町	14. 天竜区佐久間町	15. 天竜区水窪町	16. 天竜区龍山町	地区が分からない場合は、町名をご記入ください → （ ）

ご協力ありがとうございました。

お手数ですが、6月30日（水）までにご投函ください。

平成22年度 市民アンケート調査報告書

平成22年11月発行

浜松市総務部広聴広報課

〒430-8652 浜松市中区元城町103-2

電話 (053) 457-2023 FAX (053) 457-2028

e-mail koho2@city.hamamatsu.shizuoka.jp

URL <http://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp>
